

# 広域連携推進特別委員会

〔 日時 令和4年3月15日（火）  
午前10時  
場所 八戸市議会 第一委員会室 〕

- 1 八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について 資料1
- 2 パブリックコメントの実施結果について 資料2
- 3 第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン（最終案）について 資料3 資料4 資料5
- 4 全国における連携中枢都市圏の形成状況について 資料6

## 【配付資料】

- 資料1 八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について（令和4年2月末現在）
- 資料2 パブリックコメントの実施結果について
- 資料3 第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン【最終案】
- 資料4 これまでの経過と今後の予定について
- 資料5 八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業一覧（令和4年度）案
- 資料6 全国における連携中枢都市圏の形成状況について（令和4年2月末現在）

八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について（令和 4 年 2 月末現在） 全 23 施策 80 事業

※表中の成果指標における総計及び累計  
【総計】：連携事業化前からの実績の累計  
【累計】：連携事業化後の実績の累計

1 圏域全体の経済成長のけん引

a 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

事業／事業概要		令和 3 年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
1	<b>八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業</b> 圏域の産学金官民の有識者で構成する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、有識者からの意見を踏まえ、各種連携事業を推進する。	○ビジョン懇談会の開催 第 1 回：7/1（木） 第 2 回：10/4（月） 第 3 回：12/20（月） 第 4 回：2/18（金）	連携事業の成果指標達成率	
			調査時	-
			目標値	80%（R3 年度）
			実績値	R3 年度：27.5%
2	<b>地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業</b> 事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する計画が青森県・国から地域経済牽引事業と承認された場合、当該計画に基づいて行われる設備投資に係る固定資産税等の課税免除措置を講じ、当圏域の経済の好循環を図る。	○地域経済牽引事業計画の申請相談の受付（通年）	地域経済牽引事業計画の承認件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	12 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：4 件 R3 年度：4 件

b 産業クラスターの形成、イノベーションの実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

事業／事業概要		令和 3 年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
3	<b>テレマーケティング関連産業立地促進費補助金</b> 八戸市で実施している IT 関連企業立地促進事業補助金・雇用奨励金の交付要件及び雇用奨励金の対象者について、圏域住民に拡充し、立地企業の事業定着・事業拡大を図るとともに、圏域全体の雇用創出を図る。	○交付決定(予定) 7 件	関連企業の従業者数	
			調査時	1,230 人（H28.4.1）
			目標値	1,350 人（R4.4.1）
			実績値	R2 年度（R2.4.1）：1,423 人 R3 年度（R3.4.1）：1,414 人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
4	<b>企業立地促進条例に基づく各種奨励金</b> 八戸市で実施している企業立地促進条例に基づく各種奨励金の雇用要件を、圏域内住民も対象とし、高度技術産業等の立地促進・圏域内住民の雇用創出や、立地企業の人材確保及び事業拡大を図る。	○交付決定 7件	誘致企業の従業員数（テレマーケティング関連企業を除く）	
			調査時	3,705人（H29.4.1）
			目標値	3,780人（R4.4.1）
			実績値	R2年度（R2.4.1）：4,199人 R3年度（R3.4.1）：4,120人
5	<b>イノベティブ産業集積促進事業</b> 地元企業の新規参入や関連企業の圏域への立地促進、成長ものづくり分野への参入等に係る勉強会の開催などの総合的な支援を行う。	○交付決定 -件	成長産業参入企業数【分野別総計】	
			調査時	6社（H27年度）
			目標値	20社（R3年度）
			実績値	R2年度：17社 R3年度：17社
6	<b>産学官共同研究開発支援事業</b> 産学官共同研究に関する情報を圏域内事業者提供するとともに、企業と大学等が連携して行う共同研究開発に対し経費の一部を助成し、地域産業の高度化を図る。	○交付決定 1件	本支援事業の採択企業数【累計】	
			調査時	2件（H27年度）
			目標値	10件（R3年度）
			実績値	R2年度：9件 R3年度：10件
7	<b>革新的ものづくり企業連携促進事業</b> 国等の競争的資金の採択企業による取り組みを周知する「企業交流サロン」を開催する等、圏域内事業者の革新的な取り組みや競争的資金に挑戦する意欲醸成を図る。	○企業連携交流サロンをオンラインの開催 日時：令和4年2月15日（火）14時～ 開催方法：オンライン 参加者数：14人	企業交流サロンの平均参加者数	
			調査時	29.5人/回（H27年度）
			目標値	30人/回（R3年度）
			実績値	R2年度：19人/回 R3年度：14人/回
8	<b>地域企業支援体制強化事業</b> コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問し、販路開拓や新商品開発、生産性の向上等の経営課題への助言・情報提供を行う。また、八戸圏域産学官連携会議を開催し、新商品開発に係る支援機能の強化を図る。	○4/1に4人のコーディネーターを委嘱 阿部 孝悦 氏（元八戸インテリジェントプラザ所長） 箭内 武 氏（㈱YANAI 総合研究所代表取締役） 村井 京太 氏（グローバルユーション代表） 八木 清之 氏（八戸まちのコンサル） ○企業訪問件数：64件（うち圏域町村1件）	企業訪問件数	
			調査時	-
			目標値	115件（R3年度）
			実績値	R2年度：90件 R3年度：64件

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
9	<b>はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業</b> 創業支援拠点である「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」において、圏域の商工会と連携した相談対応や情報発信等を行い、創業者の増加や円滑な事業承継により、雇用の場の維持・創出を図る。	○新規相談者数 126人（うち圏域町村 16人） ○相談件数 556件（うち圏域町村 95件） ○起業件数 33件（うち圏域町村 5件） ○事業承継成立 4件（うち圏域町村 3件）	起業件数【累計】	
			調査時	5件（H27年度）
			目標値	50件（R3年度）
			実績値	R2年度：155件 R3年度：188件

### c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
10	<b>地場産品の販路拡大事業</b> 圏域内の事業者を対象に、首都圏等での大規模展示・商談会に出展し、販路拡大を図る。	○2021「青森の正直」WEB商談会 開催期間：令和3年8月24日（火）～26日（木） 商談成立件数：19件（うち圏域町村6件） ○はちのへローカルマーケットの開催（12月より再開） 内容：はちのへ圏域自慢の逸品コーナー（随時） セレクトフェア（毎月1回程度） ○物産振興事業の実施 内容：首都圏や県内外の百貨店等での物産展の開催、商談会・見本市への参加 参加実績：29回（東京都、仙台市、宇都宮市、浜松市等）	商談成立件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	50件（R3年度）
			実績値	R2年度：101件 R3年度：120件
11	<b>八戸都市圏交流プラザ事業</b> 八戸都市圏交流プラザ「8base」を都内に設置し、飲食提供や物産販売、交流事業などを展開し、圏域の魅力を発信する。	○圏域の食材を活用した食事の提供や地場産品の販売 ○八戸都市圏交流プラザ運営協議会を開催（5・8・10月） ○交流イベント「八戸圏域ファンミーティング～ふるさと気分～」の開催（全13回中、4回開催） ※未開催の9回については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	来店者数【累計】	
			調査時	-
			目標値	98,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：198,240人 R3年度：340,089人
12	<b>マチニワ・マルシェ</b> 八戸まちなか広場マチニワにおいて、圏域市町村の物産、食材を提供するマルシェ（市）を開催し、今後の商品開発や販売促進に繋げる。	○9/11～9/12に開催を予定していた「38 FUUD FOOD MARCHE 2021」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	開催時の来場者数	
			調査時	-
			目標値	5,000人/回（R3年度）
			実績値	R2年度：1,500人 R3年度：開催中止

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
13	<b>ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ</b> 圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域一体となった総合的なフェスティバルを開催する。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	入場者数（2日間の計）	
			調査時	14,887人（H28年度）
			目標値	17,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：1,025人 R3年度：開催中止
14	<b>海外販路拡大事業</b> 海外で開催される物産展等にブース出展するとともに、バイヤーの招聘等を行い、圏域の企業の海外進出を支援し、様々な国に向けた販路の拡大を図る。	○ASEAN向け通年マッチング支援事業 【ベトナム・シンガポールその他ASEAN】 ・商談スキルアップ講座（セミナー）：8月 ・商談用プレゼン資料作成：9～10月 ・オンライン商談会：11・12月 ・現地営業代行 ○海外販路拡大支援事業補助金 ・交付決定：-社 ○北米向け食品輸出拡大支援事業【シアトル】 ・参加メーカーとのオンライン戦略ミーティング ・雑誌 origami 掲載、SNS 等による情報発信（R3年9月11月） ・PR 動画作成（1分動画×参加メーカー） ・EC サイトによるネット販売（サイト構築、周知） ・現地営業代行者による販促活動 現地小売店やレストラン等への営業訪問 既存販売先への販売アドバイス等（R3年10月～12月） 現地レストランでのプロモーション	取引成立（拡大）企業数【累計】	
			調査時	-
			目標値	5社（R3年度）
			実績値	R2年度：18社 R3年度：18社
15	<b>知的財産権対策支援事業</b> 圏域内の中小企業者が自社の優れた技術や高付加価値の製品等を活かし、市場での競争力を維持できるよう、知的財産権に関する普及啓発、課題に対する相談、国内特許等取得に対する支援を行い、知的財産の活用促進を図る。	○知的財産権に関する相談・指導 相談件数：141件（うち圏域町村9件） ○知的財産権に関するセミナーの開催 第1回：10/25開催（特許制度関係） 第2回：11/22開催（商標制度関係） 第3回：12/20開催（意匠制度関係） ○国内特許等出願費補助金の交付 特許：2件	知的財産権に関する相談件数	
			調査時	141件（H29年）
			目標値	155件（R3年）
			実績値	R2年度：129件 R3年度：141件

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
16	<b>求人・求職情報等無料ウェブサイト運営事業</b> 求人・求職者情報等無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」の運用により、効果的・効率的なマッチングを図るとともに、求人事業所が求める人材の確保や若年者等の県外流出の抑制を図る。 ※「はちのへジョブ市場」を圏域版にリニューアルし、H29年9月から運用開始	○新規求人登録件数 119件（うち圏域町村4件） ○新規求職者数 78人（うち圏域町村4人）	新規求人登録件数【総計】	
			調査時	87件（H27年）
			目標値	400件（R3年）
			実績値	R2年度：660件 R3年度：779件
17	<b>地域事業所人材獲得等支援事業</b> 圏域内事業所に対し、情報発信力の強化、採用力の向上、インターンシップの受入体制の構築を支援するセミナーの開催や人材確保に係る個別相談等を行い、圏域内事業所の人材不足の解消、U I J ターン就職の促進等を図る。	○情報発信力強化・採用力向上オンラインセミナーの開催 第1回目：令和4年2月2日（水）13:00～15:30 「魅力ある職場づくりセミナー」 第2回目：令和4年2月16日（水）13:00～15:30 「情報発信力強化セミナー」	本事業を活用した事業所のうち、人材を獲得した事業所数【累計】	
			調査時	-
			目標値	30社（R3年度）
			実績値	R2年度：9社 R3年度：9社
18	<b>企業誘致セミナー開催事業</b> 八戸市が実施している首都圏や中部圏でのトップセールスにおいて、圏域の立地環境やインセンティブ等について総合的にPRを行い、圏域への新規企業立地を図る。	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーの開催を中止 ○セミナーの代替事業として、令和4年2月～3月に「八戸産業立地オンラインフェア2022」を実施（特設サイトに連携中枢都市圏を紹介するページを掲載）	参加者数（東京+名古屋）	
			調査時	450人（H28年度）
			目標値	470人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：開催中止
19	<b>農業情報提供事業</b> 圏域内の農業者を対象とした農業講座を開催する等、生産技術情報の提供を行い、農業者の経営安定を図る。	○7/6：3講座実施（内容） ・儲かるいちご経営について ・農業経営振興センターでの栽培調査結果と今後の課題について ・鳥獣害対策について	農業講座受講者数	
			調査時	391人（H27年度）
			目標値	450人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：75人
20	<b>新規就農者向け支援施策の情報発信体制の一元化</b> 圏域における新規就農者向け情報発信媒体を一元化することにより、新規就農希望者の利便性の向上を図る。	○各町村の支援施策を取りまとめ、ホームページの更新と各町村への共有を行う。 ○認定新規就農者数（総計）：108経営体（うち圏域町村87経営体）	認定新規就農者数【総計】	
			調査時	58経営体（H27年度）
			目標値	164経営体（R3年度）
			実績値	R2年度：100経営体 R3年度：108経営体

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
21	<b>農作業マッチング制度構築事業</b> 定年退職者等の農作業サポーターと支援を希望する農業者のマッチングを促進することにより、農業労働力の確保を図る。	○八戸市シルバー人材センターに、マッチングに関する対応を依頼 ○マッチング件数：14件（うち圏域町村4件） 派遣人数：36人（うち圏域町村7人）	農作業マッチング件数	
			調査時	6件（H27年度）
			目標値	12件（R3年度）
22	<b>南郷そば振興センター共同利用事業</b> 南郷そば振興センターの施設を圏域のそば生産者の利用に供し、そば生産の振興を図る。	○施設利用状況 乾燥設備 93件、123,946.0kg 選別設備 114件、173,931.5kg 製粉設備 24件、613.5kg	そば作付面積	
			調査時	125ha（H27年）
			目標値	132ha（R3年）
23	<b>畜産業及び畜産関連産業振興事業</b> 八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、八戸地域畜産フードフェスタや親子ちくさん探検バスツアー等を実施し、圏域の畜産振興を図る。	○親子ちくさん探検バスツアー 新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止 ○「八戸地域畜産振興推進会議」（委員15名） 令和3年12月開催（書面開催） ○八戸地域畜産フードフェスタ2021 新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止	乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼養頭羽数	
			調査時 H26年	乳牛：1,526頭 肉牛：15,210頭 豚：116,051頭 採卵鶏：3,684,451羽 肉用鶏：3,670,232羽
			目標値 R4年	乳牛：1,530頭 肉牛：15,300頭 豚：136,000頭 採卵鶏：4,800,000羽 肉用鶏：4,100,000羽
24	<b>漆産業振興事業</b> 圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市と情報を共有しながら、ウルシ苗木の購入費用の助成等によりウルシ植栽の促進を図る。	○ウルシ造林事業補助金の交付により、圏域内でのウルシ苗木の植栽を支援 ○苗木の植栽本数：3,300本（うち圏域町村3,300本）	ウルシ苗木の植栽本数【累計】	
			調査時	-
			目標値	8,500本（R3年度）
			実績値	R2年度：3,673本 R3年度：6,973本

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
25	<b>漁業就業支援事業</b> 漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得の方法について情報収集し、パンフレットの作成やホームページ等にて情報発信を行い、就業希望者の技能習得・資格取得の促進や現場で求められる人材の確保を図る。	○相談件数：3件 ○青森県主催の「あおり漁業就業支援フェア」（令和4年3月開催予定）に相談ブースを出展予定	漁業就業に係る相談件数	
			調査時	-
			目標値	15件（R3年度）
			実績値	R2年度：3件 R3年度：3件

#### d 戦略的な観光施策の展開

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
26	<b>八戸広域観光戦略推進事業</b> 八戸広域観光戦略等に基づき、関係町村及び一般財団法人 VISIT はちのへと連携し、広域観光戦略推進事業を実施する。	○広域観光マーケティング調査事業の実施 ○ホームページ、SNS、パンフレット等を活用し、国内外からの誘客を促進するためのプロモーションの実施	来訪者満足度（宿泊客）	
			調査時	36.8%（H29年度）
			目標値	39.8%（R3年度）
			実績値	R2年度：35.8% R3年度：-
27	<b>グリーン・ツーリズム推進事業</b> 受入農家の維持・確保や育成を図るとともに、首都圏へのグリーン・ツーリズム情報の発信を行い、交流人口の増加を図る。	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受入中止	修学旅行等の受入校数	
			調査時	5校（H27年度）
			目標値	11校（R3年度）
			実績値	R2年度：受入中止 R3年度：受入中止

## 2 高次の都市機能の集積・強化

### a 高度な医療サービスの提供

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
28	<b>ドクターカー運行事業の充実・強化</b> ドクターカーの運行に係る高度医療機器の整備や更新を行うことにより、ドクターカーを活用した圏域の救急医療の向上を図る。	○「12 誘導心電図伝送システム」を導入（6月）	心肺停止傷病者の1ヶ月後の生存率	
			調査時	7.2%（H27年）
			目標値	7.5%（R3年）
			実績値	R2年度：6.4% R3年度：6.4%
29	<b>八戸市総合保健センター運営事業</b> 八戸市総合保健センターを運営し、圏域住民の利用に供することで、医療・健康対策の充実を図る。	○第2期工事（外構）の実施（令和4年1月完了） （参考） 令和4年1月4日に八戸市総合健診センター、八戸市医師会臨床検査センターが移転	休日夜間急病診療所利用者のうち市外在住者の割合	
			調査時	18.2%（H27年度）
			目標値	20.0%（R3年度）
			実績値	R2年度：16.3% R3年度：-
30	<b>高度医療従事者育成事業</b> 三次救急及び母子周産期医療等、高度医療に従事する八戸市立市民病院の医師・看護師が医療技術の向上や必要な資格取得のため、各種研修・講習会に参加し、圏域の高度医療提供体制の維持・向上を図る。	○ICLS 講習会：5/22(土)開催、29名参加 ○JPTEC 講習会：6/26(土)開催、24名参加 ○PTLS 講習会：10/10(日)開催、20名参加 ○JPTEC 講習会：11/27(土)開催、20名参加 ○ICLS 講習会：12/11(土)開催、14名参加	研修参加者数	
			調査時	113人（H27年度）
			目標値	117人（R3年度）
			実績値	R2年度：22人 R3年度：107人

### b 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
31	<b>八戸圏域公共交通計画推進事業</b> 八戸圏域地域公共交通網形成計画に基づき、各種事業を展開し、圏域住民の日常生活に欠かすことのできない地域公共交通を確保することにより、圏域住民の生活の質の維持・向上を図る。	○路線バス上限運賃政策の継続実施 ○八戸圏域利便増進実施計画の策定検討（圏域路線の統廃合等の検討） ○地域連携 IC カード「ハチカ」の導入（令和4年2月26日（土）サービス開始）	広域バス路線数	
			調査時	16路線（H27年度）
			目標値	16路線（R3年度）
			実績値	R2年度：15路線 R3年度：14路線

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
32	<b>美術館運営事業</b> 文化施設が集積している八戸市の中心街に新美術館を整備し、圏域町村と連携しながら、各種事業を展開することにより、圏域における新しい文化や価値の創造を図る。	○美術館前広場整備工事の実施（令和3年9月竣工） ○美術館開館（令和3年11月3日） ○開館記念「ギフト、ギフト、」開催（令和3年11月3日～令和4年2月20日） ○「持続するモノガタリ」開催（令和4年3月19日～令和4年6月6日） ○コレクションラボ001 船越保武展開催（令和4年3月12日～令和4年6月20日）	年間来館者数	
			調査時	-
			目標値	90,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：- R3年度：21,464人
33	<b>八戸ポータルミュージアム事業</b> 八戸ポータルミュージアム「はっち」を核として各種事業を展開し、圏域の文化芸術振興やものづくりを通じた圏域の活性化、賑わい創出を図る。	○アート関係のイベントや、圏域住民が主催する文化活動などにより、文化芸術の振興や圏域内の回遊性を図る事業を実施 ○入館者数：466,750人	圏域住民等主催の文化芸術活動率	
			調査時	20%（H27年度）
			目標値	25%（R3年度）
			実績値	R2年度：28% R3年度：-
34	<b>ブックセンター事業</b> 八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、企画事業等を実施する。	○セレクトブックストア販売冊数：5,844冊 ○読書会ルーム貸出件数：63件 ○カンヅメブース貸出件数：190件 ○八戸ブックセンターの企画事業について、毎月チラシ及びメールにて圏域内関係機関へ周知	年間来館者数	
			調査時	-
			目標値	90,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：69,055人 R3年度：58,844人
35	<b>屋内スケート場運営事業</b> 八戸市が屋内スケート場を整備・運営し、圏域住民の利用に供することで、スケートを軸としたスポーツ振興、各種イベントの開催による圏域の活性化を図る。	○7/25(日)：競技者利用開始 ○10/3(日)：一般開放開始 ○10/17(日)：人気芸人EXIT 地域活性化ライブツアー開催 ○1/17(月)～21(金)：全国高等学校スケート競技選手権大会(インターハイ) ○2/26(土)～27(日)：JSF 全日本スピードスケート選手権大会	利用者数（調査時点は長根リンク）	
			調査時	74,533人（H27年度）
			目標値	145,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：131,001人 R3年度：125,289人
36	<b>多賀多目的運動場運営事業</b> サッカーJ3のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を圏域住民の利用に供することで、圏域内外の交流人口の拡大による圏域経済の活性化等を図る。	○ヴァンラーレ八戸FC ホームゲーム：14試合（予定）（2021シーズン：13試合、2022シーズン：1試合） ○7/10（土）：ヴァンラーレ八戸FC ホーム戦初のナイトゲームで、八戸スポーツ振興協議会を通じ、来場者200人にプレゼントを提供	多賀多目的運動場を本拠地とするスポーツチームの観客数	
			調査時	-
			目標値	31,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：12,683人 R3年度：15,922人

c 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
37	<b>学生まちづくり助成金制度</b> 学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付する。	○4/19～5/26：企画募集 ○6/24：選考会 ○7/5：交付決定（3件） ○2/23：学生＆高校生まちづくりコンペティション（成果報告会）開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法をオンラインに変更	助成金交付件数【総計】 ※学生まちづくり助成金交付件数のみ	
			調査時	28件（H28年度）
			目標値	53件（R3年度）
			実績値	R2年度：50件 R3年度：53件
38	<b>学官連携地域シンクタンク</b> 八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の3校と八戸市が連携し、地域の政策課題等について、調査研究するための地域シンクタンクを設置し、圏域の職員に参加の機会を提供することにより、職員の資質と能力の向上を図る。	○調査研究テーマ 「アート及び新美術館を軸とした中心市街地活性化に関する研究」 ○八戸市都市研究検討会 中間報告：10/12（火） 最終報告：2/14（月） ○プロジェクトチーム会議の開催（11回）	参加市町村職員	
			調査時	2人（H28年度）
			目標値	2人（R3年度）
			実績値	R2年度：3人 R3年度：2人

### 3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

#### A 生活関連機能の強化

##### 医療体制の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
39	<b>医師派遣事業</b> 八戸市立市民病院から三戸中央病院、五戸総合病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院に、医師の派遣を行う。	○市民病院から各病院に次のとおり医師を派遣 <b>【三戸中央病院】</b> ・整形外科医（毎週水・金曜日） ・内科系医師（第2金曜日） ・脳神経外科系医師（月2回程度） <b>【五戸総合病院】</b> ・内科系医師（毎週木曜日、第4火曜日） ・精神科医（第1火曜日） <b>【南部町医療センター】</b> ・外科医（毎週金・日曜日） ・耳鼻科医（第2・第4金曜日） <b>【おいらせ病院】</b> ・外科医（第2土曜日とその翌日の日曜日） ・脳神経外科系医師（第1・第4木曜日、第4金曜日） ・眼科医（第1・第3火曜日）	派遣医師数	
			調査時	194人（H27年度）
			目標値	196人（R3年度）
40	<b>ドクターカー運行事業</b> 圏域の中核病院である八戸市立市民病院のドクターカーを圏域内にて運行し、救命救急医療の充実を図る。	○運行体制：ドクターカー3台配備。うち1台は、移動型緊急手術室（V3） ○出勤実績：1,064件（うち圏域町村190件）	出勤件数	
			調査時	1,439件（H27年度）
			目標値	1,500件（R3年度）
41	<b>救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業</b> 八戸市立市民病院にて開催される救急医療、母子周産期医療に関する講習会等について、圏域町村の救急告示病院や産科標榜病院の医師・看護師に対し、参加の機会を提供する。	○産科救急&新生児蘇生講習会：11/13（土）開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民病院職員のみで実施	参加者数	
			調査時	-
			目標値	20人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：0人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
42	<b>周産期医療体制周知事業</b> 周産期における医療体制等の各種情報をホームページ等により提供する。	○ホームページ「赤ちゃんがやってくる」を随時更新 (内容) 圏域の産婦人科・助産院等の一覧、母子健康手帳の交付、健康診査の内容や時期等の情報提供	ホームページ PV 数	
			調査時	5,209PV (H27年度)
			目標値	5,300PV (R3年度)
			実績値	R2年度 : 2,739PV R3年度 : 3,039PV
43	<b>不妊専門相談センター事業</b> 不妊や不育症に悩む圏域の夫婦等に対して、不妊専門相談センターにおいて専門医が相談に応じる。	○八戸市総合保健センター内において、不妊専門相談を実施(月1回実施、1回につき2件まで) ○相談件数:1件	相談件数	
			調査時	1件 (H28年度)
			目標値	24件 (R3年度)
			実績値	R2年度 : 7件 R3年度 : 1件
44	<b>AED普及促進事業</b> 圏域住民を対象にAED講習会を開催する。8市町村それぞれでAEDを配備し、イベントの際には、必要に応じて相互貸し出しを行う等、圏域の救命率向上を図る。圏域住民を対象にAED講習会を開催する。	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	AED講習会の参加者数	
			調査時	-
			目標値	55人 (R3年度)
			実績値	R2年度 : 開催中止 R3年度 : 開催中止

### 子育て支援の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
45	<b>一時預かり保育事業</b> 認定こども園・保育所・幼稚園において、家庭での保育が困難となった児童を一時的に預かる事業について、対象を圏域住民に拡充することにより、圏域の保護者の負担を軽減し、子どもを安心して生み育てる環境の形成を図る。	○保育の実施の対象とならない就学前児童で、保護者の傷病、入院、災害、事故、育児等に伴う心理的、肉体的負担の解消等により緊急、一時的に保育が必要となる児童に対し保育を実施	実施箇所数	
			調査時	31箇所 (H28年度)
			目標値	34箇所 (R3年度)
			実績値	R2年度 : 30箇所 R3年度 : 32箇所
46	<b>ファミリーサポートセンター事業</b> 育児援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)のマッチング機能を担うファミリーサポートセンター事業を実施する。	○提供会員養成講習会の開催 第1回(7/19、7/21、7/29) 第2回(11/10、11/16、11/22) ○登録会員数:672人(うち圏域町村76人)	登録会員数	
			調査時	714人 (H27年度)
			目標値	850人 (R3年度)
			実績値	R2年度 : 644人 R3年度 : 672人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
47	<b>子育てつどいの広場事業</b> 八戸ポータルミュージアム内に設置した子育て集いの広場「こどもはっち」を運営し、子育て世代の交流の場として圏域住民の利用に供する。	○通年で以下の事業を実施 (1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (2)子育て等に関する相談、援助の実施 (3)地域子育て関連情報の提供 (4)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 (5)豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等の実施 (6)地域の子育て力を高める取組の実施 ○利用者数 21,435人（うち圏域町村1,096人）	利用者数	
			調査時	52,408人（H27年度）
			目標値	52,500人（R3年度）
			実績値	R2年度：24,097人 R3年度：21,435人
48	<b>子育てサロン事業</b> 小学校入学前の子どもと親の交流を目的に八戸市内の地区公民館等を拠点として、絵本の読み聞かせや季節の行事等の子育てサロン事業を実施する。	○季節の行事、親子での運動や工作などの場を提供し、地域の子育て親子間の交流を促進 ○開催数：81回	実施地区数	
			調査時	21地区（H28年度）
			目標値	21地区（R3年度）
			実績値	R2年度：9地区 R3年度：18地区
49	<b>地域子育て支援拠点事業</b> 八戸市内の認定こども園・保育所等において、圏域住民を対象とする子育て関連情報の提供や、講習会開催等により、圏域の親子の交流促進を図る。	○子育て親子の交流、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供や講習等を実施 ○各施設において、月1回チラシを発行し、子育て関連情報を提供 ○子育て支援に関する講習等の開催数：581回	実施箇所数	
			調査時	15箇所（H28年度）
			目標値	15箇所（R3年度）
			実績値	R2年度：13箇所 R3年度：13箇所
50	<b>児童虐待防止対策事業</b> 児童虐待防止対策の強化を図るため、八戸市総合保健センターを活用し、専門職員の支援技術習得のための研修会を開催するとともに、一般セミナーの開催において、圏域住民に対する啓発を行う。	○専門職向け研修会 開催時期：令和3年10月6日（水） 開催場所：八戸市福祉公民館 研修内容：「発達障がいと行動障がい」 講師：ささクリニック相談員 社会福祉士・精神保健福祉士 清水 博己氏 参加団体：45団体（うち圏域町村17団体） ○2月に予定していた住民向け研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	研修会等の参加団体数	
			調査時	42団体（R2年度）
			目標値	115団体（R3年度）
			実績値	R2年度：－ R3年度：45団体

高齢者福祉の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
51	<b>高齢者福祉合同研修会等の開催</b> 認知症や虐待などの各種困難事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなど、合同研修会を開催し、圏域全体で支援の質の向上を図る。	○11/10（木）高齢者福祉合同研修会 開催 対象者 高齢福祉関係事業所の職員 出席者数 289人（うち圏域町村138人） 場 所 各市町村会場及びオンライン配信 テーマ グリーフケア・看取りについて(基礎編) ～支える・つながるチームケア～ 講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子氏	研修会等出席者数	
			調査時	129人（H28年度）
			目標値	200人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：289人
52	<b>あんしんカード事業</b> 圏域において、認知症等により、徘徊して自宅に戻れなくなる可能性のある方の情報を登録するとともに、あんしんカード等を配付し、登録者が保護された場合、家族等に連絡する仕組みを構築する。	○四半期毎に登録申請者数の現状等の確認する「あんしんカード事業実態調査」を実施（調査対象：圏域市町村） ○広報紙やHP等を活用し、圏域内住民へ事業周知 ○登録者総数：510人（うち圏域町村149人）	登録者総数	
			調査時	348人（H28年度）
			目標値	725人（R3年度）
			実績値	R2年度：472人 R3年度：510人
53	<b>救急医療情報キット配付事業</b> 救急時に駆けつけた救急隊員等が迅速に対応できるよう、関係市町村の災害時要援護者等に対し、かかりつけ医療機関、持病等の情報を保管する救急医療情報キットを配付する。	○各自治体において、救急医情報キットを配付 新規配付対象者：165人（うち圏町村103人） 配付数量：158部（うち圏町村103部）	新規配付対象者への普及率	
			調査時	-
			目標値	90%（R3年度）
			実績値	R2年度：97.9% R3年度：95.7%
54	<b>成年後見制度利用促進事業</b> 市民後見人の養成・推進、研修・啓発を行い、成年後見制度の利用促進を図る。	○市民後見人フォローアップ研修（年4回開催） ・第1回（6/15～、オンライン配信） 受講者数 23人（うち圏域町村7人） ・第2回（9/13～、オンライン配信） 受講者数 22人（うち圏域町村7人） ・第3回（12/8） 受講者数 16人（うち圏域町村5人） ・第4回（3月開催予定） ○成年後見セミナー（年1回開催・オンライン） 開催日 2/26（土） 参加者 44人（うち圏域町村10人）	研修会参加者数	
			調査時	-
			目標値	100人（R3年度）
			実績値	R2年度：127人 R3年度：105人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
55	<b>医療・介護連携マップ管理運営事業</b> 圏域内の医療機関・介護事業所の情報をマップ化し、ホームページ上に掲載することで、医療・介護の専門職がより円滑に連携することを支援し、地域の高齢者等に対する効率的かつ効果的なサービス提供を図る。	○圏域町村のホームページに「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」のリンクを掲載 ○掲載事業所数：1,107件（うち圏域町村299件）	医療・介護連携マップPV数（月間）	
			調査時	8,680PV（H30年3月）
			目標値	13,000PV（R4年3月）
			実績値	R2年度：11,324PV R3年度：10,881PV

### 障がい者福祉の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
56	<b>障がい者福祉合同研修会等の開催</b> 圏域内の障がい者福祉の充実を図るため、福祉に関心のある住民や福祉サービス事業に携わる関係者及び行政職員を対象とした合同研修会等を開催する。	○行政職員対象研修会 開催日：11/24（水） テーマ：インクルーシブな避難所を実現するために ○事業関係者及び住民対象講演会（オンライン開催） 開催日：1/29（土） テーマ：新型コロナウイルスがもたらした『総障害者化』とは ～『なんだか、生きづらい。』と感じる全ての人へ～	参加者数	
			調査時	159人（H27年度）
			目標値	180人（R3年度）
			実績値	R2年度：114人 R3年度：39人
57	<b>障害支援区分判定審査事務の共同実施</b> 市町村が行う障害支援区分判定審査に係る事務について、圏域内の事務を八戸市において実施し、事務の効率化を図る。	○認定審査会の開催：37回 （今年度は予備回（6回）を含め、42回開催予定） ○審査件数：782件（うち圏域町村192件）	審査件数	
			調査時	686件（H27年度）
			目標値	720件（R3年度）
			実績値	R2年度：749件 R3年度：782件

中小企業従事者の福祉向上

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
58	<b>勤労者福祉サービスセンター事業</b> 圏域の中小企業の従業員向けの福利厚生事業の実施や、勤労者福祉サービスセンターへの加入を促進し、圏域中小企業の負担を軽減するとともに、福利厚生を充実し、早期離職者の減少を図る。	○給付事業：祝金、見舞金、死亡弔慰金 （実績）396件 4,598,000円 ○助成事業：グルメ&お買い物券、市6施設無料利用券配布、人間ドック受診料助成、コンサートチケットあっ旋 など （実績）グルメ&お買い物券 5,314枚 市6施設無料利用券利用者 87人 など ○企画事業：月1回程度のイベント企画（会員は特別価格で参加可能） （内容）いちご摘み取り体験、パークゴルフ大会、マリンアクティビティ体験 など ○会員数：1,407人（うち圏域町村42人）	会員数	
			調査時	1,434人（H28年）
			目標値	1,454人（R4年）
			実績値	R2年度：1,324人 R3年度：1,407人

消費者支援の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
59	<b>消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化</b> 消費生活に係る相談事業を行うとともに、関連講座を開催し、圏域全体の消費者被害の未然防止や早期解決を図る。	○消費者講座 ・前期3回、後期3回 開催 ・参加者数 99名参加（うち圏域町村19名） 【テーマ】 ・足と靴の健康講座～健康は足元から～ ・終活セミナー～変化するお葬式、その準備と費用～ ・大人のためのお金と生活の知恵～次世代に向けて～ など ○若年者向け出前講座 ・前期2回、後期7回 開催 ・参加者数 443名 （八戸准看護学院、八戸工業大学、小中野中学校など） 【テーマ】 ・賢い消費者になるために	消費者講座への参加者数	
			調査時	1,319人（H27年度）
			目標値	1,700人（R3年度）
			実績値	R2年度：269人 R3年度：542人

## 社会教育の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
60	<b>生涯学習情報提供事業</b> 関係市町村で実施している各種講座などについて、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民に周知することにより、圏域住民の学習機会の選択肢を増やす。	○6～11月：八戸市民大学講座（全6講義開催） ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、修了認定と第4講義（9/28開催）を中止	市民大学講座受講者数と修了者数	
			調査時	6,526人/132人（H27年度）
			目標値	6,600人/140人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：1,331人/0人
61	<b>図書館相互利用事業</b> 圏域内の住民が、圏域内の図書館・図書室において貸し出しを受けることを可能とすることにより、利用者の利便性向上と、本に触れ合う機会の創出、増加を図る。	○H29年11月：図書館等相互利用に関する協定を8市町村で締結  （参考）八戸市立図書館の新規登録者数 2,175人（うち圏域町村107人）	人口100人当たりの貸出冊数	
			調査時	277冊（H27年度）
			目標値	297冊（R3年度）
			実績値	R2年度：270冊 R3年度：-

## 学校教育の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
62	<b>広域的体験学習支援事業</b> 圏域市町村の小学校による、文化・スポーツ等の公共施設を活用した児童対象の体験学習の実施を支援する。	○4/23（金）：事業開始 ○利用状況：55校（うち圏域町村15校） ・申込件数：100件 （参考） 小学校数：70校（八戸市42校・圏域町村28校）	圏域内小学校の利用割合	
			調査時	73%（H27年度）
			目標値	90%（R3年度）
			実績値	R2年度：73% R3年度：79%

## 高等学校による地域活動の促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
63	<b>高校生地域づくり実践プロジェクト</b> 高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付するとともに、地域と高等学校・生徒の交流促進を図る。	○八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金 ・4/19～6/4：企画募集 ・7/6：選考会開催 ・7/12：交付決定（4件） ・2/23：学生&高校生まちづくりコンペティション（成果報告会）開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法をオンラインに変更 ○高校生×地域連携交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	地域活動支援件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	20件（R3年度）
			実績値	R2年度：20件 R3年度：24件

スポーツ活動の機会の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
64	<b>氷都八戸パワーアッププロジェクト</b> 圏域において、スケート教室への指導者派遣やスピードスケート教室の開催等によりスケート振興を図る。	○スケート教室への指導者派遣 ・派遣件数：65件（うち圏域町村2件） ・派遣指導者数：延べ195人（うち圏域町村4人） ○スケート教室の開催 ・11～12月の土・日・祝日に、全7回開催 ・開講式で、オリンピックメダリストの岡崎朋美氏からのビデオメッセージを上映 ○スケート競技用具購入支援事業 ・交付決定件数：28件（うち圏域町村1件）	スピードスケート教室の実施回数	
			調査時	9回（H27年度）
			目標値	9回以上（R3年度）
			実績値	R2年度：4回 R3年度：7回
65	<b>スキー場活用促進事業</b> 田子町在住の小中学生・高校生を対象に実施する創遊村229 スキーランドのシーズン券事前予約割引を圏域市町村に拡充するとともに、創遊村229 スキーランド及び新郷村営金ヶ沢スキー場のPRを行い、両スキー場の活用促進を図る。	○12月21日から229 スキーランドのシーズン券事前予約割引の申請受付を開始 ・利用者数：220人（うち圏域町村171人）	229 スキーランドの事前予約シーズン券利用者数	
			調査時	80人（R1年度）
			目標値	190人（R3年度）
			実績値	R2年度：－ R3年度：220人
66	<b>体育施設情報共有化事業</b> 圏域内の体育施設情報をまとめたホームページを作成し、体育施設の相互利用促進を図る。	○H30年7月にスポーツ施設情報ページを開設し、各市町村のHPで公開中	ホームページPV数	
			調査時	－
			目標値	20,000PV（R3年度）
			実績値	R2年度：1,039PV R3年度：737PV
67	<b>スポーツ大使派遣事業</b> 八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使（団体に限る）を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演会やスポーツ教室を開催することで、児童・生徒等の郷土への愛着及び誇りの醸成を図る。	○6/26：3人制バスケットボールチーム「八戸DIME」をスポーツ大使に委嘱 ○八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー ・講師派遣件数：3件 （派遣先内訳） 特別支援学校：1件、小学校：1件、高校：1件 （派遣団体内訳） 八戸DIME：1件、ヴァンラーレ八戸FC：2件	大使派遣件数	
			調査時	2件（H29年度）
			目標値	13件（R3年度）
			実績値	R2年度：3件 R3年度：3件

不法投棄の防止

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
68	<b>不法投棄防止事業</b> 関係市町村が共同で、不法投棄防止のための各種対策を講じ、不法投棄の抑止・減少を図る。	○5/30（ごみゼロの日）～6/8（世界海洋デー）の「海ごみゼロウィーク」の期間中にパトロールを実施 ○パトロール実施日 三戸町 6/4 五戸町 6/2、6/8 田子町 6/8 南部町 5/31、6/2、6/3 階上町 6/3、6/7 新郷村 6/8 おいらせ町 6/8 八戸市 6/1、6/2	合同パトロールの実施回数	
			調査時	年1回（H27年度）
			目標値	年1回以上（R3年度）
			実績値	R2年度：1回 R3年度：1回

安全・安心なまちづくりの推進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
69	<b>安全・安心情報発信事業</b> 圏域住民のニーズに合わせ、安全・安心に係る各種情報や災害情報等をメール「愛称：ほっとスルメール」にて発信するもので、災害や犯罪等に対し、初期段階で対応することができるようにする。	○登録件数：59,103件（うち圏域町村 13,683件）	登録件数割合	
			調査時	16.69%（H27年度）
			目標値	26%（R3年度）
			実績値	R2年度：24.8% R3年度：26.8%
70	<b>福祉避難所の設置及び圏域での相互利用</b> 災害時において、特別な配慮が必要な方を受け入れ対象としている福祉避難所について、民間施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。	○圏域の各市町村が、それぞれの域内の事業者と相互利用を可能とする「福祉避難所の確保に関する協定」を随時締結し、災害発生時には圏域での相互利用を実施する。 ○福祉避難所数：184箇所（うち圏域町村 112箇所）	福祉避難所数	
			調査時	166箇所（H27年度）
			目標値	176箇所（R3年度）
			実績値	R2年度：182箇所 R3年度：184箇所
71	<b>危険空き家対策のための合同研修会等の開催</b> 各市町村における危険空き家等対策の現状・課題の整理や意見交換、専門家や先進自治体職員を招いての研修会開催により、危険空き家等に関する課題解決を図る。	○7/21（水）：第1回研修会 開催 ○11/18（木）：第2回研修会 開催	研修会の開催回数	
			調査時	-
			目標値	2回（R3年度）
			実績値	R2年度：2回 R3年度：2回

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
72	<b>国土強靱化地域計画推進事業</b> 国土強靱化地域計画を平成30年度に係省市町村合同で策定し、同計画に基づいた施策を圏域全体として推進することにより、強靱な地域の形成を図る。	○市町村担当課長会議（11/26開催） 計画に記載している連携項目の実施等について協議 ○連携項目の実施 外国人のための防災教室（R3.12.5 地域で育む”BOUSAI力”講座）の開催	合同会議の開催数【累計】	
			調査時	-
			目標値	7回（R3年度）
			実績値	R2年度：6回 R3年度：7回

## B 結びつきやネットワークの強化

### 地域内外の住民との交流・移住促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
73	<b>移住・交流推進事業</b> 移住・交流パンフレットの作成や移住・ポータルサイトの開設、首都圏での相談会・イベント等出展のほか、八戸市東京事務所内の「観光・UIターン窓口」などと連携し、移住・交流の促進を図る。	○ふるさとPRの実施（R3年12月27日） ○八戸都市圏移住セミナーの開催（R4年3月6日） ○国や県等が主催する移住関連イベントに参加 ○移住相談件数：443件（うち圏域町村64件）	移住相談件数	
			調査時	99件（H27年度）
			目標値	297件（R3年度）
			実績値	R2年度：464件 R3年度：443件
74	<b>縁結び支援事業</b> 圏域の地域特性に合わせた支援事業の実施や、圏域内の結婚支援に関する情報の共有を行うほか、文化体験型の婚活イベント開催により、結婚に向けた機会の増加や、定住意識の高揚等を図る。	○令和3年11月20日（土） オンライン婚活セミナー開催 参加者：4人（うち圏域町村2人） ○令和3年12月18日（土） オンライン婚活パーティー開催 参加者：7人（うち圏域町村1人） ○令和4年2月12日（土） オンライン婚活パーティー開催（昼夜2回） 参加者：12人（うち圏域町村3人）  ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面方式のイベント開催は中止	参加者数	
			調査時	-
			目標値	120人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：23人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
75	<b>八戸圏域活性化支援事業</b> 八戸圏域における営利を目的としない団体が行う圏域の活性化に資する事業に対して、経費の一部を助成することにより、圏域内外の住民との交流促進や、圏域の活性化を担う人材の育成を図る。	○4/7：助成金の公募開始 ・事業期間：4/7～1/31 ・交付決定：4件（うち圏域町村1件）	助成金交付件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	32件（R3年度）
			実績値	R2年度：11件 R3年度：15件
76	<b>住民活動保険事業</b> 行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を導入し、圏域住民が安心して活動することができる環境の構築を図る。	○契約先：あいおいニッセイ同和損害保険㈱ ○期 間：令和3年4月10日～令和4年4月10日 ○対象事故件数：11件	対象事故件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	30件（R3年度）
			実績値	R2年度：34件 R3年度：45件
77	<b>公共交通による交流促進事業</b> バスに乗車すると施設入場券等がお得になるバスパック・クーポン券を、交通事業者、沿線施設等と連携して企画・商品化し、路線バスを活用した余暇の過ごし方（お出かけ）の提案を通じ、通勤・通学等の日常利用以外のバス利用の促進を図る。	○圏域路線を対象とした日帰りバスパックの企画・提供（バスパック利用者数） ①11ぴきのねこさがしバスパック 8人 ②ごのへ★馬肉料理★バスパック 57人 ③南部町バーデパークバスパック 14人 ④はしかみ蕎麦と岳満喫バスパック 6人 ⑤おいらせ町美味しい酒とそばバスパック 2人 ⑥十和田市現代美術館バスパック 152人 ⑦櫛引八幡宮国宝館バスパック 41人 ⑧八戸酒造 酒蔵見学バスパック 21人 ⑨是川縄文館バスパック 226人 ⑩博物館・史跡根城の広場バスパック 196人	バスパック利用者数	
			調査時	1,400人（H27年度）
			目標値	1,540人（R3年度）
			実績値	R2年度：371人 R3年度：723人

## C 圏域マネジメント能力の強化

### 圏域内市町村職員の育成

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
78	<b>職員合同研修の開催</b> 八戸市が実施している職員研修プログラムの連携町村職員の参加機会の提供や、合同研修会を開催し、職員の資質と能力の向上や関係市町村職員の交流を図る。	○7/13（火）～7/16（金）：主査級職員研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、八戸市職員のみで実施 ○11/22（月）、11/24（水）：主事級職員一部研修 ○11/30（火）～12/2（木）：新採用後期研修 ○1/17（木）、1/18（金）：主事級職員二部研修 ○行財政研修会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○受講者数：232人（うち圏域町村43人）	調査時	-
			目標値	80%（R3年度）
			実績値	R2年度：88.1% R3年度：82.2%

### 女性の活躍促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
79	<b>女性チャレンジ講座開催事業</b> 圏域内の女性を対象としたビジネススキル養成講座や行政講座等を開催し、参加者同士のネットワークの構築や参加者の自己啓発・自己研鑽を図る。	○2年間の登録制の連続講座の開催 ・7月～2月（計7回）実施 ・受講者43人（うち圏域町村11人） ※R3年度 新規受講者21人 ○公開講座（一般の方を対象とした体験講座） ・令和3年10月22日（金） ・受講者24人（うち圏域町村4人） ・テーマ：「ニューノーマル時代必須！ビジネスで使えるオンラインツール活用術」	調査時	125人（H27年度）
			目標値	230人（R3年度）
			実績値	R2年度：230人 R3年度：251人



## パブリックコメントの実施結果について

第 2 期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン（二次案）については、統計数値の精査を行った上で、所要の修正を行い、原案として以下のとおりパブリックコメントを実施した。

### 1. 実施期間

令和 3 年 12 月 22 日（水）～令和 4 年 1 月 21 日（金）

### 2. 閲覧・配布場所

八戸市	市庁本館・別館案内、政策推進課、南郷事務所、地区公民館 市民サービスセンター、ホームページ
三戸町	三戸町役場
五戸町	五戸町役場
田子町	田子町役場
南部町	南部町役場、福地支所、南部支所
階上町	階上町役場
新郷村	新郷村役場
おいらせ町	おいらせ町役場（本庁舎・分庁舎）、北公民館、みなくる館

### 3. 提出された意見数

2 件（2 人）

### 4. 意見の内容と市の考え方

提出された意見に対する市の考え方は以下のとおり。

意見の内容①
<p>平成の大合併前の県南は、13 市町村で観光振興、所得向上の観点からネットワークとして「ナニヤドヤラ廻道」が策定され、漫画家・馬場のぼるさんの描いた八幡馬がシンボルマークとして使用されていた。</p> <p>その頃の圏域の人口は 352,000 人余り。10 数年を経た今の人口は 310,000 人程で、圏域全体で 40,000 人以上の減少下にある。従って圏域最大の課題は、今後の活力消失に繋がる人口減少の抑止にある。</p> <p>六戸町、おいらせ町、階上町は周辺都市部のベットタウンとして、著しい人口減少化にはないが、今、改めて人口減少抑止策に取り組みなければ、更に圏域の住民は減り続けるだろう。</p> <p>北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産の登録に。また南部氏の中世期拠点三戸城址が国の史跡に指定され、圏域内外からの誘客を推進できる、明るい材料が増えた。</p> <p><u>圏域の八戸市、南部町、三戸町、田子町などは南部氏との関りも深く、この歴史的ツールも生かし、観光客を含めた誘客に取り組み圏域活性化の交流人口を増やしたい。</u></p> <p><u>同様に縄文遺跡のネットワークも八戸市だけでなく、圏域各所から縄文時代や、それ以降の出土品も掘り出されており、各時代の遺跡文化も、更に PR する必要がある。</u></p> <p><u>八戸市を中心に東京に開設した「8 ベース」も最大に生かし、適切な U ターン、I ターン策を進め、1 人でも多くの方が圏域に戻ってこれるような、協力、魅力的施策を推しすすめ、県南各地の未来に明るい未来を構築してほしい。</u></p>

### 市の考え方①

本ビジョンでは、圏域の目指す将来像「地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域」の実現に向け、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に関する 23 施策 78 事業に取り組むこととしております。

また、令和 4 年度は首都圏における交流拠点「8 ベース」を活用して更なる移住促進を図るとともに、新たな取組として、圏域内の歴史的な文化財が有する価値や魅力を圏域内外に PR することで観光客の誘客促進を図る「八戸圏域文化財魅力発信事業」を実施することとしております。

これらの取組を 8 市町村が一体となって推し進め、一定の圏域人口を有した魅力あふれる圏域の形成を図り、八戸圏域の明るい未来を切り拓いてまいります。

### 意見の内容②

子どもの通う小・中学校の部活が少ないので、民間の指導者（顧問）を、圏域で受け入れ、子どもの芸術・文化部活動の促進を行ってほしいです。（私も書道を教えられるので、書道部をつくることができたらと考えています）

歴史・伝統・芸術・文化にじっくりと触れられる時間が少ないと思っています。

当団体・ふるさとの家保存会も活用できるので、こういった民間団体を活かしながら、伝統や芸術・文化を学び、守り、次世代へ（五戸ばおり、さきおり、ひしぎし など）つなげていける人材をはぐくんでいきたいです。（サッカースクールやバスケのスクールのように、文化活動の習いごとがあればと思っています）

### 市の考え方②

小中学校の芸術・文化部活動において、民間指導者を圏域で受入れることにつきましては、まずは圏域の各学校における部活動の現状やニーズを把握した上で検討していく必要があるものと考えております。

また、圏域の子どもたちが地域の歴史や伝統、芸術・文化に触れることは、地域への愛着と誇りの醸成を促し、将来的な地域の担い手育成につながるため、大変重要なことであると考えており、昨年 11 月 3 日に開館した「八戸市美術館」では、当館主催の展覧会に係る観覧料について、市内小中学生のみならず圏域町村の小中学生も原則無料とすることで、より多くの子どもたちが芸術や文化に触れられる環境づくりに取り組んでおります。

今後も八戸市美術館をはじめ、八戸圏域が有する地域資源を最大限に活用するとともに、民間団体とも連携を図りながら、8 市町村が一体となって圏域の子どもたちが芸術・文化等を学べる機会の創出を図ってまいります。

# 第 2 期 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン 【最終案】

令和 4 年●月



## 目次

<b>序章</b>	<b>ビジョンの策定に当たって</b>	<b>29</b>
1	策定の趣旨	29
2	連携中枢都市圏及び構成市町村の名称	29
3	具体的な取組期間	29
<b>第1章</b>	<b>圏域の概況</b>	<b>30</b>
1	構成市町村の概況	30
2	地域資源の状況	33
3	圏域の結びつき	35
4	人口の動向	37
5	産業の動向	45
6	都市機能・生活機能の状況	63
<b>第2章</b>	<b>圏域の中長期的将来像</b>	<b>72</b>
1	人口の将来展望	72
2	目指す将来像	73
3	取組の方向性	74
<b>第3章</b>	<b>将来像の実現に向けた具体的取組</b>	<b>75</b>
1	施策体系	75
2	具体的取組	77
3	推進体制	120
<b>付属資料</b>		<b>121</b>
	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿	122
	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱	123
	八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について	124
	八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等の使用に関する要綱	125

## 1 策定の趣旨

八戸圏域は、平成 21(2009)年 9 月に定住自立圏形成協定を締結し、圏域市町村が連携・協力して、定住の受け皿として必要な都市機能及び生活機能の確保・充実を図るとともに、魅力あふれる地域づくりを推進してきました。

また、平成 29(2017)年 3 月には、連携中枢都市圏へと発展的に移行し、「地域の個性が輝き自立した八戸圏域」を目指すべき将来像として掲げ、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に関する取組を着実に進めてきました。

このような中、近年、人口減少の進行や自然災害の激甚化・多発化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、当圏域を取り巻く環境は大きく変容しており、今後、当圏域が一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域として更なる飛躍を遂げるためには、これまで培ってきた緊密な連携に基づく連携中枢都市圏の取組の深化を図り、圏域全体の一体的発展につなげていく必要があります。

以上を踏まえ、令和 4(2022)年度を開始年度とした今後 5 年間における八戸圏域連携中枢都市圏の中長期的将来像と具体的取組を示す新たな連携中枢都市圏ビジョンを策定します。

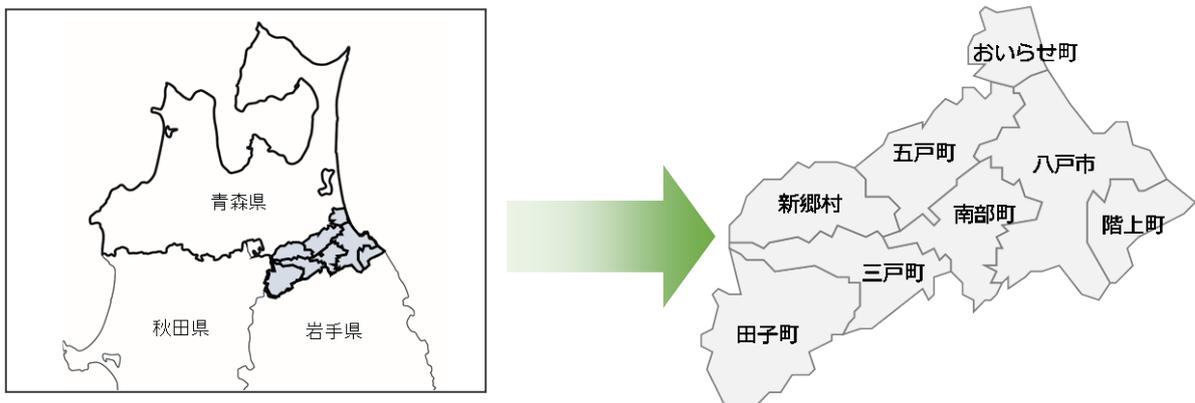
## 2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

### (1) 連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏（愛称：八戸都市圏スクラム<sup>エイト</sup>8）

### (2) 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

八戸市(連携中枢都市)、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



## 3 具体的な取組期間

本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の期間は、令和 4（2022）年度から令和 8（2026）年度までの 5 年間とします。

# 第1章 圏域の概況

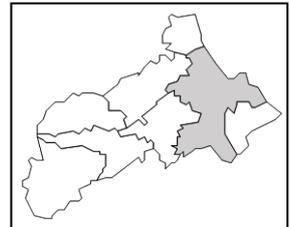
## 1 構成市町村の概況

構成市町村の概況は以下のとおりです。カッコ書きは、各市町村における総合計画の将来像を示しています。

### 八戸市 「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」

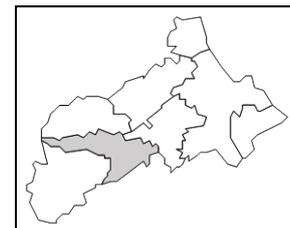
【連携中枢都市】

- ・八戸市は、古く藩政時代から、圏域をはじめ北奥羽地域の経済・社会・文化の中心として栄え、全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として発展し、平成 29(2017)年 1 月 1 日には中核市に移行しました。
- ・今後は、これまで整備してきた高度な都市機能を活かし、圏域内での更なる地域医療の充実やにぎわい創出を図るとともに、多種多様な産業や豊かな地域資源を活用した地域経済の活性化や観光の振興を図り、八戸圏域の中心市として、活力ある経済圏・生活圏の形成を目指していきます。



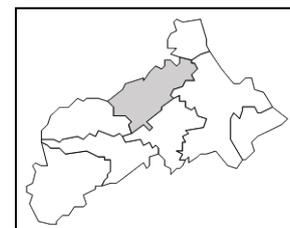
### 三戸町 「みんなが集う みんなで創る みんなを笑顔に 美しいふるさと さんのへ」

- ・三戸町は、戦国時代、北東北一帯を支配していた三戸南部氏の居城「三戸城」が築かれ、城下町として栄えた古い歴史を有し、明治 22 年に誕生してからは、三戸地方の中心地として大きな役割を果たしてきました。「りんご」をはじめとした果樹、米、葉たばこ、畜産などの農業が盛んで、近年は、町出身の漫画家「故・馬場のぼる」さんの人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズのキャラクターを活用したオンリーワンのまちづくりに取り組んでいます。
- ・今後は、「三戸独自の風土」に誇りを持ち、人、自然、文化という優れた資源や経験から得た知識を活かしながら、町民一人ひとりが地域社会の一員として集い、共生・協働のまちを創出することで、生涯にわたり生きがいを感じ、笑顔があふれるまちづくりを目指していきます。



### 五戸町 「人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷 ごのへ」

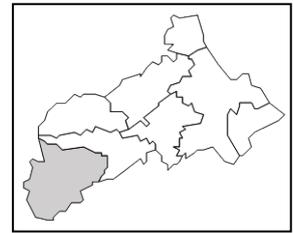
- ・五戸町は、古くから馬産地として知られ、米、ながいも、にんにく、りんごを基幹作物とした農業や畜産等を基幹産業とし、自然と歴史、文化の豊かな風土に、誰もが健やかで、安らぎと活力にあふれ、人々が交流する農・商・工併進のまちづくりを進めてきました。
- ・今後は、町が目指す将来像である『人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷ごのへ』の実現を図るため、住民同士が支え合い、協働と自立のまちづくりや 6 次産業化など総合的な産業振興などに取り組むとともに、八戸市や近隣町村との連携を強化して、五戸地方における中核的役割を果たしていくことを目指していきます。



## 田子町

「ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち」

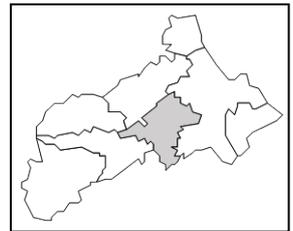
- ・田子町は、八戸圏域の最南端に位置し、青森、秋田、岩手の三県の県境に接する町で、広大な牧草地と豊富な森林資源を有しています。町の基幹産業は、農業と畜産を組み合わせた耕畜連携の地域農業を振興しています。中でも、にんにくは「たっこにんにく」の地域団体商標を取得し、さらに、新品種「たっこ1号」を開発するなどブランド力を高めてきました。また、夏秋野菜や田子牛(黒毛和牛)などの産地化とブランド化に努めています。
- ・今後は、北東北の二大観光地、十和田八幡平国立公園と三陸復興国立公園を結ぶ最短ルートの沿線にあるという地理的特性と魅力ある地域資源を活かした滞在型観光の推進と関係人口の創出に力を入れるとともに、光ファイバを活用した双方向通信などの地域情報網と有機的な連携による移動支援などの地域ネットワークの構築、国際交流を活かした教育の充実など、高齢者と子どもにやさしい地域づくりを目指していきます。



## 南部町

「みんながつながり達者に暮らす 笑顔あふれるまち 南部町」

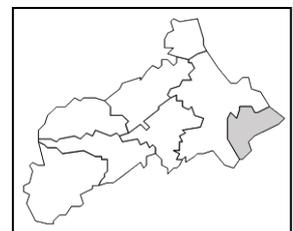
- ・南部町は、八戸市に隣接し、国道4号と104号が合流する交通の要衝に位置しています。果樹を中心とした安全・安心な農作物の生産拠点であるほか、「農業観光四季のまつり」、「達者村」、農業体験修学旅行生の受入れなどの施策を展開し、交流を推進しています。
- ・今後は、基幹産業である農業をはじめ各種産業の振興を図っていくため、南部藩発祥の地、国史跡聖寿寺館跡、国指定重要文化財南部利康霊屋、国登録有形文化財承陽塔、南部手踊り発祥の地等の歴史的遺産と各種観光資源を複合したグリーン・ツーリズムの推進など、都市・地域間交流を積極的に推進するとともに、全国唯一の町営地方卸売市場が圏域内の一大流通拠点となることを目指していきます。



## 階上町

「心豊かで安心安全な暮らしと 活力あふれる地域をみんなでつくる はしかみ New era plan」

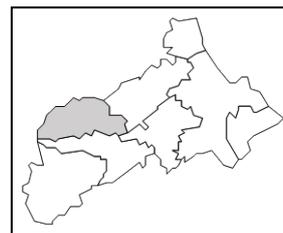
- ・階上町は、八戸市の南東に位置し岩手県境に接する町であり、公共下水道事業等の住環境の整備が進められ、八戸市のベッドタウンとなっています。
- ・「元祖いちご煮」や「階上早生階上そば」、「階上産アブラメ」をはじめとして、町の地域資源を活かした階上ブランドを推進するとともに、三陸復興国立公園の一部である階上岳や階上海岸等の豊かな自然を活かした体験型観光の推進と、都市住民と農村の交流の場や圏域住民の憩いの場として豊かな自然を提供することにより、産業振興と地域活性化を目指しています。
- ・今後は、町民と行政がパートナーとして連携し、住民の意見を反映させるとともに、効率的・効果的な行財政運営を進められるよう、これまで取り組んできた「協働のまちづくり」を更に推進していきます。



## 新郷村

「未来へ残す、未来を創る この地・この人・この文化」

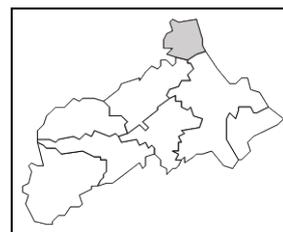
- ・新郷村は、米、野菜、畜産を主体とした農業をはじめ、素材生産はもとより環境保全等の公益機能を有する林業を基幹産業とし、農林畜産物生産の拠点的役割を果たしています。
- ・また、十和田八幡平国立公園に接する迷ヶ平や間木ノ平地区生活環境保全林は、自然滞在型体験観光エリアであるとともに、その周辺にはキリストの墓や大石神ピラミッド、新郷温泉館、水芭蕉群生地等があり、圏域内外からの観光客の保養の場としての役割を果たしています。
- ・農業を基幹産業として営み続けてきた本村は、今後も農業の村として存続を図っていくとともに、農業・林業・畜産業の発展を通じ村の文化を未来へ残すため、地域と結びついた産業を育み、新たな創造に努めていきます。また、国の方針にも「地方創生」と「人材育成」とあるように、人や地域の個性を活かすことがますます重要となることから、「この」＝「これがいい」と選ばれる、誇りを持てる村であるために、「新郷ならではのよさ」を育んでいきます。



## おいらせ町

「子どものびのび 大人いきいき ともにつくる おいらせ町」

- ・おいらせ町は、八戸市・三沢市・十和田市の中心に位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅、八戸港、三沢空港などの陸・海・空の交通網の結節点として地理的にも恵まれており、「住みごちのよいまち」として近隣市のベッドタウン的役割を果たしています。
- ・産業面では、水稻、畑作、畜産及び施設園芸を主体とした複合型農業や、臨海部の百石工業団地及び大型商業施設を核とした商業集積が中心となっています。各産業間の連携を強化し、雇用の場の創出を促進しています。
- ・今後は、未来を担う子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境をつくり、大人たちが仕事、地域活動や趣味などで活躍し、いきいきと元気にくらす町を目指していきます。



## 2 地域資源の状況

	自然・景勝地	歴史・民俗	スポーツ施設
八戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸復興国立公園（種差海岸）</li> <li>天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地</li> <li>名勝 種差海岸</li> <li>みちのく潮風トレイル</li> <li>三陸ジオパーク</li> <li>市民の森 不習岳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国宝（赤糸威鎧兜大袖付、白糸威褌取鎧兜大袖付、合掌土偶）</li> <li>是川石器時代遺跡</li> <li>史跡根城跡</li> <li>櫛引八幡宮</li> <li>清水寺観音堂</li> <li>旧島守発電所保存公園</li> <li>新むつ旅館</li> <li>更上閣</li> <li>八戸酒造</li> <li>八戸えんぶり</li> <li>八戸三社大祭</li> <li>加賀美流騎馬打毬</li> <li>法霊神楽</li> <li>鮫の神楽</li> <li>旧河内屋橋本合名会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長根公園</li> <li>新井田公園</li> <li>東運動公園</li> <li>南部山健康運動公園</li> <li>FLAT HACHINOHE</li> <li>八戸市屋内トレーニングセンター</li> <li>カッコーの森エコーランド</li> </ul>
三戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立自然公園（名久井岳）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三戸城跡城山公園</li> <li>関根の松</li> <li>奥州街道、駕籠立場（一里塚）</li> <li>斗内千人塚</li> <li>泉山の登拝行事</li> <li>佐藤家建造物</li> <li>斗内獅子舞</li> <li>白虎隊供養碑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三戸町スポーツ文化福祉複合施設（アップルドーム）</li> <li>三戸町民体育館</li> <li>サン・スポーツランド三戸</li> <li>三戸町勤労者体育センター</li> <li>松原公園</li> <li>三戸町民プール</li> <li>さんのへパークゴルフ場</li> </ul>
五戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜沼公園</li> <li>日本一のカシワの木</li> <li>槍沢のしだれ桜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧圓子家住宅</li> <li>江渡家住宅</li> <li>五戸町消防団第一分団屯所</li> <li>寶福寺</li> <li>新山神社</li> <li>明治天皇行在所</li> <li>南部駒踊り</li> <li>館町神楽舞</li> <li>五戸えんぶり</li> <li>田植え・田の草取り唄と踊り</li> <li>奥州街道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひばり野公園</li> <li>五戸ドーム</li> <li>倉石スポーツセンター</li> <li>町立公民館体育センター</li> </ul>
田子町	<ul style="list-style-type: none"> <li>みろくの滝</li> <li>大黒森の山つつじ</li> <li>四角岳</li> <li>真清田神社の杉</li> <li>釜淵観音堂の大イチョウ</li> <li>蛇王の松・三本松の山ノ神</li> <li>桂水カツラ・だだっちの木</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田子館、牛尾館</li> <li>奇峰学秀の仏像</li> <li>真清田神社・釜淵観音堂</li> <li>洞門寺山門、仁王像</li> <li>旧橋本家住宅</li> <li>田子神楽、石亀神楽</li> <li>田子の虫追い</li> <li>ナニヤドヤラ（盆踊り）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創遊村 229 スキーランド</li> <li>農業者トレーニングセンター</li> <li>町民グラウンド</li> <li>町民プール</li> <li>農山村広場</li> <li>農村環境改善センター</li> </ul>
南部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立自然公園（名久井岳）</li> <li>法光寺の千本松</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南部利康霊屋</li> <li>南部利直霊屋</li> <li>史跡聖寿寺館跡</li> <li>白華山 法光寺 承陽塔（三重の塔）</li> <li>南部地方えんぶり</li> <li>南部手踊り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名川 B&amp;G</li> <li>海洋センター</li> <li>町民体育館</li> <li>福地体育センター</li> <li>ふるさと運動公園</li> <li>ふくち運動公園</li> <li>たいら運動公園</li> <li>すぱーく名川</li> <li>ふくちアイスアリーナ</li> <li>八戸射撃場</li> </ul>
階上町	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸復興国立公園（階上岳、階上海岸）</li> <li>みちのく潮風トレイル</li> <li>三陸ジオパーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤保内駒踊り</li> <li>平内鶏舞</li> <li>平内えんぶり</li> <li>田代えんぶり</li> <li>鳥屋部えんぶり</li> <li>道仏神楽</li> <li>寺下観音</li> <li>館神社</li> <li>巨樹・巨木</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石鉢ふれあい交流館</li> <li>町民プール</li> <li>八戸カントリークラブ</li> <li>中央体育館・町民体育館</li> <li>あおぞらテニスコート</li> <li>クライミングジムノースロック</li> </ul>
新郷村	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本一ダケカンバ（樹木）</li> <li>戸来岳</li> <li>十和利山</li> <li>権現の滝</li> <li>水芭蕉群生地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナニヤドヤラ（盆踊り）</li> <li>キリストの里公園（キリストの墓）</li> <li>大石神ピラミッド</li> <li>長慶天皇の墓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>村営金ヶ沢スキー場</li> <li>村営プール</li> <li>村営野球場</li> </ul>
おいらせ町	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿日本一の根岸の大いちょう</li> <li>間木堤白鳥飛来地</li> <li>いちょう公園（自然散策道）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>氣比神社</li> <li>史跡阿光坊古墳群</li> <li>百石えんぶり</li> <li>百石まつり</li> <li>下田まつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いちょう公園</li> <li>下田公園</li> <li>町民交流センター</li> <li>いちょう公園体育館</li> <li>町民プール</li> </ul>

文化・芸術施設	レクリエーション施設	産直施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市公会堂</li> <li>・八戸市美術館</li> <li>・八戸市博物館</li> <li>・南郷文化ホール</li> <li>・南郷歴史民俗資料館</li> <li>・南部会館</li> <li>・八戸南部氏庭園</li> <li>・八戸ブックセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸公園</li> <li>・白浜海水浴場</li> <li>・蕪島海水浴場</li> <li>・水産科学館マリエント</li> <li>・長者まつりんぐ広場</li> <li>・山の楽校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八菜館</li> <li>・道の駅なんごう</li> <li>・朝もやの館</li> <li>・浜市場 みなととつと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八食センター</li> <li>・市営魚菜小売市場</li> <li>・世増ダム（青葉湖）</li> <li>・みなと体験学習館「みなつ知」</li> <li>・蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」</li> <li>・八戸ポータルミュージアム「はっち」</li> <li>・朝市文化、横丁文化</li> <li>・まちなか広場「マチニコ」</li> <li>・ユートリー</li> <li>・八戸前沖さば</li> <li>・八戸せんべい汁</li> <li>・南郷そば</li> <li>・青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆、南部花形組子）</li> <li>・八戸ワイン</li> <li>・八戸市公式マスコットキャラクター「いかずきんズ」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館</li> <li>・アップルドーム「馬場のぼるの部屋」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労青少年ホーム</li> <li>・金洗沢公園</li> <li>・城山公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅さんのへ</li> <li>・SAN・SUN 産直ひろば</li> <li>・新鮮組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「11ぴきのねこ」の石像</li> <li>・地域商社「櫛SANNOWA」</li> <li>・三戸望郷大橋</li> <li>・太子食品工業(株)</li> <li>・ひつつみ</li> <li>・串もち</li> <li>・ジョミ（ガマズミ）</li> <li>・ミニふじ</li> <li>・三戸田子牛</li> <li>・きんかもち</li> <li>・三戸せんべい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史みらいパーク</li> <li>・ごのへ郷土館</li> <li>・石沢駒踊伝承館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たんぼのゆっこ</li> <li>・五戸まきば温泉</li> <li>・小渡平公園</li> <li>・牧内自然公園</li> <li>・ひばり野ダリア園</li> <li>・正子のチューリップ園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい市ごのへ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸酒類(株)五戸工場</li> <li>・(株)菊駒酒造</li> <li>・青森伝統工芸品（五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織）</li> <li>・あおもり倉石牛</li> <li>・与助の牛</li> <li>・馬肉料理</li> <li>・青森シャモロック</li> <li>・五戸町応援キャラクター「ばおるくんとみらいちゃん」</li> <li>・五戸町 PR キャラクター「おんこちゃん」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タプコピアプラザ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タプコピ創遊村</li> <li>・みろくの滝親水広場</li> <li>・大福山公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーリックセンター</li> <li>・JA八戸田子ストア</li> <li>・関所の茶屋</li> <li>・産直たっこや</li> <li>・Takko Farmer's Market</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンモールたっこ商店街</li> <li>・たっこにんにく</li> <li>・田子牛</li> <li>・ガーリックステーキごはん</li> <li>・「ジャッツ! タッコーラ」</li> <li>・たっこにんにくイメージキャラクター「たっこ王子」</li> <li>・田子にんにく焼酎「どでん」</li> <li>・黒にんにく×赤ワイン「クロシユ」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部芸能伝承館</li> <li>・史跡聖寿寺館跡案内所</li> <li>・楽楽ホール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名川チェリリン村</li> <li>・長谷ぼたん園</li> <li>・ふるさとの森公園</li> <li>・バーデハウスふくち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくちジャックドセンター</li> <li>・名川チェリーセンター</li> <li>・そばの里けやぐ</li> <li>・なんぶふるさと物産館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクランボ</li> <li>・南部町営地方卸売市場</li> <li>・いちようロード</li> <li>・ゼネラル・レクラーク</li> <li>・食用菊（阿房宮）</li> <li>・南部達者米</li> <li>・南部太ねぎ</li> <li>・南部町シンボルキャラクター「なべまる」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料収集館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと河川公園</li> <li>・階上岳つじの森キャンプ場</li> <li>・ハートフルプラザはしかみ</li> <li>・わっせ交流センター</li> <li>・交流の森広場</li> <li>・アスナ公園</li> <li>・山館前公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅はしかみ</li> <li>・フォレストピア階上</li> <li>・はしかみハマの駅あるでい〜ば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階上灯台、小舟渡園地</li> <li>・いちご煮</li> <li>・階上早生階上そば</li> <li>・早生そば加工品（焼酎、ジェラート、そば味噌等）</li> <li>・塩サイダー「どごさいだ〜ハマさいだ〜」</li> <li>・階上町シンボルキャラクター「はしかみキッズ」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストの里公園伝承館</li> <li>・川代ものづくり学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間ノノ平グリーンパーク</li> <li>・ウキウキランド（釣り堀）</li> <li>・戸来岳</li> <li>・「鷲の湯」野沢温泉、新郷温泉館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新郷村地場産品直売センター（道の駅しんごう）</li> <li>・キリストつば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)泉農場新郷醸造所（長いも焼酎）</li> <li>・ミルク&amp;ハム工房</li> <li>・有機資源センター新郷</li> <li>・銀の鴨</li> <li>・新郷ホワイトイルミネーション</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山将棋記念館</li> <li>・ネーチャーセンター白鳥の家</li> <li>・おいらせ阿光坊古墳館</li> <li>・みなくる館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しもだサーモンパーク</li> <li>・下田公園キャンプ場</li> <li>・カワヨグリーン牧場</li> <li>・海浜公園</li> <li>・いちよう公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光 PR センター「味祭館」</li> <li>・アグリノ里おいらせ</li> <li>・おはよう広場</li> <li>・ファーマーズマルシェひとつぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一の自由の女神像</li> <li>・向山駅ミュージアム</li> <li>・桃川(株)（酒蔵）</li> <li>・黒にんにく</li> <li>・おいらせ町イメージキャラクター おいらくん</li> </ul>

### 3 圏域の結びつき

#### (1) 総人口

- ・総人口は約 31 万人となっており、そのうち八戸市の人口は約 7 割を占めている。
- ・昼夜間人口比率は八戸市以外の団体では 100%を下回っており、八戸市を中心に圏域の経済圏・生活圏が形成されていることが推察される。

図表 1-1 人口総数及び昼夜間人口比率

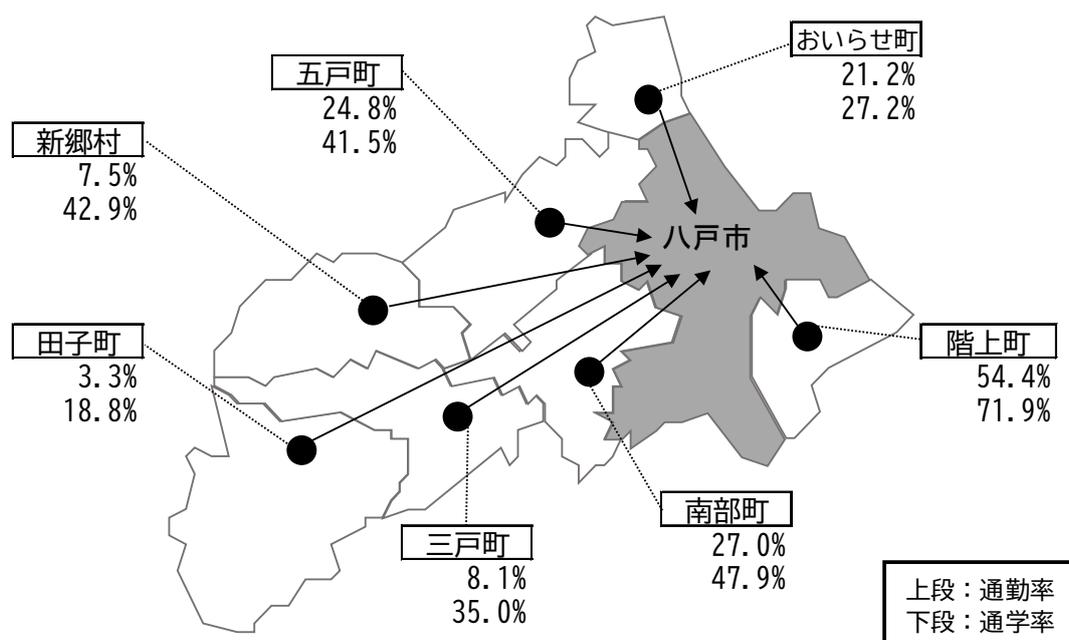
項目	市町村									圏域
	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町		
人口総数	223,415	9,082	16,042	4,968	16,809	13,496	2,197	24,273		310,282
昼夜間人口比率	104.6%	98.6%	90.3%	97.8%	84.6%	75.5%	93.3%	84.8%		-

資料：令和 2 年 国勢調査（総務省）  
（昼夜間人口比率は、平成 27 年国勢調査）

#### (2) 通勤・通学圏

- ・八戸市への通勤状況は、通勤率が高い順に階上町が 54.4%、南部町が 27.0%、五戸町が 24.8% となっている。
- ・八戸市への通学状況は、通学率が高い順に階上町が 71.9%、南部町が 47.9%、新郷村が 42.9% となっており、通勤率と比較して、八戸市への流入割合がより大きくなっている。

図表 1-2 八戸市への通勤・通学者状況 (%)



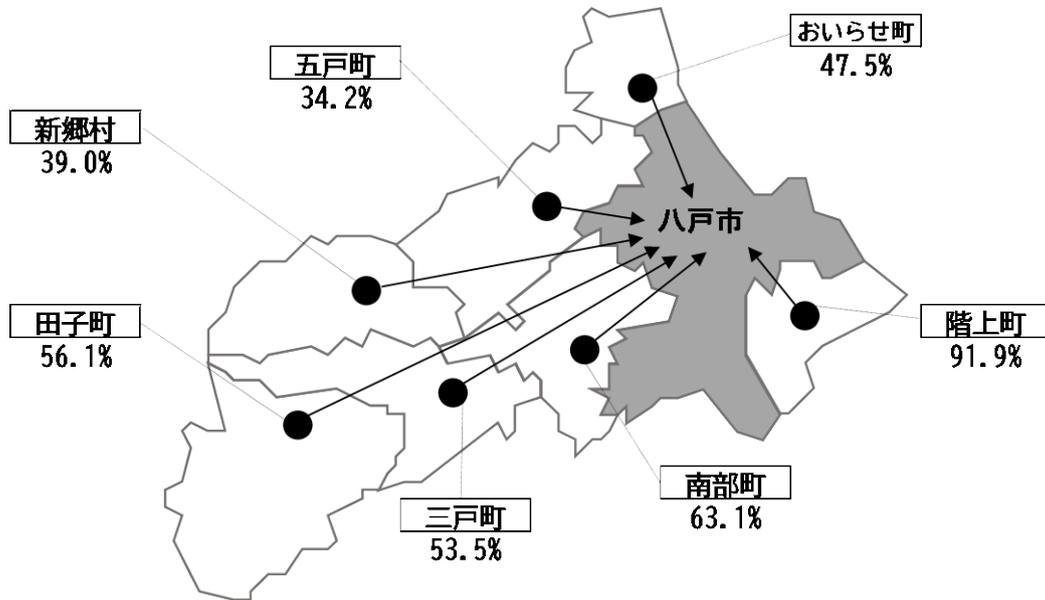
※15 歳以上の就業者、通学者

資料：平成 27 年 国勢調査（総務省）

### (3) 医療圏

- ・八戸市内の病院への入院者比率は、比率が高い順に階上町が 91.9%、南部町が 63.1%、田子町が 56.1%となっており、その他の町村でも 30%を超える水準となっている。

図表 1-3 八戸市内病院への入院動向 (%)



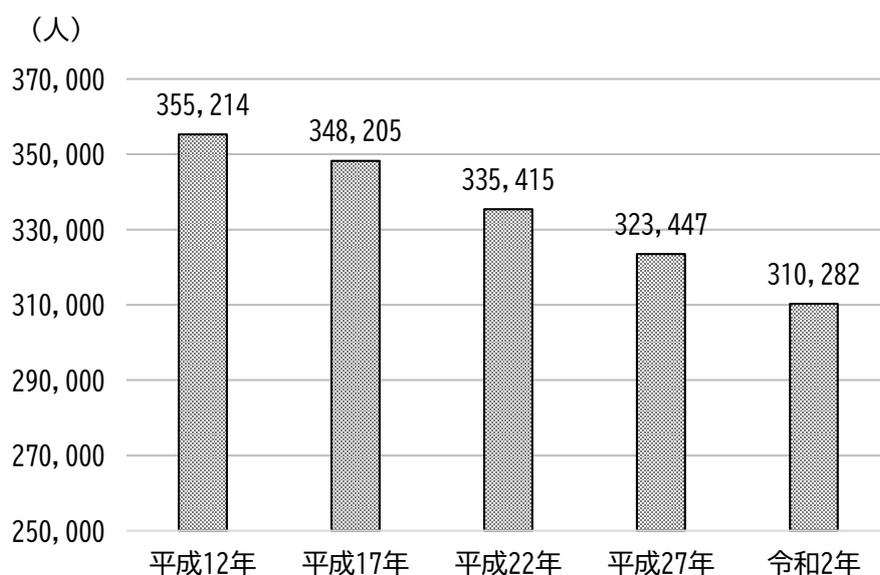
資料：平成 28 年 受療動向調査（青森県）

## 4 人口の動向

### (1) 人口推移

- ・平成12(2000)年から令和2(2020)年にかけて約4.5万人の減少となっている。
- ・構成市町村別では、おいらせ町は微増・横ばい、八戸市は微減で推移している一方で、三戸町、田子町、新郷村では前期比マイナス10%前後の水準で減少している。

図表1-4 人口の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表1-5 構成市町村別 人口の推移

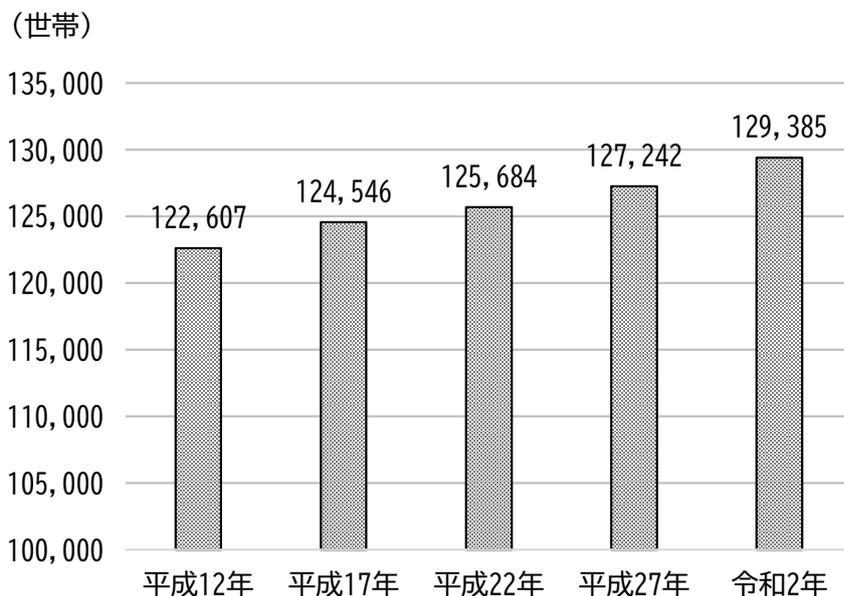
市町村	年					圏域内構成比 (令和2年)
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	
八戸市	248,608	244,700 (-1.6%)	237,615 (-2.9%)	231,257 (-2.7%)	223,415 (-3.4%)	72.0%
三戸町	13,223	12,261 (-7.3%)	11,299 (-7.8%)	10,135 (-10.3%)	9,082 (-10.4%)	2.9%
五戸町	21,318	20,138 (-5.5%)	18,712 (-7.1%)	17,433 (-6.8%)	16,042 (-8.0%)	5.2%
田子町	7,288	6,883 (-5.6%)	6,175 (-10.3%)	5,554 (-10.1%)	4,968 (-10.6%)	1.6%
南部町	22,596	21,552 (-4.6%)	19,853 (-7.9%)	18,312 (-7.8%)	16,809 (-8.2%)	5.4%
階上町	15,618	15,356 (-1.7%)	14,699 (-4.3%)	14,025 (-4.6%)	13,496 (-3.8%)	4.4%
新郷村	3,343	3,143 (-6.0%)	2,851 (-9.3%)	2,509 (-12.0%)	2,197 (-12.4%)	0.7%
おいらせ町	23,220	24,172 (4.1%)	24,211 (0.2%)	24,222 (0.0%)	24,273 (0.2%)	7.8%
圏域	355,214	348,205 (-2.0%)	335,415 (-3.7%)	323,447 (-3.6%)	310,282 (-4.1%)	-

下段：対前期増加率  
資料：国勢調査（総務省）

## (2) 世帯数

- ・ 高齢単身者世帯が微増傾向となっており、平成 12(2000)年から令和 2(2020)年にかけて約 7 千世帯の増加となっている。

図表 1-6 世帯数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-7 構成市町村別 世帯数の推移

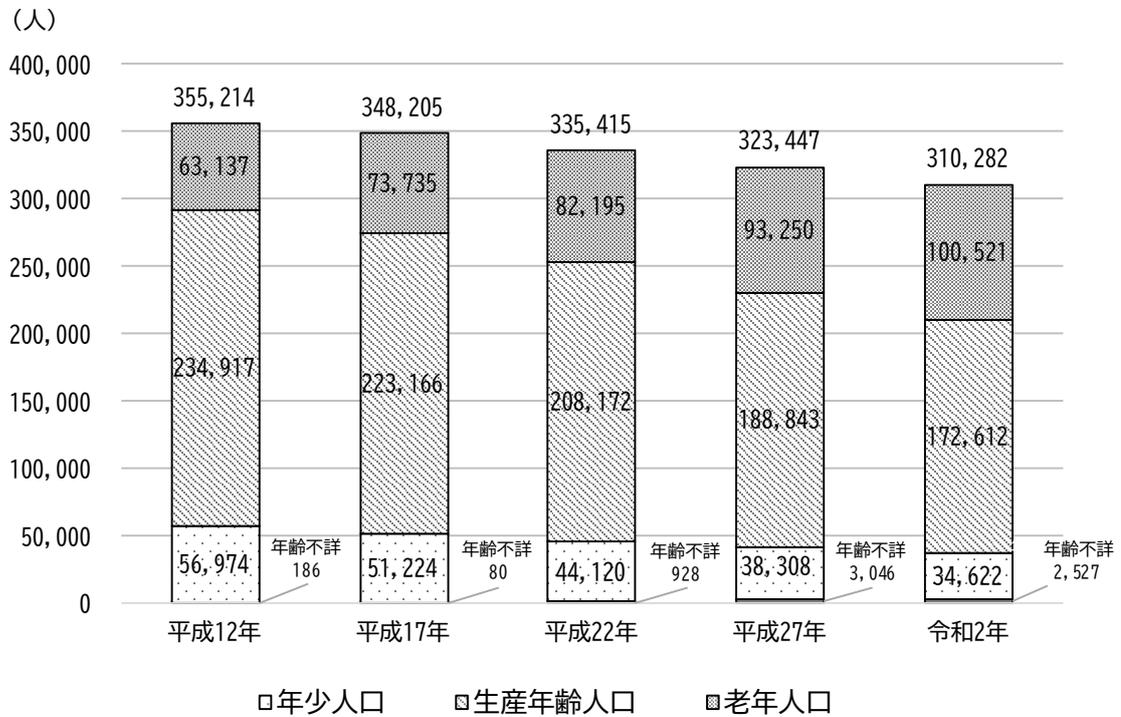
年 市町村	(世帯)					圏域内構成比 (令和2年)
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	
八戸市	88,657	90,308 (1.9%)	91,917 (1.8%)	93,750 (2.0%)	95,671 (2.0%)	73.9%
三戸町	4,312	4,145 (-3.9%)	3,961 (-4.4%)	3,756 (-5.2%)	3,566 (-5.1%)	2.8%
五戸町	6,268	6,347 (1.3%)	6,177 (-2.7%)	6,123 (-0.9%)	6,059 (-1.0%)	4.7%
田子町	2,253	2,223 (-1.3%)	2,097 (-5.7%)	2,006 (-4.3%)	1,918 (-4.4%)	1.5%
南部町	6,851	6,819 (-0.5%)	6,621 (-2.9%)	6,419 (-3.1%)	6,263 (-2.4%)	4.8%
階上町	5,951	5,786 (-2.8%)	5,707 (-1.4%)	5,699 (-0.1%)	5,862 (2.9%)	4.5%
新郷村	927	909 (-1.9%)	874 (-3.9%)	831 (-4.9%)	788 (-5.2%)	0.6%
おいらせ町	7,388	8,009 (8.4%)	8,330 (4.0%)	8,658 (3.9%)	9,258 (6.9%)	7.2%
圏域	122,607	124,546 (1.6%)	125,684 (0.9%)	127,242 (1.2%)	129,385 (1.7%)	-

下段：対前期増加率  
資料：国勢調査（総務省）

### (3) 年齢別 (3 区分) 人口

- ・ 老年人口が増加傾向で推移している一方で、年少人口・生産年齢人口が減少傾向で推移している。

図表 1-8 年齢別 (3 区分) 人口の推移

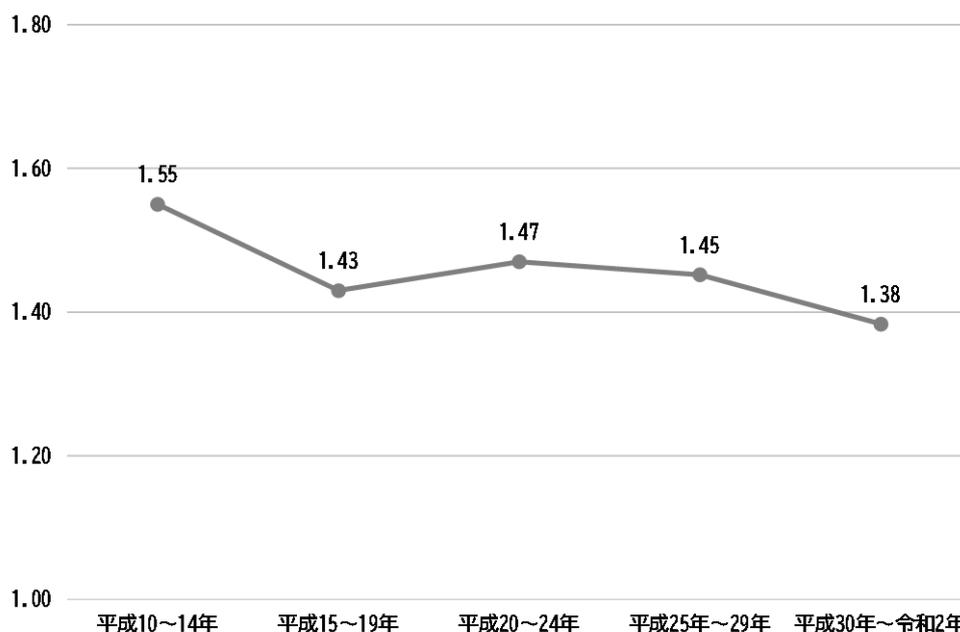


資料：国勢調査（総務省）

#### (4) 合計特殊出生率

- ・平成10～14(1998～2002)年から平成30～令和2(2018～2020)年にかけて0.17ポイント減少している。

図表 1-9 合計特殊出生率の推移



資料：人口動態保健所・市町村別統計（厚労省）  
各市町村住民基本台帳

図表 1-10 構成市町村別 合計特殊出生率の推移

年	平成10～14年	平成15～19年	平成20～24年	平成25年～29年	平成30年～令和2年
市町村					
八戸市	1.54	1.43	1.47	1.54	1.40
三戸町	1.57	1.49	1.48	1.38	1.21
五戸町	1.48	1.31	1.32	1.38	1.22
田子町	1.63	1.60	1.48	1.48	1.36
南部町	1.55	1.31	1.47	1.42	1.16
階上町	1.50	1.36	1.34	1.33	1.20
新郷村	1.64	1.48	1.39	1.48	0.92
おいらせ町	1.63	1.53	1.61	1.64	1.61
圏域	1.55	1.43	1.47	1.45	1.38

資料：人口動態保健所・市町村別統計（厚労省）  
令和2年青森県人口動態統計（青森県）  
各市町村住民基本台帳

## (5) 人口動態（自然動態・社会動態）

- ・人口動態はマイナスで推移しているものの、平成30(2018)年から令和2(2020)年にかけて増加傾向に転じている。

図表 1-11 人口動態（自然動態+社会動態）の推移

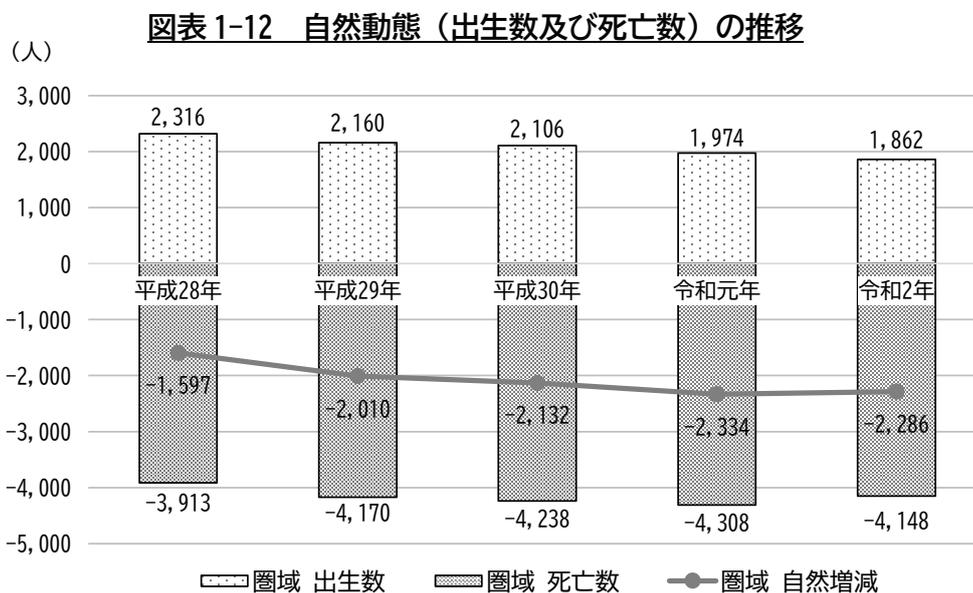
(人)

年 市町村	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸市	-1,730	-1,749 (△ 19)	-2,315 (△ 566)	-2,125 (190)	-2,110 (15)
三戸町	-251	-259 (△ 8)	-263 (△ 4)	-223 (40)	-185 (38)
五戸町	-261	-347 (△ 86)	-333 (14)	-292 (41)	-318 (△ 26)
田子町	-129	-178 (△ 49)	-145 (33)	-143 (2)	-121 (22)
南部町	-356	-362 (△ 6)	-334 (28)	-407 (△ 73)	-280 (127)
階上町	-129	-144 (△ 15)	-127 (17)	-202 (△ 75)	-159 (43)
新郷村	-14	-71 (△ 57)	-80 (△ 9)	-64 (16)	-78 (△ 14)
おいらせ町	196	-82 (△ 278)	-73 (9)	48 (121)	54 (6)
圏域	-2,674	-3,192 (△ 518)	-3,670 (△ 478)	-3,408 (262)	-3,197 (211)

下段：対前期増減数  
資料：人口移動統計調査（青森県）

### ① 自然動態（出生及び死亡）

- ・出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向で推移している。
- ・自然動態は減少傾向にあるものの、令和2(2020)年には前年に比べて死亡数が少なかったことから、減少幅が縮小している。



**図表 1-13 自然動態の推移**

(人)

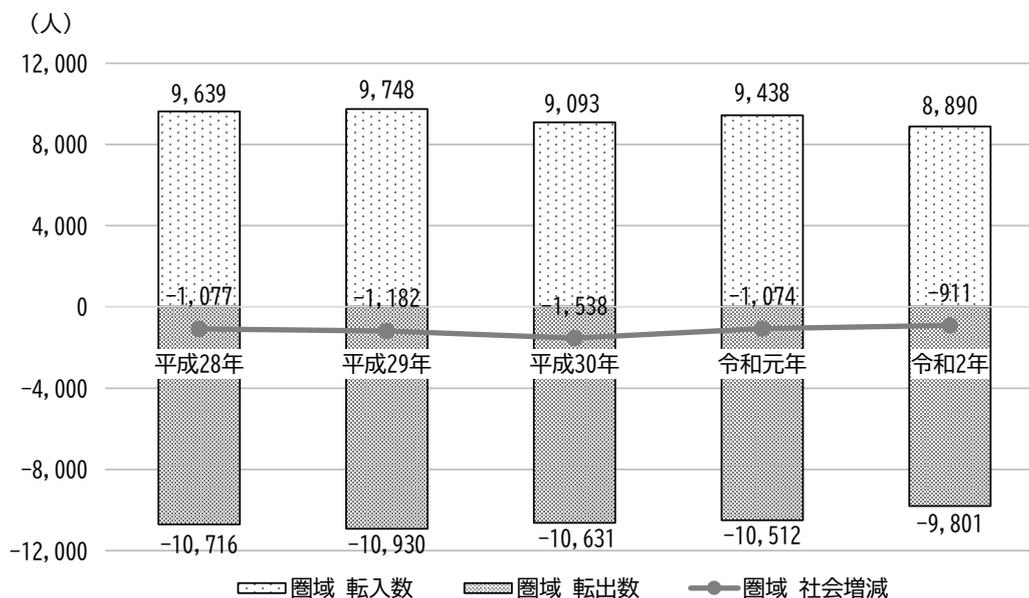
年 市町村	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸市	-847	-1,071 (△ 224)	-1,150 (△ 79)	-1,370 (△ 220)	-1,375 (△ 5)
三戸町	-161	-158 (3)	-173 (△ 15)	-145 (28)	-122 (23)
五戸町	-179	-212 (△ 33)	-198 (14)	-219 (△ 21)	-201 (18)
田子町	-75	-121 (△ 46)	-95 (26)	-92 (3)	-78 (14)
南部町	-218	-237 (△ 19)	-258 (△ 21)	-297 (△ 39)	-241 (56)
階上町	-82	-98 (△ 16)	-103 (△ 5)	-102 (1)	-131 (△ 29)
新郷村	-23	-34 (△ 11)	-63 (△ 29)	-31 (32)	-58 (△ 27)
おいらせ町	-12	-79 (△ 67)	-92 (△ 13)	-78 (14)	-80 (△ 2)
圏域	-1,597	-2,010 (△ 413)	-2,132 (△ 122)	-2,334 (△ 202)	-2,286 (48)

下段：対前期増減数  
資料：人口移動統計調査（青森県）

## ② 社会動態（転入及び転出）

- ・社会動態はマイナスで推移しているものの、令和元(2019)年より増加傾向に転じている。
- ・転入数及び転出数ともに減少傾向にある。

図表 1-14 社会動態（転入数及び転出数）の推移



資料：人口移動統計調査（青森県）

図表 1-15 社会動態の推移

年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
市町村					
八戸市	-883	-678 (205)	-1,165 (△ 487)	-755 (410)	-735 (20)
三戸町	-90	-101 (△ 11)	-90 (11)	-78 (12)	-63 (15)
五戸町	-82	-135 (△ 53)	-135 (0)	-73 (62)	-117 (△ 44)
田子町	-54	-57 (△ 3)	-50 (7)	-51 (△ 1)	-43 (8)
南部町	-138	-125 (13)	-76 (49)	-110 (△ 34)	-39 (71)
階上町	-47	-46 (1)	-24 (22)	-100 (△ 76)	-28 (72)
新郷村	9	-37 (△ 46)	-17 (20)	-33 (△ 16)	-20 (13)
おいらせ町	208	-3 (△ 211)	19 (22)	126 (107)	134 (8)
圏域	-1,077	-1,182 (△ 105)	-1,538 (△ 356)	-1,074 (464)	-911 (163)

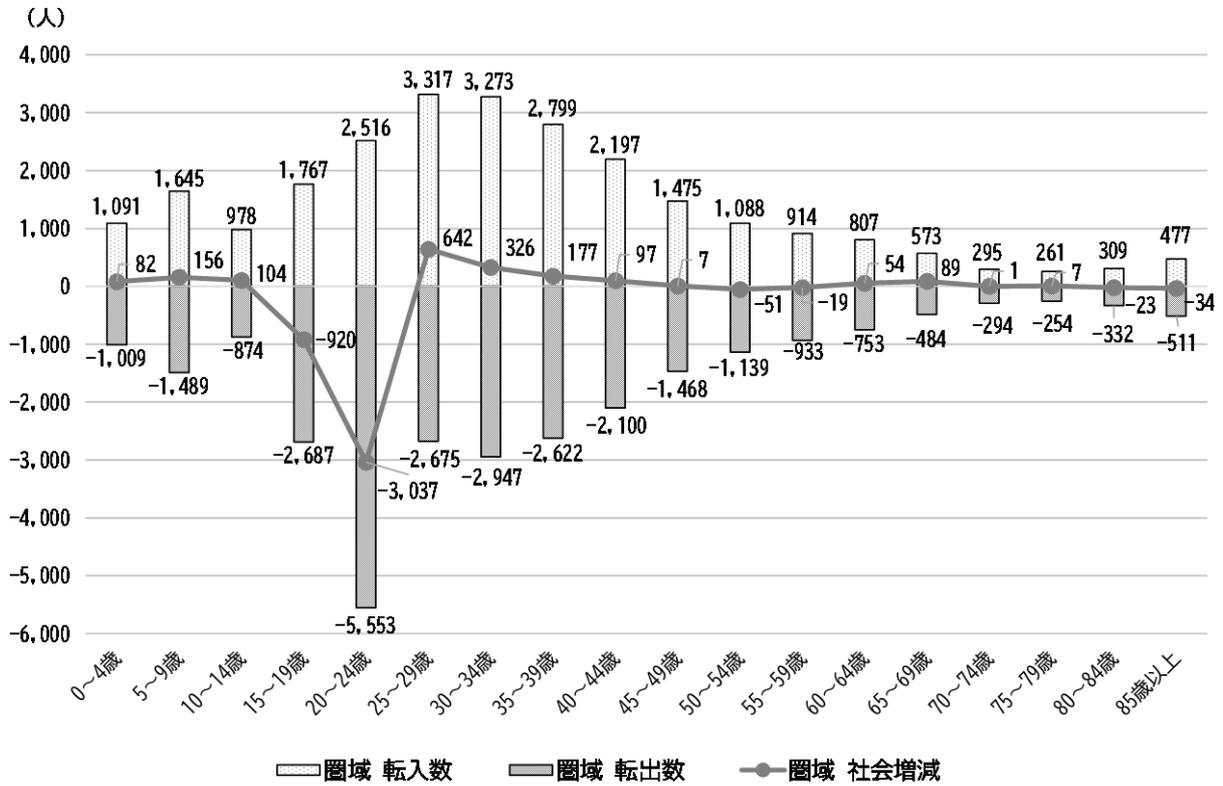
下段：対前期増減数

資料：人口移動統計調査（青森県）

## (6) 人口移動

- ・25歳から34歳までにおいては他の世代に比べて大きく転入超過となっている一方で、20～24歳の人口が大幅に転出超過となっている。

図表 1-16 年齢階級別 純移動数（転入－転出）



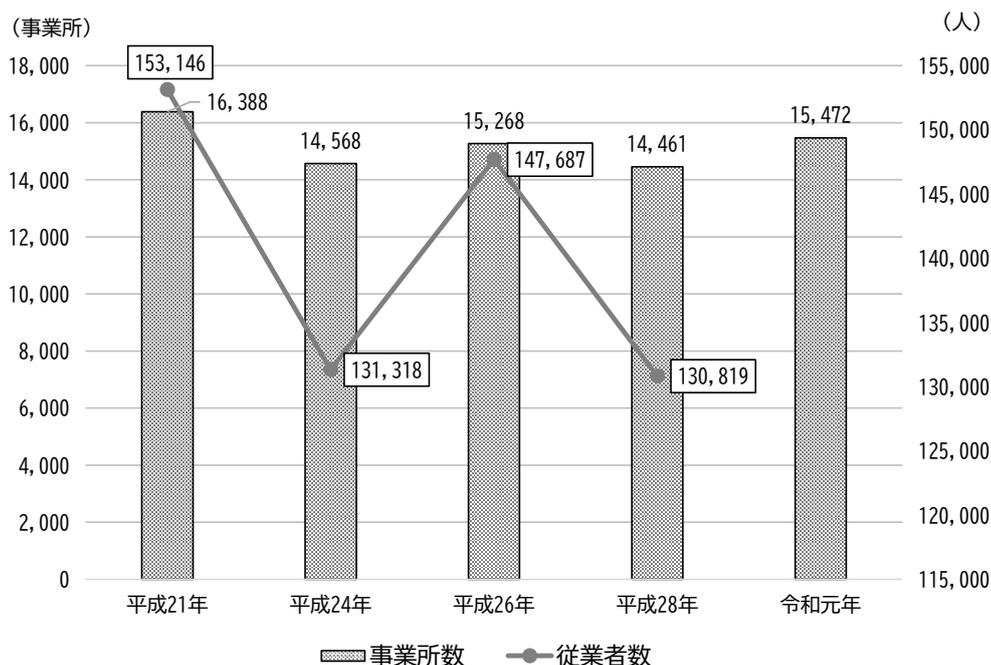
資料：平成 27 年 国勢調査（総務省）

## 5 産業の動向

### (1) 事業所数・従業者数

- ・事業所数は、平成 21(2009)年から令和元(2019)年にかけて増減を繰り返しながら推移しており、平成 28(2016)年から令和元(2019)年にかけては、全ての市町村で増加している。
- ・従業者数は、平成 24(2012)年から平成 26(2014)年にかけて増加が見られたものの、平成 28(2016)年には全ての市町村で減少に転じている。

図表 1-17 事業所数・従業者数の推移



※令和元年の従業者数は、経済センサスの集計項目の変更により不明  
資料：経済センサス（総務省）

図表 1-18 構成市町村別 事業所数・従業者数の推移

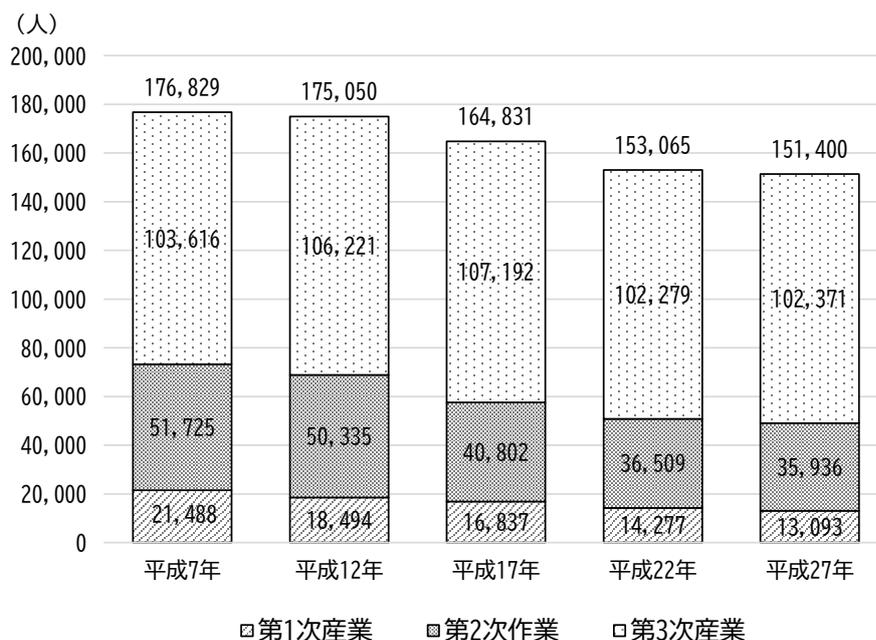
市町村	年					(事業所, 人)
	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和元年	
八戸市	事業所数	12,402	11,290	11,715	11,225	11,958
	従業者数	121,217	104,520	117,845	104,728	-
三戸町	事業所数	534	417	451	403	441
	従業者数	4,280	3,259	3,730	3,164	-
五戸町	事業所数	744	608	646	604	622
	従業者数	6,325	5,199	5,800	5,186	-
田子町	事業所数	314	266	287	254	261
	従業者数	2,373	1,967	2,141	1,821	-
南部町	事業所数	813	624	702	613	663
	従業者数	5,165	4,254	4,946	4,044	-
階上町	事業所数	462	386	414	388	459
	従業者数	3,822	3,261	3,609	3,101	-
新郷村	事業所数	142	103	120	99	101
	従業者数	779	655	858	604	-
おいらせ町	事業所数	977	874	933	875	967
	従業者数	9,185	8,203	8,758	8,171	-
圏域	事業所数	16,388	14,568	15,268	14,461	15,472
	従業者数	153,146	131,318	147,687	130,819	-

※令和元年の従業者数は、経済センサスの集計項目の変更により不明  
資料：経済センサス（総務省）

## (2) 産業3区分別就業者数・就業割合

- ・就業者数は、産業3区分全体で減少傾向にあり、特に第1次産業及び第2次産業の就業者数は、平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて全ての市町村で減少している。
- ・第3次産業の就業者数は、一部の市町村で増加傾向にあり、特においらせ町の就業者数が平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて大きく増加している。
- ・就業割合は、平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて第1次産業及び第2次産業が減少している一方、第3次産業は増加している。

図表 1-19 産業3区分別 就業者数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-20 構成市町村別 第1次産業就業者数及び就業割合の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減幅 (H7年-H27年)
八戸市	6,759 (5.5%)	5,473 (4.5%)	4,723 (4.2%)	3,926 (3.6%)	3,625 (3.4%)	-3,134 (-2.1%)
三戸町	2,376 (32.7%)	2,163 (30.8%)	1,984 (32.3%)	1,709 (31.7%)	1,582 (30.9%)	-794 (-1.8%)
五戸町	3,066 (26.3%)	2,742 (24.1%)	2,546 (24.4%)	2,117 (22.7%)	2,069 (22.9%)	-997 (-3.4%)
田子町	1,765 (40.5%)	1,629 (39.3%)	1,494 (39.5%)	1,254 (38.4%)	1,098 (36.6%)	-667 (-3.9%)
南部町	3,783 (31.1%)	3,226 (27.7%)	3,003 (27.5%)	2,605 (26.7%)	2,355 (25.1%)	-1,428 (-6.0%)
階上町	1,000 (16.8%)	827 (12.3%)	793 (11.6%)	647 (9.8%)	563 (8.7%)	-437 (-8.1%)
新郷村	967 (47.4%)	971 (48.6%)	893 (48.4%)	811 (49.8%)	682 (48.5%)	-285 (1.1%)
おいらせ町	1,772 (16.2%)	1,463 (12.4%)	1,401 (11.6%)	1,208 (10.2%)	1,119 (9.3%)	-653 (-6.9%)
圏域	21,488 (12.2%)	18,494 (10.5%)	16,837 (10.2%)	14,277 (9.1%)	13,093 (8.5%)	-8,395 (-3.7%)

下段：総就業者に占める第1次産業就業者の割合  
資料：国勢調査（総務省）

図表 1-21 構成市町村別 第 2 次産業就業者数及び就業割合の推移

(人)

年 市町村	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減幅 (H7年-H27年)
八戸市	34,786 (28.4%)	33,233 (27.5%)	26,991 (23.8%)	24,456 (22.6%)	24,286 (22.5%)	-10,500 (-5.9%)
三戸町	1,795 (24.7%)	1,769 (25.2%)	1,315 (21.3%)	1,047 (19.4%)	968 (18.9%)	-827 (-5.8%)
五戸町	3,833 (32.8%)	3,693 (32.5%)	2,950 (28.2%)	2,506 (26.9%)	2,344 (25.9%)	-1,489 (-6.9%)
田子町	1,095 (25.1%)	1,052 (25.4%)	870 (23.0%)	711 (21.8%)	708 (23.6%)	-387 (-1.5%)
南部町	3,469 (28.5%)	3,294 (28.3%)	2,559 (23.5%)	2,099 (21.5%)	2,039 (21.8%)	-1,430 (-6.7%)
階上町	2,145 (36.1%)	2,529 (37.6%)	2,132 (31.2%)	1,974 (29.9%)	1,961 (30.3%)	-184 (-5.8%)
新郷村	433 (21.2%)	390 (19.5%)	319 (17.3%)	281 (17.2%)	243 (17.3%)	-190 (-3.9%)
おいらせ町	4,169 (38.1%)	4,375 (37.0%)	3,666 (30.3%)	3,435 (29.0%)	3,387 (28.1%)	-782 (-10.0%)
圏域	51,725 (29.2%)	50,335 (28.7%)	40,802 (24.7%)	36,509 (23.4%)	35,936 (23.3%)	-15,789 (-5.9%)

下段：総就業者に占める第 2 次産業就業者の割合  
資料：国勢調査（総務省）

図表 1-22 構成市町村別 第 3 次産業就業者数及び就業割合の推移

(人)

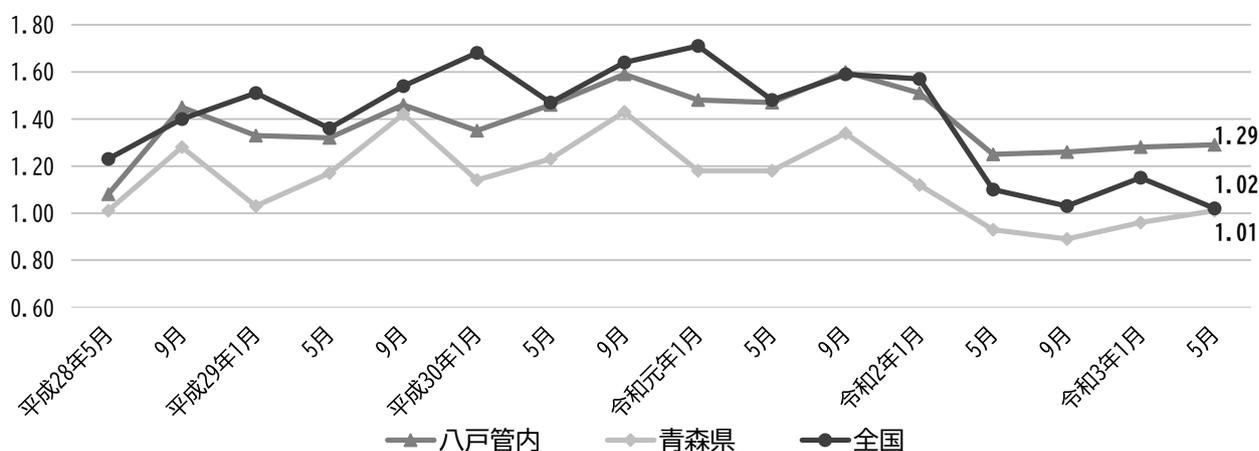
年 市町村	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減幅 (H7年-H27年)
八戸市	80,903 (66.1%)	81,619 (68.0%)	81,178 (71.6%)	77,412 (71.4%)	77,656 (71.9%)	-3,247 (5.8%)
三戸町	3,104 (42.7%)	3,082 (43.9%)	2,862 (46.4%)	2,620 (48.6%)	2,517 (49.2%)	-587 (6.5%)
五戸町	4,771 (40.9%)	4,940 (43.4%)	4,953 (47.4%)	4,672 (50.2%)	4,594 (50.8%)	-177 (9.9%)
田子町	1,494 (34.3%)	1,460 (35.3%)	1,414 (37.4%)	1,298 (39.8%)	1,186 (39.6%)	-308 (5.3%)
南部町	4,914 (40.4%)	5,127 (44.0%)	5,326 (48.8%)	4,979 (51.0%)	4,915 (52.5%)	1 (12.1%)
階上町	2,803 (47.1%)	3,356 (50.1%)	3,845 (56.3%)	3,755 (56.8%)	3,818 (58.9%)	1,015 (11.8%)
新郷村	640 (31.4%)	636 (31.9%)	630 (34.1%)	535 (32.8%)	481 (34.2%)	-159 (2.8%)
おいらせ町	4,987 (45.6%)	6,001 (50.7%)	6,984 (57.8%)	7,008 (59.2%)	7,204 (59.7%)	2,217 (14.1%)
圏域	103,616 (58.6%)	106,221 (60.8%)	107,192 (64.8%)	102,279 (65.5%)	102,371 (66.3%)	-1,245 (7.7%)

下段：総就業者に占める第 3 次産業就業者の割合  
資料：国勢調査（総務省）

### (3) 有効求人倍率

- ・八戸公共職業安定所管内、青森県、全国それぞれにおいて、令和2(2020)年5月を契機に急落しているが、八戸公共職業安定所管内は国及び青森県を上回る水準で推移している。

図表 1-23 有効求人倍率の推移



資料：最近の雇用情勢について（青森労働局）  
八戸公共職業安定所資料

### (4) 工業団地数

- ・八戸市に8か所、五戸町に3か所、三戸町・南部町・階上町にそれぞれ2か所、おいらせ町に1か所となっており、面積及び企業数は八戸市が圏域全体の約8割を占めている。
- ・現在、令和6(2024)年度の方譲開始に向けて新たに「八戸北インター第2工業団地」を整備している。

図表 1-24 構成市町村別 工業団地数・企業数

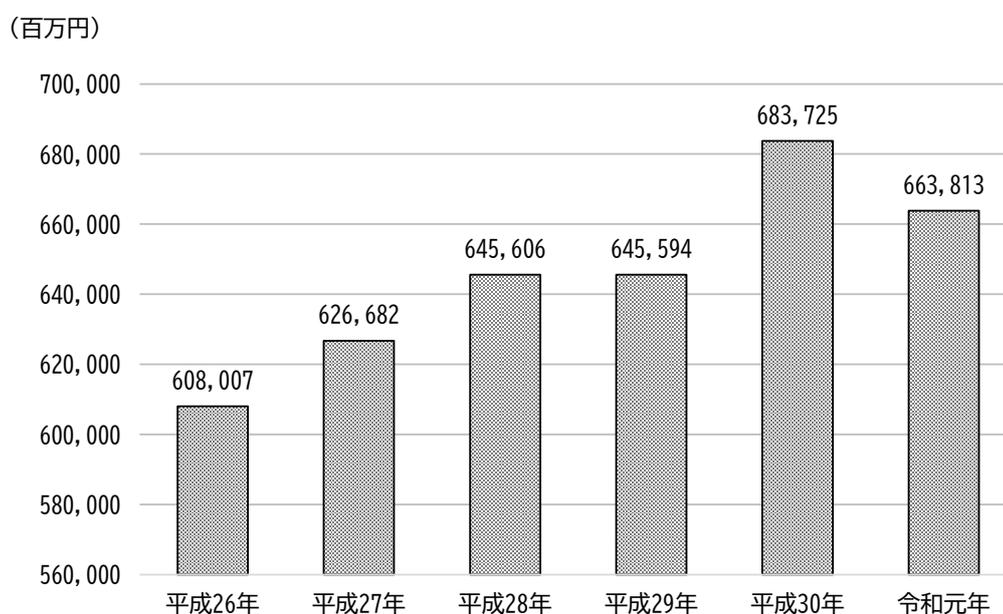
市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
工業団地数	8	2	3	0	2	2	0	1	18
面積 (ha)	389.5	9	44.6	0	18.1	7.2	0	23.2	491.6
企業数	204	2	19	0	6	2	0	18	251

令和2年10月1日現在  
資料：工業団地一覧表（青森県）

## (5) 製造品出荷額等

- ・平成26(2014)年から平成28(2016)年にかけて緩やかな増加傾向で推移しており、平成30(2018)年には八戸市において鉄鋼業の出荷額が増加したことなどにより、大きく増加している。

図表 1-25 製造品出荷額等の推移



資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

図表 1-26 構成市町村別 製造品出荷額等の推移

市町村	年						圏域内構成比 (令和元年)
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
八戸市	501,558	512,701 (2.2%)	538,099 (5.0%)	534,135 (-0.7%)	569,086 (6.5%)	547,475 (-3.8%)	82.5%
三戸町	13,589	13,035 (-4.1%)	14,328 (9.9%)	14,612 (2.0%)	14,079 (-3.6%)	14,128 (0.3%)	2.1%
五戸町	18,967	23,554 (24.2%)	23,215 (-1.4%)	23,782 (2.4%)	21,943 (-7.7%)	22,595 (3.0%)	3.4%
田子町	9,922	11,691 (17.8%)	11,644 (-0.4%)	12,229 (5.0%)	11,258 (-7.9%)	10,928 (-2.9%)	1.6%
南部町	16,654	15,359 (-7.8%)	12,671 (-17.5%)	13,404 (5.8%)	13,825 (3.1%)	12,371 (-10.5%)	1.9%
階上町	11,217	12,244 (9.2%)	7,997 (-34.7%)	8,617 (7.8%)	7,861 (-8.8%)	8,853 (12.6%)	1.3%
新郷村	X	X -	X -	X -	X -	X -	-
おいらせ町	36,100	38,098 (5.5%)	37,652 (-1.2%)	38,815 (3.1%)	45,673 (17.7%)	47,463 (3.9%)	7.2%
圏域	608,007	626,682 (3.1%)	645,606 (3.0%)	645,594 (-0.0%)	683,725 (5.9%)	663,813 (-2.9%)	-

※新郷村については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

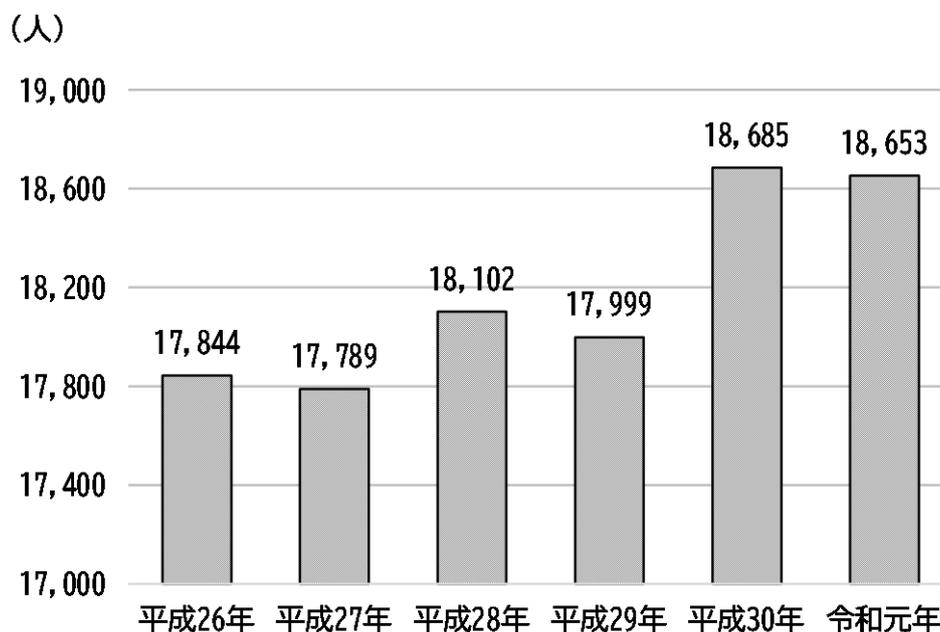
下段：対前期増加率

資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

## (6) 製造業従業者

- ・平成26(2014)年から平成29(2017)年にかけて増減を繰り返しながら推移しており、平成30(2018)年には大きく増加している。

図表 1-27 製造業従業者数の推移



資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

図表 1-28 構成市町村別 製造業従業者数の推移

年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市	13,172	13,027 (-1.1%)	13,546 (4.0%)	13,505 (-0.3%)	14,159 (4.8%)	14,178 (0.1%)	76.0%
三戸町	454	460 (1.3%)	443 (-3.7%)	461 (4.1%)	455 (-1.3%)	433 (-4.8%)	2.3%
五戸町	1,193	1,324 (11.0%)	1,232 (-6.9%)	1,167 (-5.3%)	1,198 (2.7%)	1,117 (-6.8%)	6.0%
田子町	408	423 (3.7%)	379 (-10.4%)	390 (2.9%)	388 (-0.5%)	385 (-0.8%)	2.1%
南部町	629	714 (13.5%)	646 (-9.5%)	646 (0.0%)	585 (-9.4%)	586 (0.2%)	3.1%
階上町	615	604 (-1.8%)	595 (-1.5%)	599 (0.7%)	641 (7.0%)	677 (5.6%)	3.6%
新郷村	11	27 (145.5%)	12 (-55.6%)	15 (25.0%)	15 (0.0%)	19 (26.7%)	0.1%
おいらせ町	1,362	1,210 (-11.2%)	1,249 (3.2%)	1,216 (-2.6%)	1,244 (2.3%)	1,258 (1.1%)	6.8%
圏域	17,844	17,789 (-0.3%)	18,102 (1.8%)	17,999 (-0.6%)	18,685 (3.8%)	18,653 (-0.2%)	-

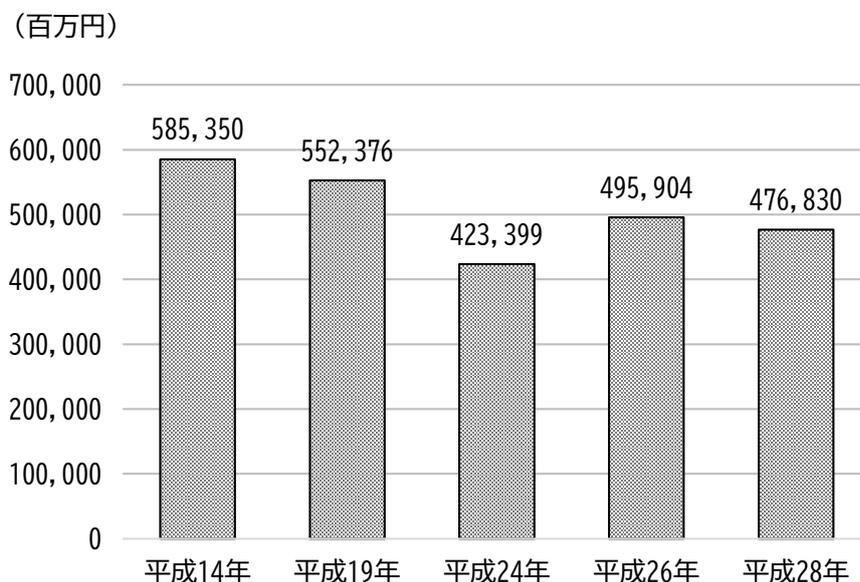
下段：対前期増加率

資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

## (7) 卸売販売額

- ・平成 14(2002)年から平成 24(2012)年まで減少が続き、平成 26(2014)年には増加に転じたが、平成 28(2016)年は減少している。

図表 1-29 卸売販売額の推移



資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

図表 1-30 構成市町村別 卸売販売額の推移

(百万円)

市町村	年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		556,763	524,095 (-5.9%)	403,847 (-22.9%)	475,276 (17.7%)	451,875 (-4.9%)	94.8%
三戸町		9,097	6,955 (-23.5%)	3,073 (-55.8%)	3,108 (1.1%)	3,529 (13.5%)	0.7%
五戸町		1,877	2,318 (23.5%)	1,971 (-15.0%)	2,409 (22.2%)	2,465 (2.3%)	0.5%
田子町		739	1,046 (41.5%)	X -	X -	234 -	0.0%
南部町		4,321	5,551 (28.5%)	5,111 (-7.9%)	4,464 (-12.7%)	5,741 (28.6%)	1.2%
階上町		4,178	5,394 (29.1%)	2,311 (-57.2%)	2,644 (14.4%)	795 (-69.9%)	0.2%
新郷村		179	192 (7.3%)	-	-	-	-
おいらせ町		8,196	6,825 (-16.7%)	7,086 (3.8%)	8,003 (12.9%)	12,191 (52.3%)	2.6%
圏域		585,350	552,376 (-5.6%)	423,399 (-23.3%)	495,904 (17.1%)	476,830 (-3.8%)	-

※田子町（平成 24～26 年）については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

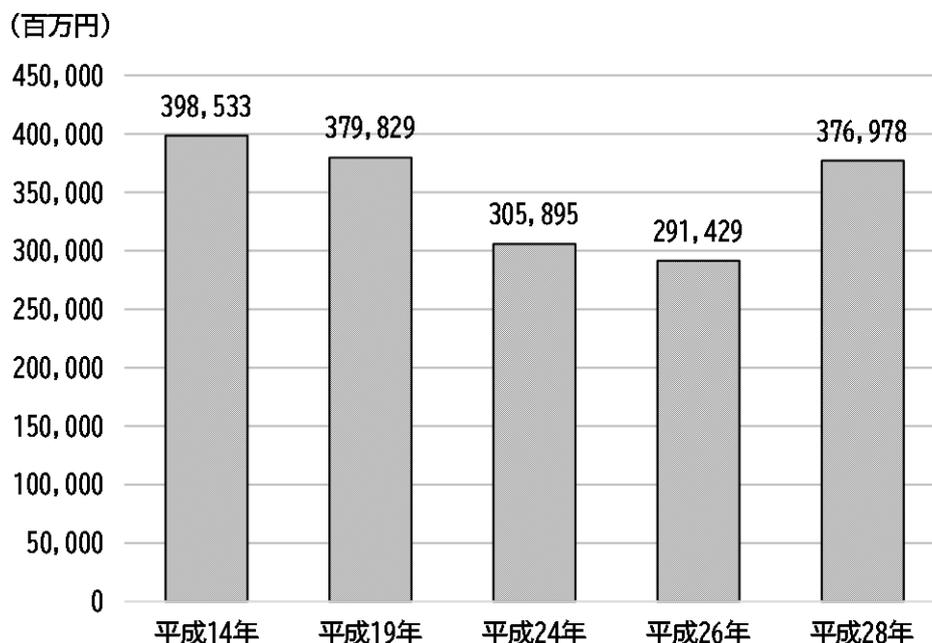
下段：対前期増加率

資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

## (8) 小売販売額

- ・平成14(2002)年以降減少傾向が続いていたが、飲食料品小売業における販売額の増加を背景として平成28(2016)年に増加に転じている。

図表 1-31 小売販売額の推移



資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

図表 1-32 構成市町村別 小売販売額の推移

市町村	年					圏域内構成比 (平成28年)
	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	
八戸市	316,265	301,325 (-4.7%)	246,633 (-18.2%)	230,709 (-6.5%)	299,093 (29.6%)	79.3%
三戸町	13,032	11,650 (-10.6%)	9,481 (-18.6%)	9,728 (2.6%)	10,146 (4.3%)	2.7%
五戸町	9,853	10,743 (9.0%)	8,573 (-20.2%)	12,178 (42.1%)	14,605 (19.9%)	3.9%
田子町	5,710	4,540 (-20.5%)	X	X	3,580	0.9%
南部町	14,052	10,245 (-27.1%)	10,072 (-1.7%)	8,883 (-11.8%)	9,322 (4.9%)	2.5%
階上町	5,533	7,320 (32.3%)	6,373 (-12.9%)	4,796 (-24.7%)	7,040 (46.8%)	1.9%
新郷村	1,125	1,492 (32.6%)	1,257 (-15.8%)	1,315 (4.6%)	1,886 (43.4%)	0.5%
おいらせ町	32,963	32,514 (-1.4%)	23,506 (-27.7%)	23,820 (1.3%)	31,306 (31.4%)	8.3%
圏域	398,533	379,829 (-4.7%)	305,895 (-19.5%)	291,429 (-4.7%)	376,978 (29.4%)	-

※田子町（平成24～26年）については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

下段：対前期増加率

資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

## (9) 大規模小売店舗数

- ・圏域内に 87 店舗が立地しており、そのうち八戸市には全体の約 8 割を占める 67 店舗が立地している。
- ・店舗面積が 10,000 m<sup>2</sup>以上の大規模小売店舗は、図表 1-34 のとおり。

図表 1-33 構成市町村別 大規模小売店舗数

市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
店舗数	67	3	3	0	2	3	0	9	87
	77.0%	3.4%	3.4%	0.0%	2.3%	3.4%	0.0%	10.3%	-

※大規模小売店舗：一の建物であって、その建物内の店舗面積が 1,000 平方メートルを超えるもの

下段：構成比率

令和 3 年 3 月 31 日現在

資料：青森県内の大規模小売店舗一覧（青森県）

図表 1-34 店舗面積が 10,000 m<sup>2</sup>以上の大規模小売店舗一覧

・ピアドゥ（店舗面積：23,222 m <sup>2</sup> ）	・さくら野百貨店（店舗面積：15,227 m <sup>2</sup> ）
・ラピア（店舗面積：22,510 m <sup>2</sup> ）	・シンフォニープラザ沼館（店舗面積：12,195 m <sup>2</sup> ）
・三春屋店（店舗面積：15,584 m <sup>2</sup> ）	・イオンモール下田（店舗面積：37,983 m <sup>2</sup> ）
・Cino（店舗面積：14,005 m <sup>2</sup> ）	

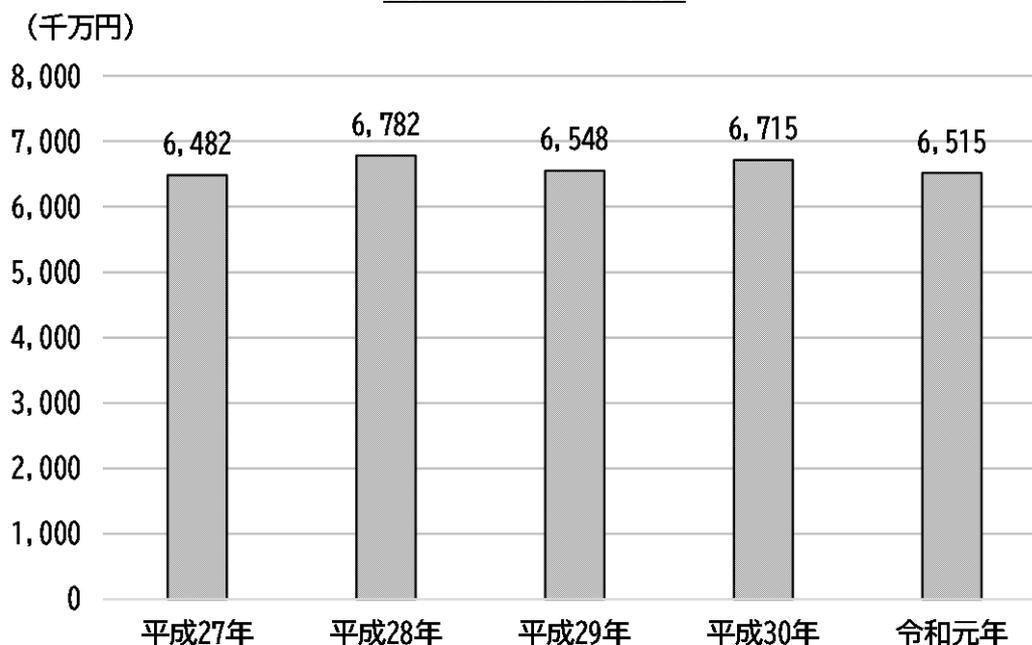
令和 3 年 3 月 31 日現在

資料：青森県内の大規模小売店舗一覧（青森県）

## (10) 農業産出額

- ・平成27(2015)年から令和元(2019)年にかけてほぼ横ばいで推移している。
- ・構成市町村別では、八戸市・三戸町・五戸町・階上町については増加傾向で推移している一方で、その他の町村は減少傾向で推移している。

図表 1-35 農業産出額



資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

図表 1-36 構成市町村別 農業産出額

(千万円)

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市	1,444	1,470 (1.8%)	1,490 (1.4%)	1,479 (-0.7%)	1,651 (11.6%)	25.3%
三戸町	623	626 (0.5%)	609 (-2.7%)	623 (2.3%)	730 (17.2%)	11.2%
五戸町	919	1,000 (8.8%)	970 (-3.0%)	1,002 (3.3%)	1,211 (20.9%)	18.6%
田子町	664	683 (2.9%)	676 (-1.0%)	690 (2.1%)	648 (-6.1%)	10.0%
南部町	1,427	1,483 (3.9%)	1,458 (-1.7%)	1,506 (3.3%)	894 (-40.6%)	13.7%
階上町	351	349 (-0.6%)	349 (0.0%)	334 (-4.3%)	536 (60.5%)	8.2%
新郷村	236	260 (10.2%)	244 (-6.2%)	254 (4.1%)	216 (-15.0%)	3.3%
おいらせ町	818	911 (11.4%)	752 (-17.5%)	827 (10.0%)	629 (-23.9%)	9.7%
圏域	6,482	6,782 (4.6%)	6,548 (-3.5%)	6,715 (2.6%)	6,515 (-3.0%)	-

下段：対前期増加率

資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

図表 1-37 構成市町村別 農業産出額（耕種・畜産）の推移

(千万円)

年 市町村	耕種			畜産		
	平成29年	平成30年	令和元年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市	481	502 (4.4%)	468 (-6.8%)	1,009	977 (-3.2%)	1,183 (21.1%)
三戸町	420	432 (2.9%)	523 (21.1%)	189	191 (1.1%)	207 (8.4%)
五戸町	690	702 (1.7%)	602 (-14.2%)	280	300 (7.1%)	609 (103.0%)
田子町	258	261 (1.2%)	222 (-14.9%)	418	429 (2.6%)	426 (-0.7%)
南部町	714	744 (4.2%)	683 (-8.2%)	744	762 (2.4%)	211 (-72.3%)
階上町	46	49 (6.5%)	41 (-16.3%)	303	285 (-5.9%)	495 (73.7%)
新郷村	194	200 (3.1%)	157 (-21.5%)	50	54 (8.0%)	59 (9.3%)
おいらせ町	544	634 (16.5%)	564 (-11.0%)	208	193 (-7.2%)	65 (-66.3%)
圏域	3,347	3,524 (5.3%)	3,260 (-7.5%)	3,201	3,191 (-0.3%)	3,255 (2.0%)

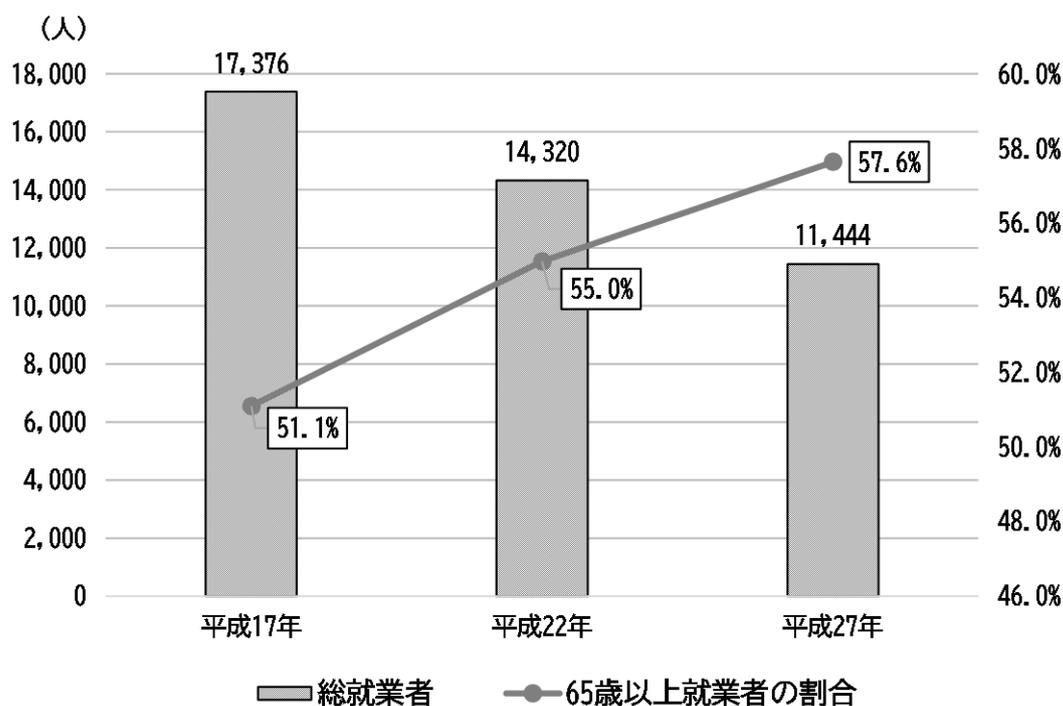
下段：対前期増加率

資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

## (11) 農業就業者数

- ・平成 17(2005)年から平成 27(2015)年にかけて、3 割以上減少している。
- ・65 歳以上の就業者割合は 51.1%から 57.6%に 6.5 ポイント増加している。
- ・構成市町村別では、全ての市町村において農業就業者数は減少傾向にあり、65 歳以上の就業者割合は増加傾向にある。

図表 1-38 農業就業者数の推移



資料：農林業センサス（農林水産省）

図表 1-39 構成市町村別 農業総就業者数と 65 歳以上の農業就業者数の推移

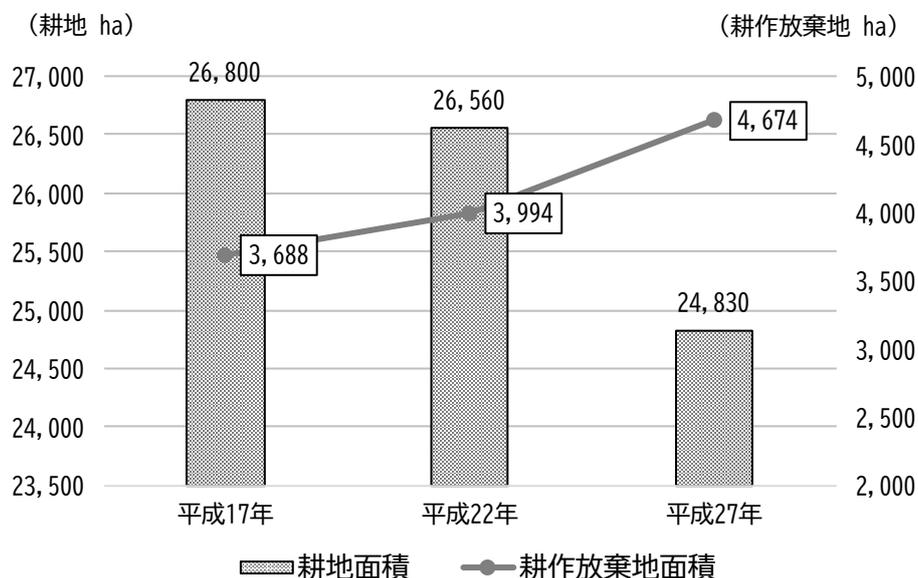
項目/年	総就業者			65歳以上就業者			65歳以上就業者の割合		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
八戸市	4,205	3,308	2,557	2,221	1,925	1,623	52.8%	58.2%	63.5%
三戸町	2,017	1,779	1,436	879	796	646	43.6%	44.7%	45.0%
五戸町	3,123	2,562	2,105	1,680	1,524	1,309	53.8%	59.5%	62.2%
田子町	1,497	1,263	1,020	781	651	563	52.2%	51.5%	55.2%
南部町	3,313	2,804	2,297	1,627	1,472	1,272	49.1%	52.5%	55.4%
階上町	494	405	319	310	271	209	62.8%	66.9%	65.5%
新郷村	1,102	938	735	569	535	426	51.6%	57.0%	58.0%
おいらせ町	1,625	1,261	975	811	698	548	49.9%	55.4%	56.2%
圏域	17,376	14,320	11,444	8,878	7,872	6,596	51.1%	55.0%	57.6%

資料：農林業センサス（農林水産省）

## (12) 耕地面積・耕作放棄地面積

- ・耕地面積は減少傾向にあり、耕作放棄地面積は増加傾向にある。

図表 1-40 耕地面積・耕作放棄地面積の推移



資料：作物統計調査（農林水産省）、農林業センサス（農林水産省）

図表 1-41 構成市町村別 耕地面積・耕作放棄地面積の推移

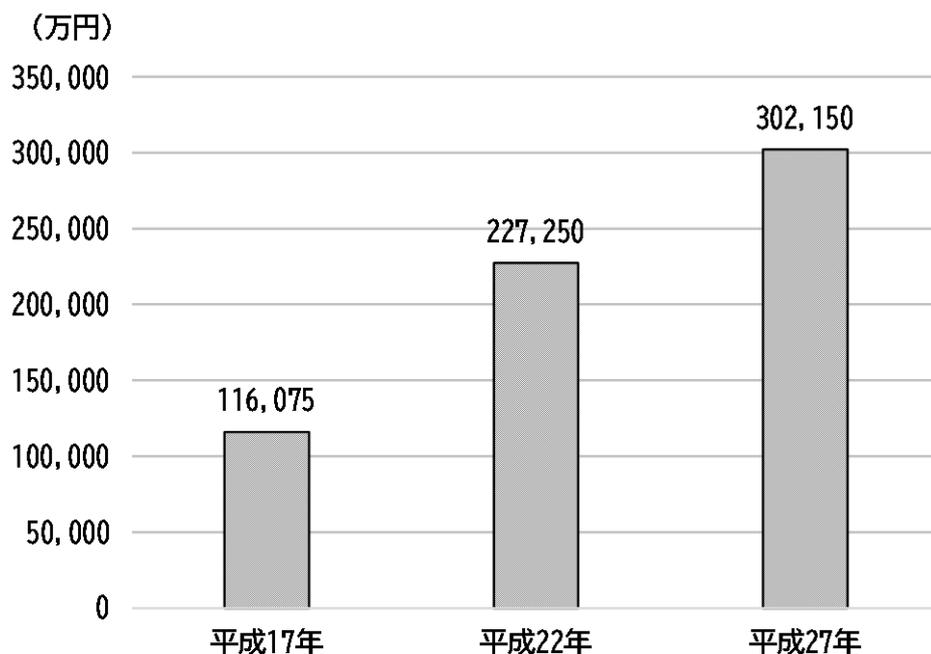
市町村		年		
		平成17年	平成22年	平成27年
八戸市	耕地面積	5,460	5,380	4,900
	耕作放棄地面積	1,199	1,305	1,465
三戸町	耕地面積	2,800	2,790	2,600
	耕作放棄地面積	176	248	211
五戸町	耕地面積	4,630	4,610	4,470
	耕作放棄地面積	562	637	826
田子町	耕地面積	2,870	2,860	2,650
	耕作放棄地面積	165	183	317
南部町	耕地面積	4,130	4,120	3,660
	耕作放棄地面積	486	567	654
階上町	耕地面積	1,380	1,370	1,320
	耕作放棄地面積	461	413	432
新郷村	耕地面積	2,060	2,050	1,900
	耕作放棄地面積	157	151	224
おいらせ町	耕地面積	3,470	3,380	3,330
	耕作放棄地面積	482	490	545
圏域	耕地面積	26,800	26,560	24,830
	耕作放棄地面積	3,688	3,994	4,674

資料：作物統計調査（農林水産省）、農林業センサス（農林水産省）

### (13) 林業総収入

- ・木材価格の上昇や国産材の需要増加などを背景として、平成17(2005)年から平成27(2015)年にかけて、約2.6倍と大きく増加している。

図表 1-42 林業総収入の推移



資料：農林業センサス（農林水産省）

図表 1-43 構成市町村別 林業総収入の推移

市町村	年			圏域内構成比 (平成27年)
	平成17年	平成22年	平成27年	
八戸市	33,025	98,250 (197.5%)	125,450 (27.7%)	41.5%
三戸町	3,800	5,025 (32.2%)	46,875 (832.8%)	15.5%
五戸町	26,050	24,400 (-6.3%)	72,275 (196.2%)	23.9%
田子町	29,200	28,600 (-2.1%)	27,875 (-2.5%)	9.2%
南部町	10,450	10,325 (-1.2%)	6,575 (-36.3%)	2.2%
階上町	8,775	56,425 (543.0%)	20,700 (-63.3%)	6.9%
新郷村	4,775	4,225 (-11.5%)	2,225 (-47.3%)	0.7%
おいらせ町	x	0 -	175 -	0.1%
圏域	116,075	227,250 (95.8%)	302,150 (33.0%)	-

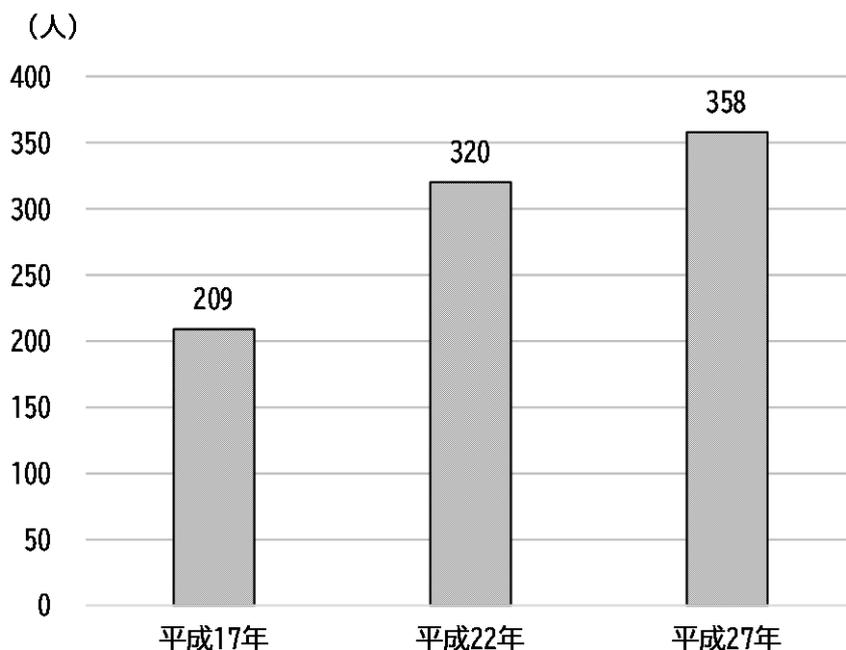
下段：対前期増加率

資料：農林業センサス（農林水産省）

## (14) 林業就業者数

- ・平成 17(2005)年から平成 27(2015)年にかけて、約 7 割増加している。

図表 1-44 林業就業者数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-45 構成市町村別 林業就業者数の推移

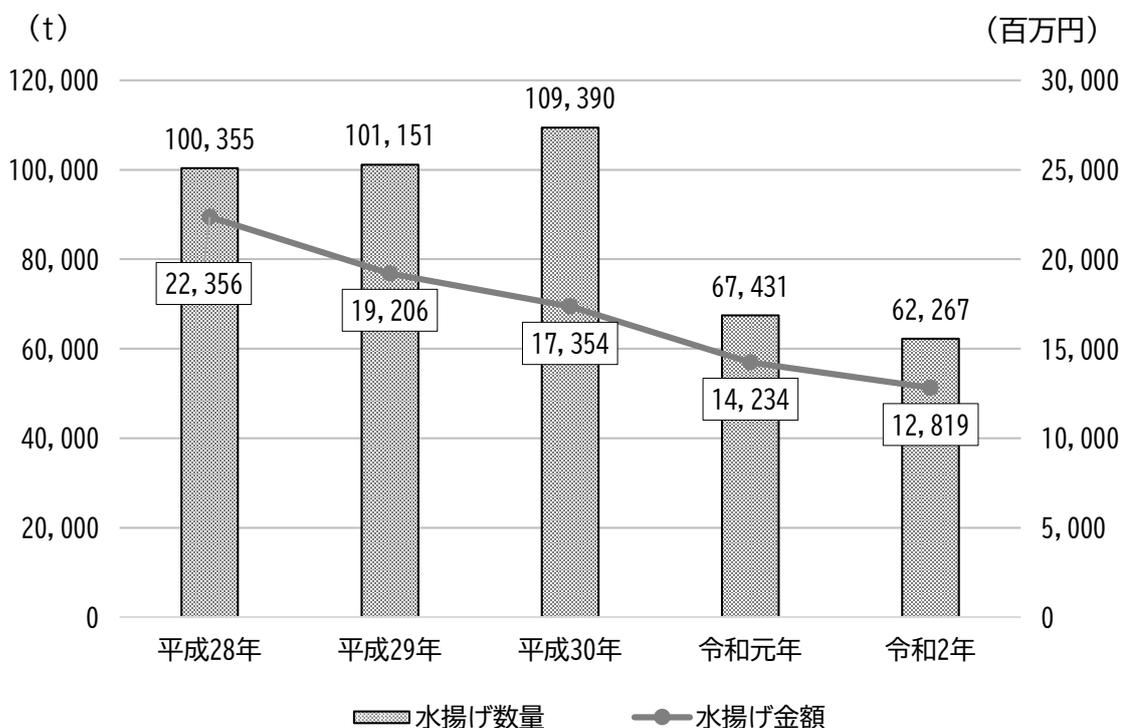
市町村	年			圏域内構成比 (平成27年)
	平成17年	平成22年	平成27年	
八戸市	22	53 (140.9%)	91 (71.7%)	25.4%
三戸町	22	36 (63.6%)	42 (16.7%)	11.7%
五戸町	30	32 (6.7%)	38 (18.8%)	10.6%
田子町	77	94 (22.1%)	88 (-6.4%)	24.6%
南部町	30	34 (13.3%)	29 (-14.7%)	8.1%
階上町	7	34 (385.7%)	25 (-26.5%)	7.0%
新郷村	20	34 (70.0%)	30 (-11.8%)	8.4%
おいらせ町	1	3 (200.0%)	15 (400.0%)	4.2%
圏域	209	320 (53.1%)	358 (11.9%)	-

下段：対前期増加率  
資料：国勢調査（総務省）

### (15) 水揚げ高

- ・水揚げ数量は平成 28(2016)年から令和 2(2020)年にかけて、約 4 割減少している。
- ・水揚げ金額は平成 28(2016)年から令和 2(2020)年にかけて、約 4 割減少している。

図表 1-46 水揚げ高の推移



資料：海面漁業に関する調査（青森県）

図表 1-47 構成市町村別 水揚げ高の推移

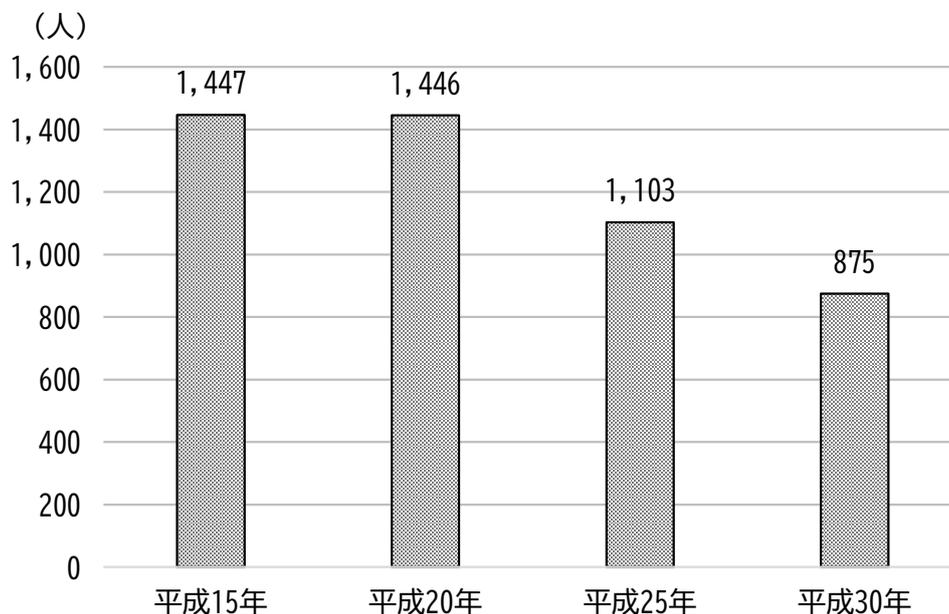
市町村	年	(t, 百万円)				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸市	数量	98,785	99,519	108,016	66,011	60,995
	金額	21,518	18,248	16,658	13,587	12,184
階上町	数量	913	933	707	799	832
	金額	504	545	404	385	445
おいらせ町	数量	657	699	667	621	440
	金額	334	413	292	262	190
圏域	数量	100,355	101,151	109,390	67,431	62,267
	金額	22,356	19,206	17,354	14,234	12,819

資料：海面漁業に関する調査（青森県）

## (16) 漁業就業者数

- ・平成 15(2003)年から平成 30(2018)年にかけて、約 4 割減少している。

図表 1-48 漁業就業者数の推移



資料：漁業センサス（農林水産省）

図表 1-49 構成市町村別 漁業就業者数の推移

市町村	年				圏域内構成比 (平成30年)
	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年	
八戸市	1,104	1,214 (10.0%)	977 (-19.5%)	767 (-21.5%)	87.7%
階上町	244	111 (-54.5%)	85 (-23.4%)	66 (-22.4%)	7.5%
おいらせ町	99	121 (22.2%)	41 (-66.1%)	42 (2.4%)	4.8%
圏域	1,447	1,446 (-0.1%)	1,103 (-23.7%)	875 (-20.7%)	-

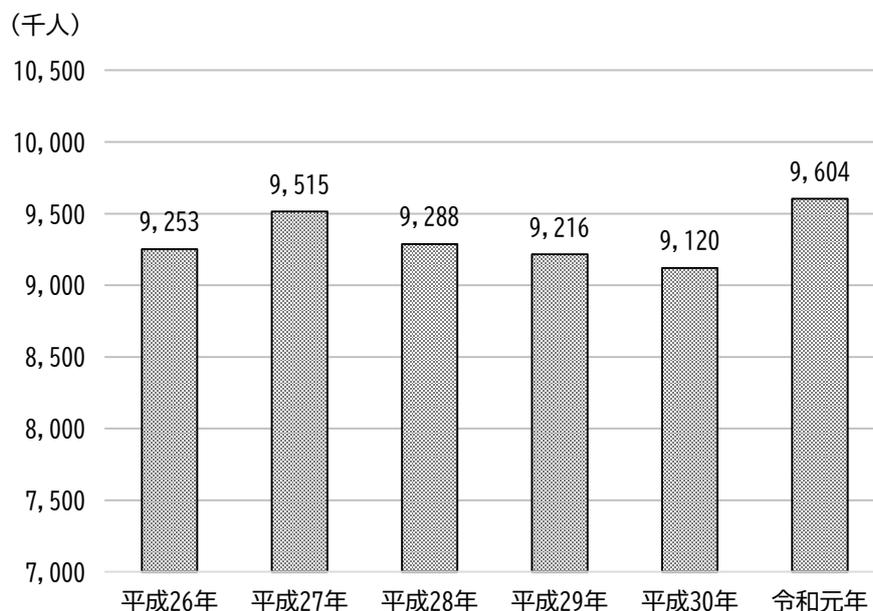
下段：対前期増加率

資料：漁業センサス（農林水産省）

## (17) 観光入込客数

- ・平成26(2014)年から令和元(2019)年にかけてほぼ横ばいで推移している。
- ・構成市町村別では、三戸町や階上町は増加傾向で推移している一方で、その他の市町村においてはほぼ横ばいで推移している。

図表 1-50 観光入込客数の推移



資料：観光入込客統計（青森県）

図表 1-51 構成市町村別 観光入込客数の推移

市町村	年						圏域内構成比 (令和元年)
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
八戸市	6,876	6,986 (1.6%)	6,681 (-4.4%)	6,648 (-0.5%)	6,394 (-3.8%)	6,632 (3.7%)	69.0%
三戸町	300	346 (15.6%)	364 (5.1%)	369 (1.5%)	303 (-18.0%)	547 (80.8%)	5.7%
五戸町	148	131 (-10.9%)	121 (-7.9%)	142 (17.4%)	138 (-2.7%)	149 (7.5%)	1.5%
田子町	34	48 (41.3%)	48 (-1.5%)	48 (0.8%)	45 (-7.1%)	44 (-0.9%)	0.5%
南部町	682	735 (7.8%)	738 (0.3%)	742 (0.5%)	725 (-2.3%)	696 (-3.9%)	7.2%
階上町	385	445 (15.4%)	524 (17.7%)	493 (-5.9%)	713 (44.8%)	748 (4.9%)	7.8%
新郷村	152	153 (0.4%)	145 (-4.8%)	139 (-4.4%)	139 (-0.2%)	159 (14.9%)	1.7%
おいらせ町	676	671 (-0.7%)	667 (-0.6%)	635 (-4.8%)	663 (4.3%)	629 (-5.0%)	6.6%
圏域	9,253	9,515 (2.8%)	9,288 (-2.4%)	9,216 (-0.8%)	9,120 (-1.0%)	9,604 (5.3%)	-

下段：対前期増加率

資料：観光入込客統計（青森県）

## 6 都市機能・生活機能の状況

### (1) 病院・診療所の状況

- ・病院は圏域内に 27 施設あり、八戸市に全体の約 8 割を占める 21 施設があるほか、南部町・おいらせ町には各 2 施設、三戸町・五戸町には各 1 施設となっている。また、診療所についても八戸市に 141 施設が集中している。
- ・自治体病院は圏域の中核医療機関となる八戸市立市民病院があるほか、三戸町・五戸町・南部町・おいらせ町にも立地している。自治体診療所は八戸市・五戸町・田子町・新郷村に立地している。

図表 1-52 構成市町村別 病院・診療所数

施設	市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
病院数		21	1	1	0	2	0	0	2	27
診療所数		141	2	3	2	5	2	1	8	164

令和 3 年 8 月 31 日現在

資料：地域医療情報システム（日本医師会）

図表 1-53 自治体病院・診療所の概要及び指定病院の状況

施設名	病院					診療所							
	八戸市立市民病院	三戸中央病院	五戸総合病院	南部町医療センター	おいらせ病院	八戸市休日夜間急病診療所	八戸市休日歯科診療所	南郷診療所	川内診療所	倉石診療所	田子診療所	新郷診療所	
診療科名													
内科	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
精神・神経科	●												
小児科	●	●	●	●	●	●				●	●		
外科	●	●	●	●	●	●			●		●		
整形外科	●	●	●	●	●						●		
脳神経外科	●		●		●								
皮膚泌尿器科	●	●	●	●	●					●	●		
産婦人科	●	●	●										
眼科	●	●	●	●									
耳鼻いんこう科	●	●	●										
放射線科	●												
歯科・歯科口腔外科	●						●	●					
麻酔科	●												
その他	●	●		●									
指定病院等の状況													
救急告示病院	●	●	●	●	●								
災害拠点病院	●												
臨床研修病院	●												
地域医療支援病院	●												
がん診療連携拠点病院													
特定機能病院													
感染症指定医療機関	●												
病院群輪番制病院	●												
八き地医療拠点病院		●											

資料：令和元年度市町村立病院経営便覧（青森県）、各市町村 HP

## (2) 自治体病院医師充足率の状況

- ・圏域の中核医療機関である八戸市立市民病院で 65.8%、最も高いおいらせ病院では 71.4%、最も低い五戸総合病院では 52.9%となっている。

図表 1-54 自治体病院医師充足率の状況

施設	項目	許可病床数	標榜診療科目数	医師数	医師充足率	
					医療法上	施設運営上
八戸市立市民病院		608	26	132.0	266.1%	65.8%
三戸中央病院		142	10	9.8	95.4%	70.0%
五戸総合病院		165	9	11.2	110.6%	52.9%
南部町医療センター		66	10	8.9	104.2%	57.1%
おいらせ病院		78	6	6.3	106.1%	71.4%

令和2年3月31日現在（但し、医師充足率：令和2年5月1日現在）  
資料：令和元年度市町村立病院経営便覧（青森県）、各市町村HP

## (3) 福祉施設の状況

図表 1-55 構成市町村別 福祉施設の数

施設	市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
		児童福祉	保育所	83	3	5	1	4	4	1
	児童館	15	2	0	0	0	0	0	2	19
障害者福祉	障害者支援施設	7	0	2	0	1	0	0	1	11
	地域活動支援センター	3	1	0	0	0	0	0	0	4
高齢者福祉	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特別養護老人ホーム	14	1	4	1	3	1	0	3	27
	軽費老人ホーム（ケアハウス）	5	0	0	0	0	0	0	1	6
	地域包括支援センター	13	1	1	1	1	1	1	1	20
	生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	老人福祉センター	2	1	0	1	3	1	3	1	12
	老人憩の家	6	0	0	0	0	0	0	0	6

令和3年4月1日現在  
資料：健康福祉関係施設名簿（青森県）、八戸市資料

#### (4) 文化・スポーツ施設の状況

- ・文化施設は八戸市に 18 施設が立地しているほか、おいらせ町に 10 施設、階上町に 7 施設など各町村に立地している。
- ・スポーツ施設は八戸市に 40 施設が立地しているほか、南部町に 16 施設、五戸町に 13 施設など各町村に立地している。

図表 1-56 構成市町村別 文化・スポーツ施設の数

市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
文化施設数	18	6	5	2	5	7	3	10	56
スポーツ施設数	40	10	13	9	16	5	6	10	109

令和 3 年 8 月 31 日現在  
資料：各市町村 HP

#### (5) NPO 法人の状況

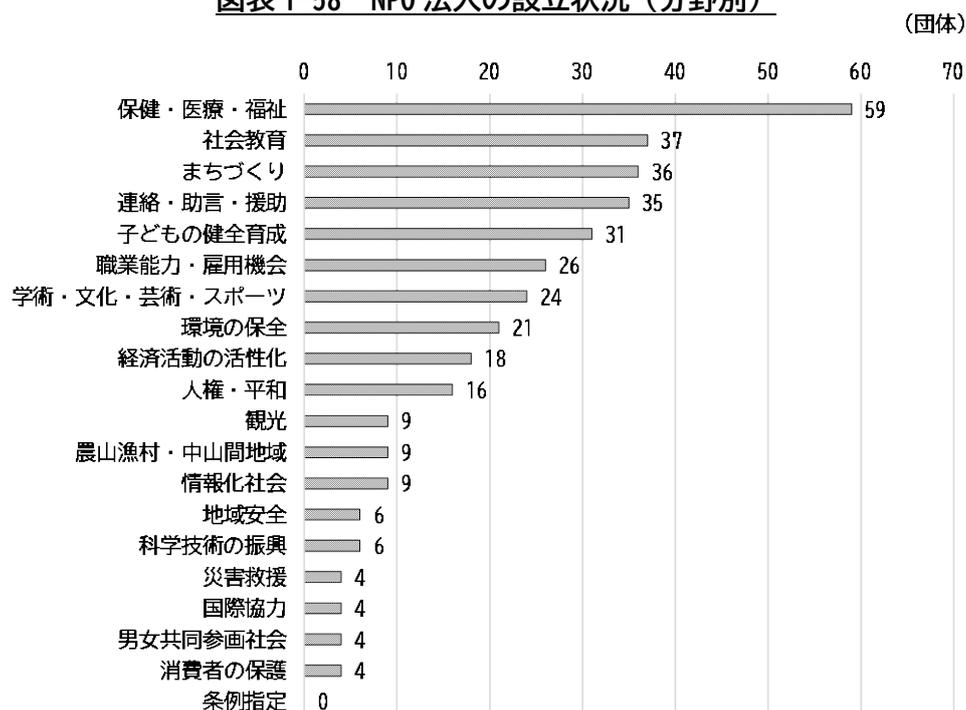
- ・圏域全体で 89 団体が設立されており、八戸市において全体の約 7 割を占める 65 団体が設立されている。
- ・分野別の設立状況を見ると、保健・医療・福祉が最も多く 59 団体、社会教育が 37 団体、まちづくりが 36 団体となっている。

図表 1-57 構成市町村別 NPO 法人の数

市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
NPO 法人数	65	3	0	3	5	6	0	7	89

令和 3 年 8 月 31 日現在  
資料：NPO 法人ポータルサイト（内閣府）

図表 1-58 NPO 法人の設立状況（分野別）



※複数の分野で活動する団体もあるため、図表 1-57 の法人数の合計と一致しない

令和 3 年 8 月 31 日現在  
資料：NPO 法人ポータルサイト（内閣府）

## (6) 小学校・中学校の状況

図表 1-59 構成市町村別 小・中学校数と児童・生徒数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
小学校数	42	3	4	3	8	6	2	5	73
児童数(人)	10,791	382	632	177	663	522	82	1,396	14,645
中学校数	26	2	3	1	4	2	2	3	43
生徒数(人)	5,758	213	331	106	383	278	29	689	7,787

資料：令和2年度学校一覧（青森県）

## (7) 高等学校の状況

図表 1-60 構成市町村別 高等学校数と生徒数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
学校数	14	1	1	1	1	0	0	1	19
生徒数(人)	7,412	116	97	20	249	0	0	383	8,277

資料：令和2年度学校一覧（青森県）

## (8) 専修学校の状況

- ・圏域全体で9校あり、東北メディカル学院（五戸町）を除いて八戸市に立地している。

図表 1-61 構成市町村別 専修学校数と生徒数

(人)

分類	名称	学部・学科名	生徒数
専修学校	市立 八戸市立高等看護学院	看護	58
	私立 八戸社会福祉専門学校	介護福祉	9
	私立 八戸保健医療専門学校	歯科衛生士	71
		スポーツ柔整	56
	私立 八戸ドレメ専門学校	—	休校
	私立 八戸調理師専門学校	調理科	休校
	私立 専門学校アレック 情報ビジネス学院	医療事務・ドクターズクラーク	15
		公務員	55
		工業専門課程・建築	6
		ITエンジニア・事務ビジネス・ニューメディア研究	52
	私立 八戸理容美容専門学校	理容	10
		美容	81
私立 八戸看護専門学校	看護	139	
私立 東北メディカル学院	理学療法・作業療法	212	
合計			764

資料：令和2年度学校一覧（青森県）

(9) 大学・短期大学・高等専門学校の状況

・圏域全体で4校あり、全て八戸市に立地している。

図表 1-62 大学、短期大学、高等専門学校と学生数

(人)

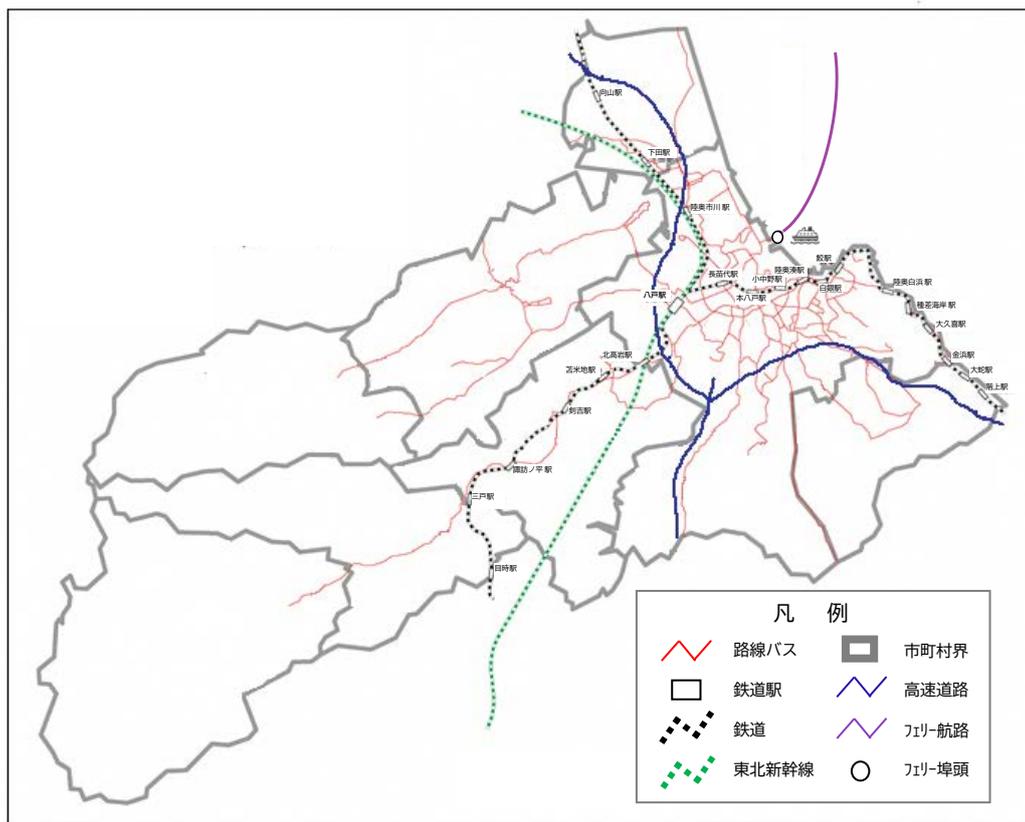
分類	名称	学部・学科名	学生数			
大学	私立 八戸工業大学	工学部	機械工学科	194	1,208	
			電気電子工学科	122		
			システム情報工学科	333		
			生命環境工学科	103		
			土木建築工学科	274		
		感性デザイン学部	創生デザイン学科	160		
		大学院	工学研究科 (博士前期課程)	機械・生物化学工学専攻		3
				電気電子・情報工学専攻		6
				社会基盤工学専攻		8
		大学院	工学研究科 (博士後期課程)	機械・生物化学工学専攻		2
	電気電子・情報工学専攻			0		
	社会基盤工学専攻			3		
	私立 八戸学院大学	ビジネス学部	ビジネス学科	75	942	
地域経営学部		地域経営学科	236			
健康医療学部		人間健康学科	377			
		看護学科	254			
短期大学	私立 八戸学院大学 短期大学部	—	幼児保育学科	169	205	
			介護福祉学科	36		
高等専門学校	国立 八戸工業高等専門学校	—	産業システム工学科	835	878	
		専攻科	産業システム工学専攻科	43		
合計				3,233		

資料：各校 HP、令和2年度学校一覧（青森県）

## (10) 圏域内の公共交通網

- ・ 高速道路のインターチェンジは 10 か所設置されており、八戸市に 6 か所、階上町・おいらせ町に各 2 か所設置されている。
- ・ 鉄道は東北新幹線（八戸駅）、JR 八戸線、青い森鉄道線がある。
- ・ 運行する路線バスは、八戸市営バス、南部バス、十和田観光電鉄バスがある。
- ・ 八戸港フェリーターミナルを発着する旅客フェリーが運航されている。

図表 1-63 公共交通網



## (11) インターチェンジ

図表 1-64 インターチェンジ

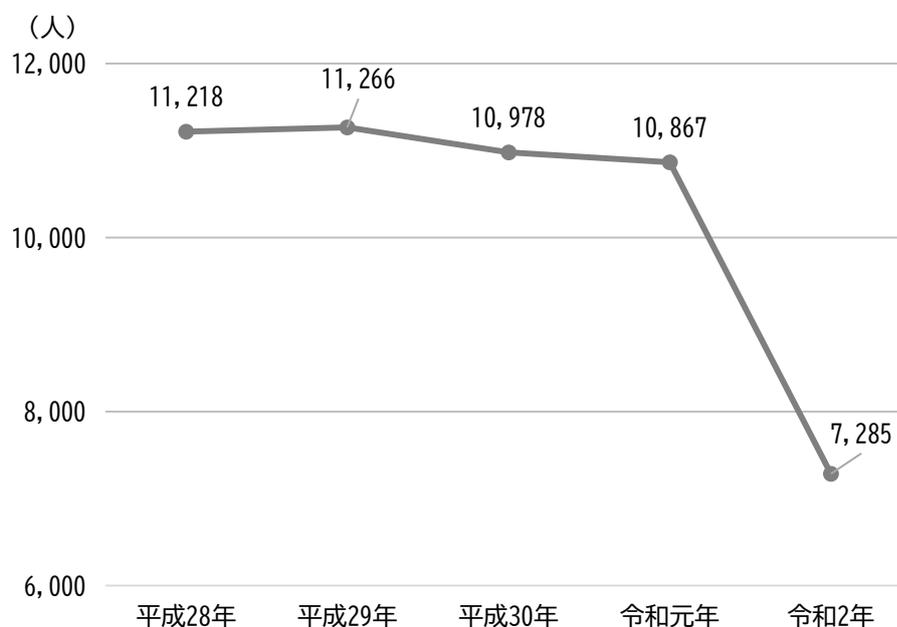
所在地	名称	道路
八戸市	八戸北IC	八戸自動車道
	八戸IC	
	南郷IC	
	八戸西スマートIC	
	八戸是川IC	
階上町	八戸南IC	八戸久慈自動車道
	種差海岸階上岳IC	
おいらせ町	階上IC	第二みちのく有料道路
	三沢十和田下田IC	
	下田百石IC	百石道路

資料：東日本高速道路株式会社 HP

## (12) 鉄道

- ・鉄道の1日平均乗降人員は、平成28(2016)年から令和元(2019)年にかけて緩やかな減少傾向で推移していたが、令和元(2019)年から令和2(2020)年にかけては新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、約3割減少している。

図表 1-65 鉄道の1日平均乗降人員の推移



資料：東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

図表 1-66 事業者別 鉄道の1日平均乗降人員の推移

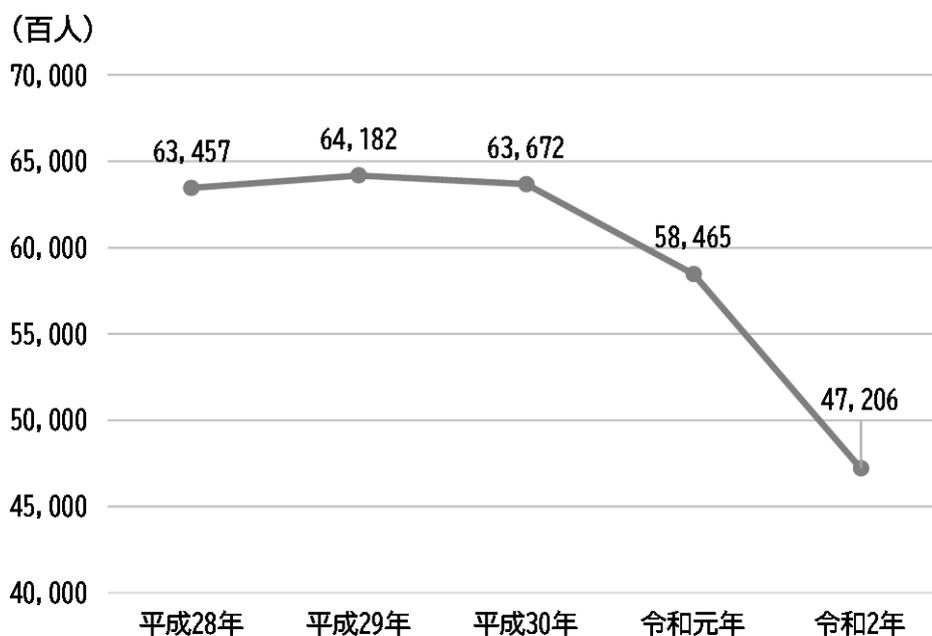
運航会社/駅		年				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
東日本旅客 鉄道株式会社	八戸(新幹線)	3,394	3,478	3,481	3,400	1,695
	八戸(八戸線)	1,061	1,027	1,007	1,120	1,030
	本八戸	1,163	1,171	1,156	1,154	843
	陸奥湊	143	136	133	126	-
	鮫	326	311	287	282	220
	合計	6,087	6,123	6,064	6,082	3,788
青い森鉄道株式会社	向山	44	54	66	67	46
	下田	569	569	482	405	341
	陸奥市川	380	366	367	376	333
	八戸	2,846	2,925	2,892	2,831	1,844
	北高岩	40	44	43	32	24
	苫米地	184	141	99	101	97
	剣吉	484	466	424	412	320
	諏訪ノ平	79	53	63	71	50
	三戸	468	497	455	457	364
	目時	37	28	23	33	78
合計	5,131	5,143	4,914	4,785	3,497	
合計	11,218	11,266	10,978	10,867	7,285	

※令和2年から陸奥湊駅は無人駅になったためデータなし  
資料：東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

### (13) 路線バス

- ・路線バスの輸送人員は、平成28(2016)年から平成30(2018)年にかけて横ばいで推移していたが、令和元(2019)年に大幅に減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2(2020)年にかけて約2割減少している。

図表 1-67 路線バスの輸送人員の推移



資料：八戸市、岩手県北自動車株式会社、十和田観光電鉄株式会社

図表 1-68 事業者別 路線バスの輸送人員の推移

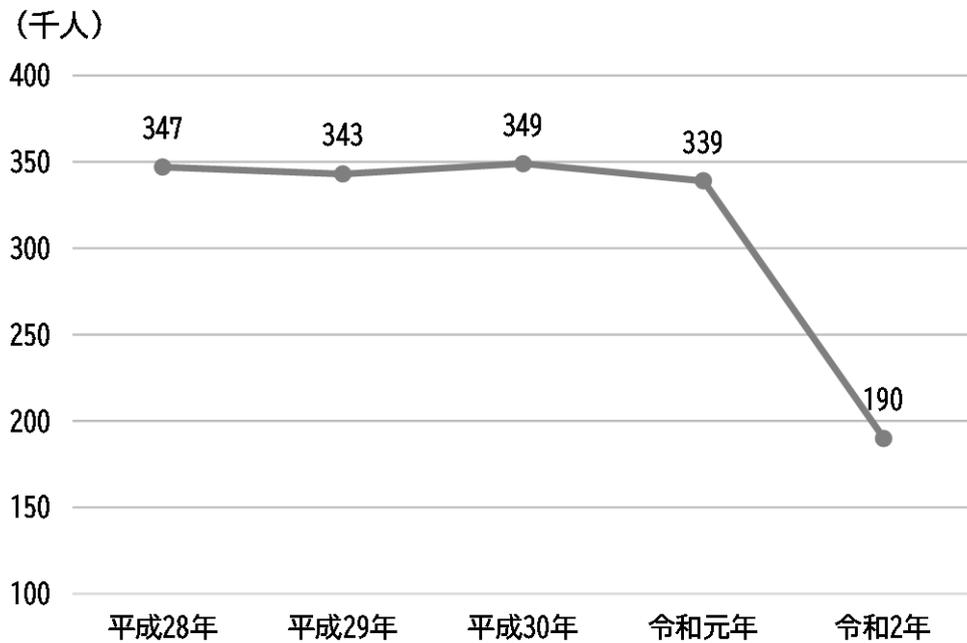
運行会社	年				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸市交通部	41,802	41,586	41,203	38,694	31,428
岩手県北自動車株式会社南部支社	19,300	20,204	20,015	17,404	13,745
十和田観光電鉄株式会社	2,355	2,392	2,454	2,366	2,033
合計	63,457	64,182	63,672	58,465	47,206

資料：八戸市、岩手県北自動車株式会社、十和田観光電鉄株式会社

## (14) フェリー

- ・旅客数は、平成28(2016)年から令和元(2019)年にかけて横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2(2020)年にかけて約4割減少している。

図表 1-69 フェリーの旅客数の推移



資料：川崎近海汽船株式会社

図表 1-70 フェリーの運航区間及び旅客数の推移

年 運航区間	(千人)				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸～苦小牧	347	343	349	339	173
八戸～室蘭	-	-	-	-	17
合計	347	343	349	339	190

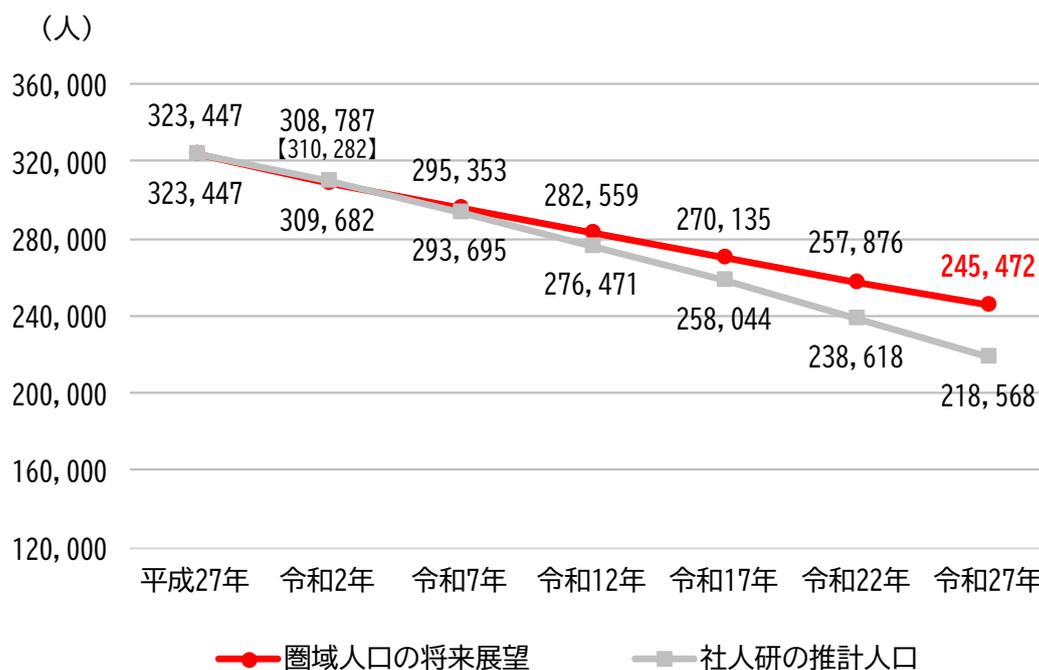
資料：川崎近海汽船株式会社

## 第2章 圏域の中長期的将来像

### 1 人口の将来展望

- ・ 8市町村の人口ビジョンにおける将来展望人口を合算した圏域人口の将来展望は、令和27（2045）年に245,472人となり、国立社会保障・人口問題研究所が平成30（2018）年に推計した218,568人を約2.7万人上回る見込みとなっています。

図表 2-1 人口の将来展望



※【 】内の数値は令和2年国勢調査の圏域人口

資料：各市町村の人口ビジョン  
日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)  
(国立社会保障・人口問題研究所)

図表 2-2 構成市町村別 人口の将来展望

市町村	年						
	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
八戸市	231,257	221,401	212,684	204,208	195,945	187,862	179,606
三戸町	10,135	9,114	8,201	7,416	6,733	6,135	5,627
五戸町	17,433	16,345	15,348	14,455	13,595	12,745	11,924
田子町	5,554	5,172	4,795	4,440	4,128	3,848	3,589
南部町	18,312	16,850	15,402	14,117	12,958	11,861	10,864
階上町	14,025	13,506	12,935	12,388	11,878	11,379	10,824
新郷村	2,509	2,268	2,029	1,810	1,607	1,414	1,222
おいらせ町	24,222	24,131	23,959	23,725	23,291	22,632	21,816
圏域	323,447	308,787	295,353	282,559	270,135	257,876	245,472

資料：各市町村の人口ビジョン

## 2 目指す将来像

八戸圏域連携中枢都市圏では、人口減少や高齢化の進行が本格化する中であっても、将来にわたって一定の圏域人口を有し、活力ある経済圏・生活圏を維持・形成していくため、平成29（2017）年3月に連携中枢都市圏ビジョンを策定し、8市町村が連携して「経済成長のけん引」や「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」の3つの役割に関する取組を着実に進めてきました。

「経済成長のけん引」については、圏域が有する豊かな自然や食、伝統文化といった多彩な地域資源を活用した戦略的な観光施策や地場産品の国内外への販路拡大に取り組むとともに、商工業や水産業、農業などの多種多様な産業の集積と陸海空の交通・物流の拠点性といった八戸市の強みを活かした地域産業の高度化・活性化や新規産業の創出に向けた取組を着実に進め、圏域経済の活性化を図ってきました。

また、「高次都市機能の集積・強化」や「生活関連機能サービスの向上」については、首都圏等からの移住や人材還流の促進、文化芸術活動やスポーツ活動における中心拠点の整備、路線バス上限運賃化をはじめとした広域的な公共交通網の構築、ドクターカーの運行や総合的な医療・健康対策の拠点の整備による必要な医療を速やかに受けるための救急医療体制の強化や地域医療体制の充実を図ることで、当圏域への新しい人の流れをつくるとともに、住民が将来に夢や希望を持ちながら安全安心な暮らしを送ることができる圏域形成を進めてきました。

そのような中、連携中枢都市圏を形成した平成29（2017）年から令和元（2019）年にかけて圏域全体の製造品出荷額等が増加傾向で推移するとともに、圏域人口の社会動態についても令和元（2019）年から増加傾向に転じるなど、これまでの取組の成果が着実に現れている一方で、大学生などの若者の首都圏等への流出による圏域人口の減少や農業・漁業就業者の担い手不足、公共インフラの老朽化といった多様な課題への対応が求められています。

さらに、当圏域を取り巻く社会経済情勢についても、人口減少や高齢化の急速な進行、自然災害の激甚化・多発化、今般の新型コロナウイルス感染症流行を契機とした行政や地域社会におけるデジタル化の進展、グリーン社会の実現に向けた取組の加速など大きく変容しています。

このような状況の中で、今後も当圏域が一定の圏域人口を有し、魅力あふれる圏域として持続的に発展していくためには、他の地域には無い、圏域固有の地域資源が有する個性を磨きながら、これまで緊密な連携のもとで進めてきた3つの役割に基づく取組の深化を図るとともに、デジタル化やグリーン社会の実現への対応など新たに顕在化した地域課題に圏域市町村が丸となって主体的に取り組み、圏域の未来を自ら切り拓いていくことが重要です。

このようなことから、当圏域が目指す将来像を次のとおりとし、その実現に向けて8市町村が一体となって具体的取組を推進します。

<八戸圏域の目指す将来像>

**地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域**

### 3 取組の方向性

将来像の実現に向けた今後5年間における取組の方向性を、3つの役割ごとに次のとおり示します。

#### ① 圏域全体の経済成長のけん引

- ・企業の地方移転や製造の国内回帰の流れを捉え、圏域全体での企業誘致の促進を図ります。
- ・地方への移住・定住の流れを捉え、デジタル人材などの多様な人材が活躍し、誰もが安心して働き続けられる環境整備を図ります。
- ・ICT技術を活用したスマート農林水産業の普及促進等により生産性向上を図るとともに、農業水産物・加工品など地域ブランドの維持・強化による販路拡大を図ります。
- ・八戸圏域版DMOの「一般財団法人VISITはちのへ」との連携強化を図り、国内外からの観光誘客を促進するとともに、「エコツーリズム」や「グリーン・ツーリズム」などを推進し、持続可能な広域観光を展開します。

#### ② 高次の都市機能の集積・強化

- ・八戸市総合保健センターや八戸市美術館など高度な都市機能を有する中心拠点について、圏域での更なる利用促進を図ります。
- ・交通系ICカードやバスロケーションシステムの普及促進など、地域公共交通のデジタル化を推進するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。
- ・幅広い学術分野を持つ圏域の高等教育機関との連携強化により、地域課題の解決や地域の担い手となる人材育成を図ります。

#### ③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・子育て世代が地域とのつながりを感じながら、安心して子育てができる環境整備を図ります。
- ・高齢者が安心して生き生きと暮らしていけるよう健康寿命の延伸や生きがいづくりに向けた取組を推進します。
- ・児童・生徒に対して、様々な学びや体験の機会を提供し、地域への愛着と誇りを醸成させ、将来的な地域の担い手育成を図ります。
- ・豊かな自然環境を守るため、衛生的な生活環境の保全、グリーン社会・循環型社会の構築を図ります。
- ・首都圏における交流拠点を活用し、圏域への更なる移住促進を図ります。
- ・多様化する住民ニーズへの対応や公共サービスの維持・充実を図るため、専門人材の共同活用を図ります。

# 第3章 将来像の実現に向けた具体的取組

## 1 施策体系

将来像	役割	連携施策	
地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域	1. 圏域全体の経済成長のけん引	① 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備	
		② 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
		③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	販路拡大
			雇用
			農業
			林業
			漁業
	④ 戦略的な観光施策の展開		
	2. 高次の都市機能の集積・強化	⑤ 高度な医療サービスの提供	
		⑥ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	
		⑦ 高等教育機関等と連携した地域の人材育成	
	3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野	⑧ 医療体制の充実
			⑨ 子育て支援の充実
			⑩ 高齢者福祉の充実
			⑪ 障がい者福祉の充実
			⑫ 中小企業従事者の福祉向上
			⑬ 消費者支援の充実
			⑭ 社会教育の充実
			⑮ 学校教育の充実
			⑯ 高等学校の地域活動促進
		(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	⑰ スポーツ活動の機会の充実
⑱ 不法投棄の防止			
⑲ 安全・安心なまちづくりの推進			
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		⑳ 地域内外の住民との交流・移住促進	
		㉑ 圏域内市町村職員の育成	
	㉒ 女性の活躍促進		
		㉓ NPO等の活動促進	

具体的取組（連携事業）

1. 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業	2. 地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業
3. IT 関連企業立地促進補助金交付事業	7. 革新的なものづくり企業連携促進事業
4. 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	8. 地域企業支援体制強化事業
5. イノベティブ産業集積促進事業	9. はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業
6. 産学官共同研究開発支援事業	
10. 地場産品販路拡大支援事業	13. 海外販路拡大事業
11. 八戸都市圏交流プラザ運営事業	14. 知的財産権対策支援事業
12. ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ事業	
15. 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	17. 企業誘致セミナー事業
16. 地域事業所人材獲得支援事業	
18. 農業生産技術向上支援事業	21. 南郷そば振興センター運営事業
19. 新規就農促進事業	22. 畜産業及び畜産関連産業振興事業
20. 農作業マッチング促進事業	
23. 漆産業振興事業	
24. 漁業就業支援事業	
25. 八戸広域観光推進事業	26. グリーン・ツーリズム推進事業
27. 八戸市総合保健センター運営事業	
28. 八戸圏域地域公共交通計画推進事業	31. ブックセンター運営事業
29. 美術館運営事業	32. 屋内スケート場運営事業
30. 八戸ポータルミュージアム運営事業	33. 多賀多目的運動場運営事業
34. 学生まちづくり参画促進事業	
35. 医師派遣事業	38. 不妊専門相談事業
36. ドクターカー運行事業	39. AED 普及促進事業
37. 妊婦健康管理支援事業	
40. 一時預かり保育事業	43. 子育てサロン運営事業
41. ファミリーサポートセンター事業	44. 地域子育て支援拠点事業
42. 子育てつどいの広場事業	45. 児童虐待防止対策事業
46. 高齢者福祉に関する理解促進事業	49. 成年後見制度利用促進事業
47. あんしんカード事業	50. 医療・介護連携マップ管理運営事業
48. 救急医療情報キット配付事業	51. 介護予防センター利用促進事業
52. 障がい者福祉に関する理解促進事業	53. 障害支援区分判定審査の共同実施事業
54. 勤労者福祉促進事業	
55. 消費生活支援事業	
56. 生涯学習推進事業	58. 八戸圏域文化財魅力発信事業
57. 図書館相互利用事業	
59. 広域的体験学習支援事業	60. こども支援センター連携推進事業
61. 高校生地域づくり実践プロジェクト	
62. 氷都八戸パワーアッププロジェクト	64. スポーツ大使派遣事業
63. スキー場活用促進事業	65. 子どものスポーツ機会促進事業
66. 不法投棄防止事業	
67. 安全・安心情報発信事業	69. 空き家対策推進事業
68. 福祉避難所相互利用事業	70. 国土強靱化地域計画推進事業
71. 移住・交流促進事業	73. 八戸圏域活性化支援事業
(11)八戸都市圏交流プラザ運営事業【再掲】	74. 住民活動保険事業
72. 縁結び支援事業	75. 公共交通による交流促進事業
76. 圏域市町村職員育成事業	
77. 女性活躍促進事業	
78. 八戸圏域住民活動促進事業	

## 2 具体的取組

### 1. 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	現状値	目標値
製造品出荷額等	6,638 億円 (R1 年)	6,840 億円 (R8 年)
農業産出額	651 億円 (R1 年)	680 億円 (R8 年)
観光入込客数	960 万 5 千人 (R1 年)	970 万人 (R8 年)

#### ① 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

事業名	1 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 運営事業	関係市町村	全市町村			
内容	・圏域の産学金官民の有識者等により構成される連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、ビジョンの進捗管理等に関する意見聴取を行う。					
効果	・圏域の産学金官民の有識者等からの幅広い意見を踏まえた連携事業の推進が図られる。					
成果指標	指標	現状値	目標値			
	連携事業の成果指標 達成率【累計】	—	80% (R8 年度)			
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2,860	2,860	2,860	2,860	2,860	14,300
役割分担	八戸市：懇談会の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：懇談会の構成員を推薦し、ビジョン懇談会に出席する。					

#### ○「事業費見込額」の凡例

「→」：現時点で事業費を想定することが困難なもの

「-」：現時点で事業費が想定されていないもの

(※) 事業費見込額は、今後の事業進捗等に応じて変更となる場合があります。

事業名	2	地域未来投資促進法に基づく基本計画 推進事業		関係市町村	全市町村	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する八戸圏域の特性を活かした先進的な計画が、青森県・国から地域経済牽引事業と承認・確認された場合、当該計画に基づく設備投資に係る固定資産税等の課税免除措置を講じる。</li> <li>・地域の行政機関、産業支援機関、大学、金融機関、商工団体等が相互に連携、補完し、地域経済牽引事業の効果が最大限引き出されるよう支援する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり・食料品製造産業の集積、多様な観光資源や特産物、交通インフラの地域の特性を活用して地域経済を牽引する事業を支援することにより、八戸圏域における経済の好循環が創出される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	地域経済牽引事業計画 の承認件数【累計】		4件 (R2年度)		9件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	<p>八戸市：圏域内事業者に支援情報を提供し、進捗状況を把握する。また、基本計画の推進に向けた会議等を開催する。</p> <p>連携町村：八戸市主催の会議等に参加するとともに、圏域内事業者に対する情報提供を連携して行う。</p>					

② 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

事業名	3	IT 関連企業立地促進補助金交付事業		関係市町村	全市町村	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市の誘致企業である IT 関連企業に対し、八戸市 IT 関連企業立地促進補助金及び雇用奨励金を交付する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT 関連企業の新規立地及び事業拡大並びに圏域全体の雇用創出が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	IT 関連企業の従業員数		1,423人 (R2年度)		1,489人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
役割分担	<p>八戸市：補助金及び奨励金の交付に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>連携町村：八戸市からの照会に応じ、対象者の住民登録の有無を確認する。</p>					

事業名	4	企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業			関係市町村	全市町村
内容	・製造業等の立地促進・雇用拡大に向けた支援を行うため、八戸市企業立地促進条例に基づく各種奨励金（立地奨励金、操業奨励金、設備投資奨励金、雇用奨励金）を交付する。					
効果	・企業の新規立地及び事業拡大並びに圏域全体の雇用創出が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	誘致企業の従業員数 (IT関連企業を除く)		4,199人 (R2年度)		4,295人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,500,000
役割分担	八戸市：各種奨励金の交付に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：八戸市からの照会に応じ、対象者の住民登録の有無を確認する。					

事業名	5	イノベーティブ産業集積促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・地元企業の成長ものづくり分野への新規参入や関連企業の圏域への立地促進に向けた補助金を交付する。(拠点開設、認証取得、展示会出展、試作開発) ・新規参入にあたって必要な認証取得に関する勉強会や市場動向についての勉強会、川下企業を招聘してのマッチング事業を開催する。					
効果	・圏域内企業の成長ものづくり分野への参入と受注拡大が期待される。 ・圏域内への成長ものづくり関連企業の新規立地が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	成長ものづくり分野 参入企業数【累計】		17社 (R2年度)		25社 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585	22,925
役割分担	八戸市：補助金交付に係る事務全般及び勉強会の開催事務を行う。 連携町村：町村内の企業発掘を行う。 関係市町村：勉強会の企画立案や事業者への制度周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	6	産学官共同研究開発支援事業				関係市町村	全市町村
内容	・圏域内の企業が高等教育機関や公設研究機関と連携して行う共同研究開発に対し、補助金を交付する。						
効果	・圏域内の企業が高等教育機関や公設研究機関と連携して行う新技術・新製品開発を支援することで、技術の円滑な取得や生産性の向上、売上の増加が図られる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	支援事業の採択企業数 【累計】		10社 (R3年度)		20社 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	17,000	
役割分担	八戸市：補助金交付に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域の企業に対する補助制度の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	7	革新的ものづくり企業連携促進事業				関係市町村	全市町村
内容	・地域企業の競争的資金の獲得や革新的な取組に係る事例を周知する「企業交流サロン」等を開催する。						
効果	・競争的資金を活用した革新的な取組等の増加により、地域企業の経営基盤の強化が図られるとともに、地域産業の高度化が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	企業交流サロンの 参加者数		19人 (R2年度)		30人 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	252	252	252	252	252	1,260	
役割分担	八戸市：企業交流サロンの開催事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域の企業に対し、企業交流サロン等の周知を連携して行う。						

事業名	8	地域企業支援体制強化事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問して、販路開拓や新商品開発等の経営課題を発掘し、助言等を行うとともに、活用できる支援施策の提案、情報提供を行う。</li> <li>・地域企業への支援機能の強化に向け、八戸圏域産学官金連携会議を開催する。</li> <li>・新商品・新サービス開発に資する国の施策説明会等を開催する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の製造業が抱えている課題の解決につながる。</li> <li>・八戸圏域産学官金連携会議の開催を通じて、地域企業の支援ニーズや活用すべき支援施策情報等が共有され、より効果的な支援につながる。</li> <li>・国の施策説明会等の開催を通じて、支援施策の活用促進が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	企業訪問件数		90件 (R2年度)		90件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	5,617	5,617	5,617	5,617	5,617	28,085
役割分担	<p>八戸市：産学官金連携会議や施策説明会等の開催など当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>連携町村：圏域の事業者に支援情報等を提供するとともに、コーディネーターに派遣を希望する事業者の情報を提供する。また、八戸圏域産学官金連携会議や施策説明会等に参加する。</p>					

事業名	9	はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援拠点である「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」において、各商工会と連携した創業及び事業承継に関する相談対応を行うとともに、サロン事業（セミナー、交流事業等）の実施や創業に関する情報発信を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者の増加及び円滑な事業承継による雇用の場の維持・創出及び地域活力の向上が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	起業件数【累計】		155件 (R2年度)		380件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	19,066	19,066	19,066	19,066	19,066	95,330
役割分担	<p>八戸市：創業支援拠点の設置・運営（八戸商工会議所への委託）を行うとともに、事業実施に係る費用を負担する。</p> <p>連携町村：圏域住民への制度周知とともに、各商工会との連絡調整を行う。</p>					

### ③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名	10	地場産品販路拡大支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・首都圏や県内外での物産展や商談会の開催など、八戸圏域版DMOである一般財団法人VISITはちのへが実施する地場産品の販路拡大事業を支援する。					
効果	・圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大や販売促進につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	商談成立件数 【累計】		101件 (R2年度)		110件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	3,140	3,140	3,140	3,140	3,140	15,700
役割分担	八戸市：事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域事業者への物産展や商談会の開催等の情報提供や参加調整等について、VISITはちのへと連携して実施する。					

事業名	11	八戸都市圏交流プラザ運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・首都圏交流拠点である八戸都市圏交流プラザ「8base」において、圏域の食材を活用したメニューの提供や物産販売を展開するとともに、圏域のファンづくりのための交流事業を実施する。					
効果	・首都圏での圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大につながる。 ・継続的に地域を応援してくれる関係人口の形成・増加が図られ、圏域への移住・定住につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	来店者数		198,240人 (R2年度)		357,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	47,376	47,376	47,376	47,376	47,376	236,880
役割分担	八戸市：店舗運営や関連事業の実施に係る事務全般を行う。 関係市町村：八戸都市圏交流プラザ運営協議会に参画するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	12	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ事業				関係市町村	全市町村
内容	・圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域が一体となった総合的なフェスティバルを開催する。						
効果	・当圏域の持つ様々な地域資源の魅力を発信することで、販路拡大や地域の活性化につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	入場者数 (2日間の計)		1,025人 (R2年度)		10,000人 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	33,000	
役割分担	八戸市：運営委託などイベント開催に係る事務全般を行う。 関係市町村：広報紙等を通じて当イベントの周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	13	海外販路拡大事業				関係市町村	全市町村
内容	・海外における物産展、展示会への出展、プロモーション及び商談会を開催し、圏域内企業の海外市場での取引拡大を通じて、地域経済の活性化を図る。 ・海外販路拡大に取り組む企業や海外での物産展等を企画、主催する事業者に対し、海外販路拡大支援補助金を交付し、圏域内企業の海外進出を支援する。						
効果	・圏域内企業等の海外販路拡大とそれに伴う地域経済活性化が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	取引成立(拡大)企業数 【累計】		18社 (R2年度)		28社 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	33,552	33,552	33,552	33,552	33,552	167,760	
役割分担	八戸市：海外における物産展、展示会への出展企画、プロモーション及び商談会を開催するとともに、補助金交付に係る事務全般を行う。 連携町村：圏域企業に対して物産展、展示会への出展等への参加案内とそのとりまとめを行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	14	知的財産権対策支援事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の中小企業者が自社の優れた技術や高付加価値の製品等を生かし、市場での競争力を維持できるよう、知的財産権に関する普及啓発活動や相談対応を行うとともに、国内特許等取得に要する経費の一部を支援する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許等の取得により、優れた技術等の外部流出を防ぐとともに、信頼性の向上により圏域内の中小企業者の競争力の強化が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	知的財産権に関する相談件数		108件 (R2年度)		110件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	4,536	4,536	4,536	4,536	4,536	22,680
役割分担	<p>八戸市：補助金交付等の事務全般を行う。</p> <p>関係市町村：圏域内の企業への補助制度の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	15	求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の求人・求職情報を集約し発信するウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」により、圏域の事業所と住民の効果的・効率的なマッチングを図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の事業所の人材の確保と求職者の早期就職の促進により、若年者等の県外流出の減少が期待される。</li> <li>・通勤可能な関係市町村において、多種多様な求人情報を発信することで、市町村単独では改善が困難な職種によるミスマッチの解消が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	新規求人登録件数 【累計】		660件 (R2年度)		1,200件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	592	513	513	513	513	2,644
役割分担	<p>八戸市：ウェブサイトの管理・運用に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>関係市町村：広報紙等でのウェブサイトの周知を連携して行う。</p>					

事業名	16	地域事業所人材獲得支援事業				関係市町村	全市町村
内容	・圏域内の事業所に対し、情報発信力の強化や採用力の向上を支援するセミナーの開催や人材確保に係る個別相談等を行う。						
効果	・圏域内の事業所の人材不足解消や UIJ ターン就職の促進、若年者の人材流出の抑制が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	セミナー及び個別相談を受けて参考になったと回答した企業の割合		—		80%以上 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	4,112	4,112	4,112	4,112	4,112	20,560	
役割分担	八 戸 市：セミナー開催や個別相談に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域の事業者への事業参加の呼びかけや周知を連携して行う。						

事業名	17	企業誘致セミナー事業				関係市町村	全市町村
内容	・八戸市が実施している首都圏や中部圏でのトップセールスにおいて、圏域の立地環境やインセンティブ等の総合的な PR を行う。						
効果	・圏域への新規企業立地が促進され、雇用創出や地域経済の活性化につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	参加者数		487 人 (R1 年度)		490 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	7,355	7,355	7,355	7,355	7,355	36,775	
役割分担	八 戸 市：講師、会場選定をはじめとしたセミナー運営全般を行う。 連 携 町 村：参加企業の選定のほか、PR 媒体や資料作成、セミナー運営の支援を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	18	農業生産技術向上支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域内の農業者を対象とした「八戸市農業講座」を開催する等、生産技術の向上を図る。					
効果	・生産技術に関する情報提供により、圏域の農業者の経営安定化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	農業講座受講者数		358人 (R1年度)		450人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	217	217	217	217	217	1,085
役割分担	八戸市：農業講座等の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への講座開講等の周知を連携して行う。					

事業名	19	新規就農促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・各市町村における新規就農者向けの支援制度の情報を一元化し、ホームページ等で発信することにより、新規就農の促進を図る。					
効果	・支援情報を一元化して発信することで、新規就農希望者の利便性の向上につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	認定新規就農者数 【累計】		100経営体 (R2年度)		160経営体 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八戸市：各市町村の情報をまとめたホームページの作成等を行う。 連携町村：八戸市に支援情報の提供を行う。 関係市町村：圏域住民への情報発信を連携して行う。					

事業名	20	農作業マッチング促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・農作業の支援を希望する農業者と農作業サポーターとのマッチング制度の周知等により、農作業マッチングの促進を図る。					
効果	・農作業マッチングの促進により、農業労働力の確保や雇用創出につながる。 ・農作業の体験を通じて、農業に対する関心や理解が深まる。					
成果指標	指標		現状値（調査年度）		目標値（達成年度）	
	農作業マッチング件数		16件 (R2年度)		20件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域住民等へのマッチング制度の周知を連携して行う。					

事業名	21	南郷そば振興センター運営事業			関係市町村	八戸市 階上町
内容	・そばの乾燥・選別処理施設である「南郷そば振興センター」を共同で利用する。					
効果	・施設の共同利用により、八戸市及び階上町のそば生産の振興が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	そば作付面積		157 ha (R2年)		157 ha (R8年)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	11,062	10,688	10,688	10,688	10,688	53,814
役割分担	八戸市：南郷そば振興センターの管理・運営を行う。 関係市町村：そば生産者への周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	22	畜産業及び畜産関連産業振興事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、畜産振興に向け各種事業を実施する。					
効果	・圏域特性である夏季冷涼な気候、交通インフラ、飼料供給基地の飼料コンビナートの立地等を活かした各種事業の実施により、地域経済の活性化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼養頭羽数		乳牛：1,170頭 肉牛：13,044頭 豚：114,676頭 採卵鶏：4,138,400羽 肉用鶏：4,760,957羽 (R2年)		乳牛：1,104頭 肉牛：14,430頭 豚：122,000頭 採卵鶏：4,722,000羽 肉用鶏：5,520,000羽 (R8年)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	13,380
役割分担	八戸市：八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの進行管理を行う。 関係市町村：ビジョンに掲げる各種事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	23	漆産業振興事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市と情報を共有し、ウルシの植栽を促進する。 ・ウルシを植栽する際の苗木の購入費用を助成する。					
効果	・圏域全体でのウルシの植栽や情報管理により、地域林業の多角化が期待される。 ・伝統文化の保存や技術の継承のほか、圏域内の森林の多面的な利用や農山村地域の振興が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ウルシ苗木の植栽本数 【累計】		6,973本 (R3年度)		14,473本 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	660	330	330	330	330	1,980
役割分担	八戸市：圏域内のウルシ林の情報の管理を行うとともに、補助金交付に係る事務全般を行う。 連携町村：町村内のウルシ林の状況を把握し、その情報の管理・提供を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	24	漁業就業支援事業			関係市町村	八戸市、三戸町、南部町、階上町、おいらせ町
内容	・漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得等に係る情報発信を行い、漁業就業者の減少や後継者不足の解消を図る。					
効果	・圏域内の漁業就業に係る情報の集約・発信により、技能習得や資格取得が促進され、漁業現場で求められる人材の確保と就業希望者の早期就業が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	漁業就業に係る相談件数		3件 (R2年度)		10件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：圏域内の漁業就業や資格取得等に関する情報を連携して発信するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

#### ④ 戦略的な観光施策の展開

事業名	25	八戸広域観光推進事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸圏域版DMOである一般財団法人VISITはちのへと連携して、広域観光推進事業を実施する。					
効果	・圏域の認知度向上と観光入込客数の増加が期待できる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	VISITはちのへ ホームページPV数		1,366,147 PV (R2年度)		2,000,000 PV (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	55,678	55,678	55,678	55,678	55,678	278,390
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行う。 関係市町村：（一財）VISITはちのへの関連事業の実施を支援するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	26	グリーン・ツーリズム推進事業			関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民泊における受入農家の維持・確保や育成等の課題に対する取組を検討する。</li> <li>・果物狩り等の各種体験メニューの充実を図り、首都圏での情報発信を含め、PRを推進する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の増加による地域経済への波及効果が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	教育旅行等の受入校数		8校 (R1年度)		11校 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	5,150
役割分担	<p>関係市町：農業観光 PR、農業観光資源の開発、情報収集、教育旅行の受入等の事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。 三八地方農業観光振興協議会の会長が属する市町が事務局を担う。</p>					

## 2. 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	現状値	目標値
広域バス路線数	14 路線 (R3 年)	14 路線 (R8 年)
八戸市中心市街地の 歩行者通行量	48,217 人 (R2 年)	75,600 人 (R8 年)

### ⑤ 高度な医療サービスの提供

事業名	27	八戸市総合保健センター運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・総合的な医療・健康対策の充実を図るため、関連する機能を集約した拠点施設である八戸市総合保健センターを運営し、圏域住民の利用に供する。					
効果	・総合的な医療・健康対策の推進により、効率的に圏域内の住民一人ひとりが生涯を通じて心身ともに健康で、生きがいのある生活を送ることが期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	医療・健康に関する 施設利用の申請件数		123 件 (R2 年度)		155 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	140,436	140,436	140,436	140,436	140,436	702,180
役割分担	八戸市：当センターを運営するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

⑥ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

事業名	28	八戸圏域地域公共交通計画推進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域路線バス上限運賃政策を実施する。</li> <li>・低床バス車両の導入促進、鉄道やバスの乗継環境の改善を図る。</li> <li>・バスロケーションシステムや IC カードの普及・利用促進等、デジタル化の推進を図る。</li> <li>・「送迎に頼らず通学できる」「安心して通院できる」移動手段確保のため、公共交通出前教室の実施等により、通学・通院時の利便性・安全性の向上を図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に欠くことのできない地域公共交通の維持に向けた取組により、圏域住民の生活の質の向上が図られ、「住み続けられる圏域づくり」の実現につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	広域バス路線数		14 路線 (R3 年度)		14 路線 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	14,260	14,260	5,000	5,000	5,000	43,520
役割分担	関係市町村：交通事業者等と連携し、当計画の推進に必要な事業を実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	29	美術館運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種展覧会を開催するとともに、美術館や学校での鑑賞プログラムや学校へのアーティスト派遣を行う小中高連携プロジェクト等を実施する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館を活用した各種取組により、アートの学びの機会の創出と圏域の活性化が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	来館者数		—		90,000 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	275,000
役割分担	<p>八 戸 市：展覧会や各種イベントの企画等、当事業に関する事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>連 携 町 村：小中高連携プロジェクトを学校に周知し、当プロジェクトに参加する。</p> <p>関係市町村：圏域住民等への展覧会や各種イベント等の周知を連携して行う。</p>					

事業名	30	八戸ポータルミュージアム運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸ポータルミュージアム「はっち」において、アートイベントや文化芸術活動など各種事業を展開し、文化芸術振興及び地域の活性化、賑わいの創出を図る。					
効果	・アート関係のイベントや圏域住民が参加する文化芸術活動を通じ、圏域全体の文化芸術振興が図られるとともに、圏域内の交流促進や新たな活動の創造が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	圏域住民等主催の文化芸術活動率		28% (R2年度)		28% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	31,639	31,639	31,639	31,639	31,639	158,195
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民へのイベント情報等の周知を連携して行う。					

事業名	31	ブックセンター運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、企画事業等を実施する。					
効果	・圏域内の関係機関と連携した企画事業等の実施により、新たな本との出会いや本に親しむ機会、圏域内住民の交流の機会を創出する。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	来館者数		69,055人 (R2年度)		90,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	81,854	81,854	81,854	81,854	81,854	409,270
役割分担	八戸市：当センターの運営を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：八戸市を会場とするイベントを実施する際には、ブックセンター（読書会ルーム）の活用を検討する。 関係市町村：圏域内の関係機関に対し、当センターの企画事業の周知を連携して行う。					

事業名	32	屋内スケート場運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市長根屋内スケート場において、スケートリンクの競技者利用、一般開放による圏域住民利用を促進するとともに、国際大会や国内外からの強化合宿、各種コンベンション等の誘致に取り組むなど、施設の多目的な利用を促進し、圏域の活性化を図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域のスピードスケートの競技人口の底辺拡大と競技力向上が期待される。</li> <li>・各種イベントの開催などによる圏域の活性化が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	利用者数		131,001人 (R2年度)		145,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	4,323	4,323	4,323	4,323	4,323	21,615
役割分担	八戸市：当スケート場を運営するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

事業名	33	多賀多目的運動場運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化や地域スポーツの振興を図るため、サッカーJ3のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を運営し、圏域住民の利用に供する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会やスポーツイベントなどの開催により、地域の一体感や活力の創出が図られるとともに、交流人口の拡大による圏域経済の活性化が期待される。</li> <li>・地域スポーツとトップスポーツとの好循環による競技力向上やスポーツに親しむ圏域住民の増加により、健康保持が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	当運動場を本拠地とする スポーツチームの観客者数		12,683人 (R2年度)		31,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	59,523	59,523	59,523	59,523	59,523	297,615
役割分担	八戸市：多賀多目的運動場を運営し、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

⑦ 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

事業名	34	学生まちづくり参画促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業や活動の企画に対し、学生まちづくり助成金を交付する。</li> <li>・市民活動団体や住民組織が取り組む活動を通じて、学生が行うまちづくり活動に対し、まちづくりインターン助成金を交付する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の解決を目的としたまちづくり活動や学生の社会参加の第一歩となるボランティア活動等の取組を支援することで、地域課題に対する当事者意識の醸成が図られ、将来の圏域を担う人材の育成やまちづくり活動への参加促進につながる。</li> <li>・何らかの形で活動に関わりを持つ学生と地域住民のまちづくり活動への参加意欲の向上につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	学生まちづくり助成金 交付件数【累計】		53件 (R3年度)		78件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	1,468	1,468	1,468	1,468	1,468	7,340
役割分担	<p>八戸市：助成金交付に係る事務全般を行うとともに、必要に応じて学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。また、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>連携町村：圏域住民への事業周知等の進捗管理への協力や、必要に応じて学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。</p>					

### 3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.38 (H30～R2年平均)	1.38以上 (R8年)
転入者人口比率	2.89% (R2年)	2.89%以上 (R8年)
転出者人口比率	3.19% (R2年)	3.19%以下 (R8年)
年少者人口比率	11.09% (R2年)	11.09%以上 (R8年)

#### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

##### ⑧ 医療体制の充実

事業名	35	医師派遣事業	関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、おいらせ町		
内容	・三戸中央病院、五戸総合病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院を対象に医師充足数の実態に応じて、八戸市立市民病院から医師を派遣する。					
効果	・病症の程度や回復の度合いに応じて、身近に適切な医療サービスを受けられる環境を整備するとともに、八戸市立市民病院への過度な依存の軽減により、中核病院としての市民病院の医療機能が維持され、圏域における高度な医療サービスの提供体制の強化につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	派遣医師数		312人 (R2年度)		320人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	33,021	37,500	37,500	37,500	37,500	183,021
役割分担	八戸市：医師の招へいに努めるとともに、協議の上、医師を派遣する。 連携町村：医師の派遣に要する費用を負担する。					

事業名	36	ドクターカー運行事業			関係市町村	全市町村
内容	・救命処置等の必要な救急患者が発生した現場に、八戸市立市民病院の医師等が出動して医療行為を行うことで、地域住民の救命率向上を図ることを目的に、圏域内においてドクターカーを運行する。					
効果	・ドクターヘリとドクターカーの併用により、救急医療における地域格差が緩和されるとともに、圏域の救急患者の救命率及び社会復帰率の向上につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ドクターカー要請時の 応需率		100% (R2年度)		100% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	85,000
役割分担	八戸市：ドクターカーの車両や現場携行機材の整備・補充等の維持管理を行うとともに、救急医療に効果的な高度医療機器等の装置・設備を整備する。 また、圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	37	妊婦健康管理支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・子育て世代包括支援センターの理念に基づき、圏域における周産期における母子保健事業等の各種情報をまとめ、ホームページ等により情報発信を行う。					
効果	・周産期に関する各種情報の周知により、虐待予防や妊産婦の孤立解消につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	早期妊娠届出割合		95.3% (R2年度)		96.0% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八戸市：圏域の各種情報をまとめたホームページを作成する。 連携町村：ホームページの各自の情報を更新する。 関係市町村：圏域住民への情報発信を連携して行う。					

事業名	38	不妊専門相談事業			関係市町村	全市町村
内容	・不妊専門相談センターにおいて、不妊や不育症に悩む夫婦等の相談に専門医が応じる。					
効果	・不妊や不育症に悩む夫婦等が身近な場所で専門的な相談支援を受けられることにより、子どもを生き育てる環境の形成につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	相談件数		7件 (R2年度)		24件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	642	642	642	642	642	3,210
役割分担	<p>八戸市：不妊専門相談センターを運営するとともに、事務局として、医師会との連携による医師の確保等を行う。</p> <p>連携町村：必要に応じて八戸市と連携し、相談者に対する支援を行う。</p> <p>関係市町村：圏域住民への当事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	39	AED普及促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域住民を対象としたAED(自動体外式除細動器)の講習会を開催する。</li> <li>・各市町村においてAEDの設置を促進するとともに、圏域内での営利を目的としないイベント等に対して、必要に応じてAEDの相互貸し出しを行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知、講習会の参加等を通じて、圏域内でのAEDの普及啓発が図られる。</li> <li>・圏域内でのAEDの相互貸し出しにより、イベント等が重なる時期でも必要台数が確保され、突然の心停止に陥ったときの救命活動に備えることができる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	AED講習会の参加者数		78人 (R1年度)		80人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	200	200	200	200	200	1,000
役割分担	<p>八戸市：AED講習会に係る事務全般を行う。</p> <p>関係市町村：圏域住民への講習会の開催情報を連携して周知するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

⑨ 子育て支援の充実

事業名	40	一時預かり保育事業			関係市町村	全市町村
内容	・認定こども園や保育所等において、家庭での保育が困難となった児童を一時的に預けられる場を提供するとともに、居住地を問わず必要とする人が利用できる制度として、圏域で連携して周知を行う。					
効果	・当事業の実施によって保護者の育児に対する心理的・身体的負担の軽減が図られ、子どもを安心して生み育てる環境形成につながる。					
成果指標	指標		現状値（調査年度）		目標値（達成年度）	
	実施箇所数		39箇所 (R2年度)		39箇所 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	65,935	65,935	65,935	65,935	65,935	329,675
役割分担	関係市町村：圏域住民の利用に供し、圏域住民等への周知を連携して行う。					

事業名	41	ファミリーサポートセンター事業			関係市町村	全市町村
内容	・地域において育児援助を受けたい人（依頼会員）、行いたい人（提供会員）を組織化し、会員同士の相互援助を図る。					
効果	・子育て支援サービスの選択肢が増え、子育て支援を受ける機会の拡充につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	登録会員数		644人 (R2年度)		650人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	6,814	6,814	6,814	6,814	6,814	34,070
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。					

事業名	42	子育てつどいの広場事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援の拠点施設として、八戸ポータルミュージアム内に「子育てつどいの広場」を設置し、子育てに関する相談・援助活動や子育て関連講座等を実施することにより、圏域の子育て世代の交流を図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の行政区域の枠を超えて、子育て世代の交流の輪が広がることにより、圏域の子育て世代同士の多様な支え合いにつながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	利用者数		24,097人 (R2年度)		52,500人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	15,140	15,140	15,140	15,140	15,140	75,700
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。					

事業名	43	子育てサロン運営事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館や児童館等を拠点として、孤立した子育て環境とならないよう、小学校入学前の親子が気兼ねなく集まり、子育て相談や交流ができる場を設けることで、子育て環境の充実や地域の繋がりを深め、圏域の子育て世代の交流を促進する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内での交流の輪が広がり、また地域や世代間の繋がりが生まれることで、圏域子育て世代の多様な支え合いにつながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	実施地区数		9地区 (R2年度)		19地区 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,276	2,276	2,276	2,276	2,276	11,380
役割分担	八戸市：子育てサロンの運営に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。					

事業名	44	地域子育て支援拠点事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園や保育所等において、子育てに関する相談や援助、情報提供等を実施するとともに、小学校入学前の子どもとその保護者であれば居住地を問わず誰もが利用できる交流の場を提供する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内での子育て世代の交流や地域との繋がりが生まれることで、子どもを安心して生み育てる環境形成につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	実施箇所数		23箇所 (R2年度)		23箇所 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	54,346	54,346	54,346	54,346	54,346	271,730
役割分担	関係市町村：当事業を実施し、圏域住民等への周知を連携して行う。					

事業名	45	児童虐待防止対策事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市総合保健センターを活用し、専門職員の支援技術習得のための研修会を開催するとともに、一般セミナーの開催において、圏域住民に対する啓発を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職員等のスキルアップにより、虐待リスクのある児童や困難を抱える家庭（保護者）に対し、早期からの適切な相談対応や福祉サービスの調整を中心とした支援の実施が期待される。</li> <li>・研修を通じて専門職員等の中で顔の見える関係づくりが促進され、圏域における連携した支援体制の強化が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会等の参加団体数		42団体 (R2年度)		115団体 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	142	142	142	142	142	710
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な経費を負担する。 関係市町村：研修会やセミナーを企画・準備・開催するとともに、関係機関や住民への当事業の周知を連携して行う。					

⑩ 高齢者福祉の充実

事業名	46	高齢者福祉に関する理解促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域が直面している共通課題の解決に向けて、介護保険等に携わる関係職員を対象に、専門の医師や研究者等を招き合同研修会を開催する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内で共通の情報を得ることで、圏域全体での効果的な支援の実施につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会の出席者数		147人 (R1年度)		200人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	171	171	171	171	171	855
役割分担	<p>八戸市：研修会開催に係る事務全般を行う。          連携町村：研修会の開催事務（事前準備、当日従事等）を支援する。          関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	47	あんしんカード事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症等により自宅に戻ることができなくなる恐れがある人の情報を登録し、登録者が保護された際には、速やかに家族等に連絡する。</li> <li>・登録者に登録番号等を記載したカード等を配付する。</li> <li>・圏域内で共通の仕組みを構築するとともに、登録者数等の情報共有を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内において共通の仕組みで制度を運用することにより、圏域全体の見守り・支援体制の強化につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	新規登録者数		103人 (R2年度)		143人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	32	32	32	32	32	160
役割分担	<p>関係市町村：情報共有を図りながら台帳整備等を行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	48	救急医療情報キット配付事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係市町村の災害時要援護者（避難行動要支援者）等に対し、かかりつけ医療機関、服薬内容、持病等、緊急搬送時に必要となる情報を集約し、保管できる救急医療情報キットを配付する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内で共通の仕様とすることで、救急隊員が緊急搬送時に必要となる情報を正確に把握することができるため、かかりつけ医や搬送先医療機関との円滑な情報共有、その後の迅速な対応が可能となる。</li> <li>圏域内において、要援護者等を地域で支え合う体制の強化や地域と消防本部との連携体制の強化が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	新規配付対象者への普及率		97.9% (R2年度)		98.0% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	14	14	14	14	14	70
役割分担	<p>八戸市：事業に係る情報提供及び調整を図るとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>関係市町村：各自治体管内の配付対象者にキットを配付し、配付状況を管理する。</p>					

事業名	49	成年後見制度利用促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見センター(中核機関)を共同設置し、研修会やセミナーの開催、相談支援、市民後見人の養成等を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度利用の促進が図られ、見守り体制や後見人の支援体制が構築されることで、本人が安心して生活できるとともに、後見人が安心して活動でき、圏域全体の福祉の向上が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	成年後見セミナーの参加者数【累計】		127人 (R2年度)		1,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	19,388	15,622	15,622	19,388	15,622	85,642
役割分担	<p>八戸市：成年後見センター業務(中核機関設置)に係る事務全般を行う。</p> <p>連携町村：一次相談窓口として相談対応を行い、必要に応じて中核機関に繋げる。</p> <p>関係市町村：中核機関と連携し、圏域住民等への制度及び事業の啓発を行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	50	医療・介護連携マップ管理運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・ウェブサイト「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」により、地域の医療機関や介護事業所等の住所及び機能等、地域の医療・介護関係者間の連携に資する情報発信を行う。					
効果	・圏域の医療機関や介護事業所の職員が患者や利用者を支援する際に必要な情報収集が可能となることで、適切な支援の提供につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	医療・介護マップ PV数（月間）		11,324 PV/月 （R2年度）		13,000 PV/月 （R8年度）	
事業費見込額 （千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	385	385	385	385	385	1,925
役割分担	八戸市：ウェブサイトの管理運営に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：事業所の新設・変更・廃止等の情報を八戸市に提供する。 関係市町村：関係機関等への当事業の周知を連携して行う。					

事業名	51	介護予防センター利用促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸市の介護予防センターにおいて、介護予防及び認知症予防事業、認知症支援事業等を実施し、圏域での利用促進を図る。					
効果	・市町村単独で行うことが難しい事業を、当センターを拠点に連携して実施することで、圏域全体の介護予防や認知症予防に関する意識醸成につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	利用者数（延べ）		3,198人 （R2年度）		5,134人 （R8年度）	
事業費見込額 （千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	259	259	259	259	259	1,295
役割分担	八戸市：介護予防センターを運営するとともに、リーフレットや各種事業のチラシ等を作成する。 関係市町村：当センターと利用者に係る状況等の情報共有を図るとともに、圏域住民への事業周知を連携して行う。また、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑪ 障がい者福祉の充実

事業名	52	障がい者福祉に関する理解促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政職員を対象とした、障がい者福祉に関する研修会を合同で開催するほか、福祉に関心のある住民や福祉サービス事業に携わる関係者を対象とする研修会を開催する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村間の情報共有や障がい福祉サービス等の事務の平準化、担当職員の能力や資質の向上が図られる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会参加者数		114人 (R2年度)		180人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	473	473	473	473	473	2,365
役割分担	<p>八戸市：研修会開催に係る事務全般を行う。          連携町村：研修会の開催準備に参画する。          関係市町村：圏域住民や関係機関への研修会開催情報の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	53	障害支援区分判定審査の共同実施事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者総合支援法の規定に基づく障害支援区分判定審査を圏域で実施するとともに、審査に係る事務を八戸市で実施する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域全体での審査会に係る事務（委員委嘱、会議開催等）の効率化及び負担軽減につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	審査件数		749件 (R2年度)		800件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	19,085	19,639	19,343	19,639	19,343	97,049
役割分担	<p>八戸市：審査会に係る事務全般を行う。          連携町村：審査会に諮る案件について、八戸市に情報を提供する。          関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

⑫ 中小企業従事者の福祉向上

事業名	54	勤労者福祉促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸市勤労者福祉サービスセンターにおいて、圏域の中小企業の従業員への福利厚生事業（各種給付・助成、イベント企画等）を行う。					
効果	・福利厚生経費の負担軽減により、圏域の中小企業の経営安定化が図られる。 ・圏域中小企業の福利厚生等の充実により、早期離職者の減少が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	会員数		1,324人 (R2年度)		1,384人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	3,056	3,056	3,056	3,056	3,056	15,280
役割分担	八戸市：当センターの運営に係る事務全般を行う。 関係市町村：広報紙等により加入促進活動を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑬ 消費者支援の充実

事業名	55	消費生活支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸市消費生活センターにおいて、消費生活相談を行う。 ・消費者講座及び若年者向け出前消費者講座を開催する。					
効果	・専門相談員の対応により、住民サービスの向上が図られるとともに、広域的な情報収集が可能となることにより、消費者被害の未然防止や早期解決が図られる。 ・消費者教育・啓発事業の実施により、消費生活に関する知識の向上及び消費者被害の未然防止が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	消費者講座の参加者数		267人 (R2年度)		1,000人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	14,162	14,312	14,462	14,612	14,762	72,310
役割分担	八戸市：消費生活センターの運営に係る事務全般を行う。 連携町村：消費生活センターと連携する相談窓口を設置するとともに、消費者講座の企画及び実施に協力する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑭ 社会教育の充実

事業名	56	生涯学習推進事業				関係市町村	全市町村
内容	・各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を集約・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページ等の活用により周知を図る。						
効果	・圏域住民への学習機会の提供とともに、学習機会の選択肢の幅が広がる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	八戸市民大学講座の受講者数及び修了者数		1,331人/0人 (R3年度)		3,500人/52人 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	7,852	7,890	7,890	7,890	7,890	39,412	
役割分担	八戸市：八戸市民大学講座の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：各自で実施する講座等の情報を収集・共有する体制を検討するとともに、広報紙やホームページ等を活用して地域住民に連携して周知を行う。						

事業名	57	図書館相互利用事業				関係市町村	全市町村
内容	・圏域内の住民が、圏域内の図書館・図書室で貸出を受けることを可能にすることにより、利用者の利便性の向上と本に触れ合う機会の創出、増加を図る。						
効果	・青森県内図書館共通利用券の発行が不要になり、事務手続きが軽減されるほか、圏域住民の利便性が向上する。 ・他の自治体の図書館・図書室を気軽に利用できるようになり、新たな本との出会いの機会が増加する。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	人口100人当たりの年間貸出冊数		270冊 (R2年度)		320冊 (R8年度)		
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行う。 連携町村：当事業に関連して行われる図書館職員の研修・視察等に参加する。 関係市町村：圏域住民等への当事業の周知を連携して行う。						

事業名	58	八戸圏域文化財魅力発信事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源である圏域内の文化財の情報をホームページに集約し、文化財が有する価値や魅力の顕在化・体系化を図るとともに、圏域住民や観光客がアプローチしやすいツールやデジタルコンテンツの利活用によって文化財の情報を発信し、各文化財の実見への動機づけや誘導を図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の文化財の面的な活用を通して、文化財の価値・魅力の増大や圏域内外での認知度の向上につながる。</li> <li>・市町村間での文化財情報の共有や活用により、文化財の保存管理方法の向上や保護機運が高まる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ホームページ PV 数		—		20,000 PV (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	502	500	500	500	500	2,502
役割分担	<p>八戸市：当事業に係る事務全般を行う。情報発信を行う文化財情報を一括管理し、ホームページ等を作成する。</p> <p>連携町村：文化財の情報を八戸市に提供する。</p> <p>関係市町村：文化財の情報発信や企画検討を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

⑮ 学校教育の充実

事業名	59	広域的体験学習支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・小中学校が圏域内の公共施設を活用して行う体験学習に対して、バス借上料や施設入館料を支援する。					
効果	・体験学習の充実により、圏域内の児童生徒に豊かな人間性や、自ら学び、自ら考える力が育まれる。 ・圏域内で児童生徒に様々な体験を提供することにより、圏域内施設の周知及び有効活用につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	圏域内小学校の利用割合		73% (R2年度)		90% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	14,140	14,140	14,140	14,140	14,140	70,700
役割分担	八戸市：当事業に係る事務全般を行う。 連携町村：各町村の学校へ事業の周知を図るとともに、新規利用施設の情報提供・検討を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	60	こども支援センター連携推進事業			関係市町村	全市町村
内容	・子どもの発達・発育、不登校等に関する相談窓口である八戸市こども支援センターと各町村の教育委員会が連携し、子育てに悩む保護者等のニーズに応じた支援を行うとともに、相談対応職員の専門研修を共同で実施する。					
効果	・圏域全体で相談体制の構築を図ることにより、専門性の高い相談にも対応可能となるなど、適切な支援につながる。 ・専門研修の共同実施により、各市町村の相談対応職員の資質と能力の向上とともに教育委員会間の連携の推進や圏域の相談体制の強化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	町村職員の研修参加者 (延べ)		—		21人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	→	→	→	→	→	→
役割分担	八戸市：こども支援センターを運営し、圏域の児童生徒や保護者の相談対応を行うとともに、相談対応職員向けの研修会を開催する。 連携町村：学校や当センターと連携した教育相談への対応や当センターを利用する児童生徒への継続的なサポートを行う。また、相談対応職員向けの研修会に積極的に参加する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑩ 高等学校の地域活動促進

事業名	61	高校生地域づくり実践プロジェクト			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業や活動の企画に対し、八戸圏域地域活動促進事業助成金を交付する。</li> <li>・「高校生×地域連携交流会」等の事業により、地域と高等学校・生徒の交流促進を図る。</li> <li>・市民活動団体や住民組織が取り組む活動を通じて、高校生が行うまちづくり活動に対し、まちづくりインターン助成金を交付する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が持つ様々な地域課題の解決等に取り組むことにより、地域課題に対する当事者意識、地域への愛着や誇りの醸成につながる。</li> <li>・地域の活性化に携わる経験を通じて、地元定着の促進や大学等への進学後に、より実践的に課題解決する熱意と専門性を持った人材に成長して、地域に帰ってくることを期待される。</li> <li>・地域活性化の活動等を通じて、地域人材の育成を担う圏域内の高等学校に対する地域内外の評価向上や学校の魅力化につながる。</li> <li>・何らかの形で活動に関わりを持つ高校生と地域住民のまちづくり活動への参加意欲の向上につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	地域活動支援件数 【累計】		24件 (R3年度)		48件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	1,751	1,751	1,751	1,751	1,751	8,755
役割分担	<p>八戸市：補助金交付や交流会開催等に係る事務全般を行うとともに、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。</p> <p>連携町村：事業の周知や申請内容に対する関係課への意見照会の取次ぎのほか、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。</p> <p>関係市町村：当事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

⑰ スポーツ活動の機会の充実

事業名	62	氷都八戸パワーアッププロジェクト			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の事業の実施により、圏域のスケートの振興を図る。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幼稚園・保育所・小学校のスケート教室への指導者派遣</li> <li>2) 小学生を対象としたスケート教室の開催</li> <li>3) 中学生選手へのスケート競技用具購入に係る費用の一部補助</li> </ol> </li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートに親しむ子ども達の増加や、小中学生の競技人口の増加と競技力向上が図られ、さらには圏域のスケート場の活用促進につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	スケート教室への参加人数		143人 (R2年度)		240人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	3,322	3,322	3,322	3,322	3,322	16,610
役割分担	<p>八戸市：当事業に係る事務全般を行う。</p> <p>関係市町村：圏域住民への当該事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	63	スキー場活用促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田子町が町在住の小学生から高校生までを対象に実施している創遊村 229 スキーランドのシーズン券事前予約割引について、対象を圏域市町村在住の小中学生、高校生に拡大して実施する。</li> <li>・上記割引の実施と併せて、創遊村 229 スキーランド及び新郷村営金ヶ沢スキー場のPRを行い、両スキー場の活用促進を図る。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域のスキー場の活用促進が図られるとともに、冬季スポーツ（スキー・スノーボード）の振興につながる。</li> <li>・冬季スポーツに親しむ子ども達が増えることにより、競技人口の増加と競技力向上が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	創遊村 229 スキーランド シーズン券予約申込者数		131人 (R2年度)		190人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	<p>田子町：シーズン券事前予約割引に係る事務を行う。</p> <p>関係市町村：圏域住民に対して当該事業の周知を連携して行う。</p>					

事業名	64	スポーツ大使派遣事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使（団体に限る）を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演や体験教室（八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー）を開催する。					
効果	・八戸市スポーツ大使ふるさとセミナーを通じて、地元スポーツチームに親しむことで、郷土への愛着や誇りの醸成につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	講師派遣件数		3件 (R2年度)		13件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	115	115	115	115	115	575
役割分担	八戸市：教育機関やスポーツ大使との連絡調整など、事務全般を行う。 連携町村：教育機関へ事業周知及び要望のとりまとめを行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	65	子どものスポーツ機会促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域市町村のスポーツ団体の情報を各市町村のホームページで公開し、児童のスポーツをする機会の拡大を図る。					
効果	・市町村のスポーツ団体情報を公開することで、児童のスポーツをする機会とスポーツ種目の選択肢の拡大が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ホームページPV数		—		7,000PV (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：圏域内のスポーツ団体情報を各自ホームページに掲載するとともに、住民への当該事業の周知を連携して行う。					

⑱ 不法投棄の防止

事業名	66	不法投棄防止事業			関係市町村	全市町村
内容	・輪番制による合同パトロールを実施するほか、監視カメラやサーチライト、不法投棄防止看板の設置、広報活動の強化等の各種対策を行う。					
効果	・関係市町村が不法投棄防止のための各種対策を講じることにより、不法投棄者への抑止力となり、不法投棄の減少が期待される。 ・取組を通じた情報共有が図られ、不法投棄に係る連携体制の強化につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	合同パトロールの実施回数		1回 (R3年度)		1回以上 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：各種不法投棄対策を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑲ 安全・安心なまちづくりの推進

事業名	67	安全・安心情報発信事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域住民ニーズに合わせた災害等の情報等を安全・安心情報システムにより配信するとともに、広報活動により、加入促進活動・防災意識の啓発を行う。					
効果	・圏域全体の登録者に速やかに情報を発信することで、安全・安心な日常生活につながる。 ・圏域全体で取り組むことで、生活圈全体の安全・安心情報の入手が可能となる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	アプリのダウンロード数		23,877件 (R2年度)		48,000件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	→	→	→	→	→	→
役割分担	八戸市：システム運営に係る事務全般を行う。 連携町村：同システムを活用し、住民に安全・安心情報を発信する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	68	福祉避難所相互利用事業			関係市町村	全市町村
内容	・災害時において、特別な配慮が必要な方を受け入れ対象としている福祉避難所について、民間福祉施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。					
効果	・福祉避難所を整備し、災害時に相互利用を行うことにより、1自治体では対応が困難な大規模災害時における安全・安心が推進される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	福祉避難所数		182箇所 (R2年度)		191箇所 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：共同して福祉避難所の指定を行うほか、要援護者の避難に要する費用を負担する。					

事業名	69	空き家対策推進事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域の共通課題である空き家等対策について、各市町村の担当職員を対象とした研修会を開催し、各市町村における現状・課題の整理や情報共有・意見交換を図るほか、必要に応じ、専門家や先進自治体職員を講師に招き、空き家対策に関するスキルアップを図る。					
効果	・各市町村の担当職員の知識・経験が共有され、スキルの向上が図られることにより、圏域における空き家対策の推進につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会開催数		2回 (R2年度)		1回 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	129	129	129	129	129	645
役割分担	八戸市：研修会等の企画・運営に係る事務全般を行う。 連携町村：研修会等の企画に参加するとともに、研修会等に職員を出席させる。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な経費を負担する。					

事業名	70	国土強靱化地域計画推進事業			関係市町村	全市町村
内容	・平成31年3月に策定した「八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画」に掲げる連携項目の取組を推進する。					
効果	・連携市町村が持つ課題や情報を共有し、より広域的な視点で連携項目に取り組むことにより、圏域全体の防災力向上につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	「今後検討していく連携項目」の取組数		5項目 (R2年度)		12項目 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	190	190	190	190	190	950
役割分担	八戸市：連携市町村間の調整など事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：連携項目の実施に当たり各町村の関係団体等との連絡調整を行う。					

## (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ⑩ 地域内外の住民との交流・移住促進

事業名	71	移住・交流促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・移住パンフレットの作成や移住ポータルサイトの開設、首都圏での相談会・イベント等出展のほか、八戸市東京事務所内の「観光・UI」ターン窓口などと連携し、移住・交流の促進を図る。					
効果	・市町村における移住相談や施策の課題について意見交換することにより、情報共有が図られるとともに、職員の資質と能力の向上が見込まれる。 ・移住施策を共有することにより、移住希望者の相談内容に応じて、他市町村を紹介する等、圏域全体での移住の機会の増加につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	移住相談件数		464件 (R2年度)		510件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	5,564	5,564	5,564	5,564	5,564	27,820
役割分担	八戸市：パンフレットの作成等、当事業に係る事務全般を行う。 連携町村：八戸都市圏移住セミナー等に参加するとともに、町村が単独で参加する移住イベント等において圏域のパンフレットを配布する。ポータルサイトに各自の関連記事を投稿する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	(11) 八戸都市圏交流プラザ運営事業【再掲】	関係市町村	全市町村			
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏交流拠点である八戸都市圏交流プラザ「8base」において、圏域の食材を活用したメニューの提供や物産販売を展開するとともに、圏域のファンづくりのための交流事業を実施する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大につながる。</li> <li>・継続的に地域を応援してくれる関係人口の形成・増加が図られ、圏域への移住・定住につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標	現状値	目標値			
	来店者数	198,240人 (R2年度)	357,000人 (R8年度)			
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	47,376	47,376	47,376	47,376	47,376	236,880
役割分担	<p>八戸市：店舗運営や関連事業の実施に係る事務全般を行う。</p> <p>関係市町村：八戸都市圏交流プラザ運営協議会に参画するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

事業名	72 縁結び支援事業	関係市町村	全市町村			
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚を望む方への出会いの場を創出する。</li> <li>・圏域の結婚支援に関する情報を共有して相互に情報発信を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援に関する情報取得の機会や出会いの機会の増加により、圏域内で結婚に向けた機運の醸成が図られる。</li> <li>・事業を通して、圏域に対する理解が図られ、定住意識の高揚が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標	現状値	目標値			
	参加者数	73人 (R1年度)	80人 (R8年度)			
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
役割分担	<p>八戸市：圏域の結婚支援に係る情報の取りまとめと情報発信を行う。</p> <p>連携町村：結婚支援に係る情報の収集・提供を行うとともに、住民への情報発信を行う。</p> <p>関係市町村：地域特性に合った結婚支援に係る事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な経費を負担する。</p>					

事業名	73	八戸圏域活性化支援事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域内で活動する営利を目的としない団体等が取り組む、魅力ある地域づくりに資する取組に対して、八戸圏域活性化事業助成金を交付する。					
効果	・実施団体による伝統文化の保存や観光・産業等の振興等の取組を通じて、地域活性化が期待される。 ・圏域で取り組むことで、住民間の交流が促進されるとともに、地域づくりの人材育成につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	助成金の交付件数 【累計】		11件 (R2年度)		40件 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000
役割分担	八戸市：助成金に係る事務全般を行う。 連携町村：各町村の団体等への制度周知、申請に係る相談・推薦を行う。 関係市町村：協議の上、事業に必要な費用を負担する。					

事業名	74	住民活動保険事業			関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町
内容	・行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を運用する。					
効果	・住民の保険料負担や加入手続きが不要となり、事務的・経済的負担軽減につながる。 ・まちづくりの主体である住民が安心して活動に参加することができる環境の構築が図られ、活力に満ちた地域社会の実現につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	通報件数に対する支払（適用）件数の割合		100% (R2年度)		90% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	3,352	3,352	3,352	3,352	3,352	16,760
役割分担	八戸市：保険制度に係る事務全般を行うとともに、連携町村からの通報受付及び保険会社への通報を行う。 連携町村：住民からの通報受付及び八戸市への通報を行う。 関係市町村：住民への事業周知、注意喚起を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	75	公共交通による交流促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通と関係市町村の地域資源を連携させたバスパックの実施・開発等を行う。</li> <li>観光や移住促進分野と連携したバスパック等の情報発信を行う。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を軸とした圏域内外の住民や観光客等との交流促進が期待される。</li> <li>観光や移住促進分野との連携により、利用者の多様化が図られ、広域路線の確保・維持につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	バスパック利用者数		371人 (R2年度)		1,500人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500
役割分担	関係市町村：バス事業者や観光・移住促進関係者等と協力し、公共交通と地域資源を連携させるバスパック等の取組を展開するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。					

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ② 圏域内市町村職員の育成

事業名	76	圏域市町村職員育成事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸市が実施している各種職員研修プログラムについて、連携町村職員に参加の機会を提供する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の資質と能力の向上が期待される。</li> <li>圏域内の職員間の交流により、人的なネットワークの広がりが期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	市町村職員の資質と能力の向上及び各市町村職員間の交流の満足度		88.1% (R2年度)		90.0% (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,117	2,117	2,117	2,117	2,117	10,585
役割分担	<p>八戸市：職員研修の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>連携町村：八戸市が実施する職員研修に職員を派遣する。</p>					

## ② 女性の活躍促進

事業名	77	女性活躍促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場や地域社会での活躍が期待される女性を対象として、ビジネススキルの向上や職業、業種を超えたネットワークづくりを通し、女性の活躍するチャンスを広げることを目的とした登録制の講座を開催する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住市町村を越えて就業している方も多いため、連携により周知を図ることで効果的な受講者の募集が可能となる。</li> <li>・圏域全体での女性活躍の促進が期待される。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	女性チャレンジ講座 受講生数【累計】		230人 (R2年度)		376人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	8,600
役割分担	<p>八戸市：委託先選定や受講者募集など当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。</p> <p>関係市町村：講座内容を検討するとともに、受講者募集に係る周知を連携して行う。</p>					

## ③ NPO等の活躍促進

事業名	78	八戸圏域住民活動促進事業			関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動地域に圏域内市町村が含まれる住民活動団体を「市民活動サポートセンター」の登録対象とし、当センターの利用促進及び住民活動団体の活動の活性化を図る。</li> <li>・ホームページや情報誌などにより、住民活動に関する情報の収集・提供を行う。</li> <li>・交流会の開催などによる登録団体間のネットワークづくりを行う。</li> <li>・住民活動を行う団体の設立や運営などに関する各種相談業務を実施する。</li> </ul>					
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民活動を行う団体の登録の対象を拡大することで、圏域全体における地域づくりの担い手となる団体の存在や活動の把握につながる。</li> <li>・市民活動サポートセンターを核に関係市町村が連携を強化し、当センターが有する機能を活用することで、圏域内の住民活動を行う団体の自立的・継続的な活動の促進につながる。</li> </ul>					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	市民活動サポートセンター 登録団体数		191団体 (R2年度)		191団体 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,387	2,387	2,387	2,387	2,387	11,935
役割分担	<p>八戸市：当センターの運営に係る事務全般を行う。</p> <p>関係市町村：住民活動に関する情報収集・発信、当サポートセンターのPR、住民活動の促進を図る講座の実施等、各種取組を連携して行う。また、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。</p>					

### 3 推進体制

#### 八戸圏域連携中枢都市圏 市町村長会議

圏域市町村の長で構成し、連携中枢都市圏の取組に関する方針を協議・決定する。

#### 八戸圏域連携中枢都市圏 担当課長会議

圏域市町村の企画担当課長で構成し、市町村長会議やビジョン懇談会への付議案件の協議・検討など、圏域内の全体調整を行う。

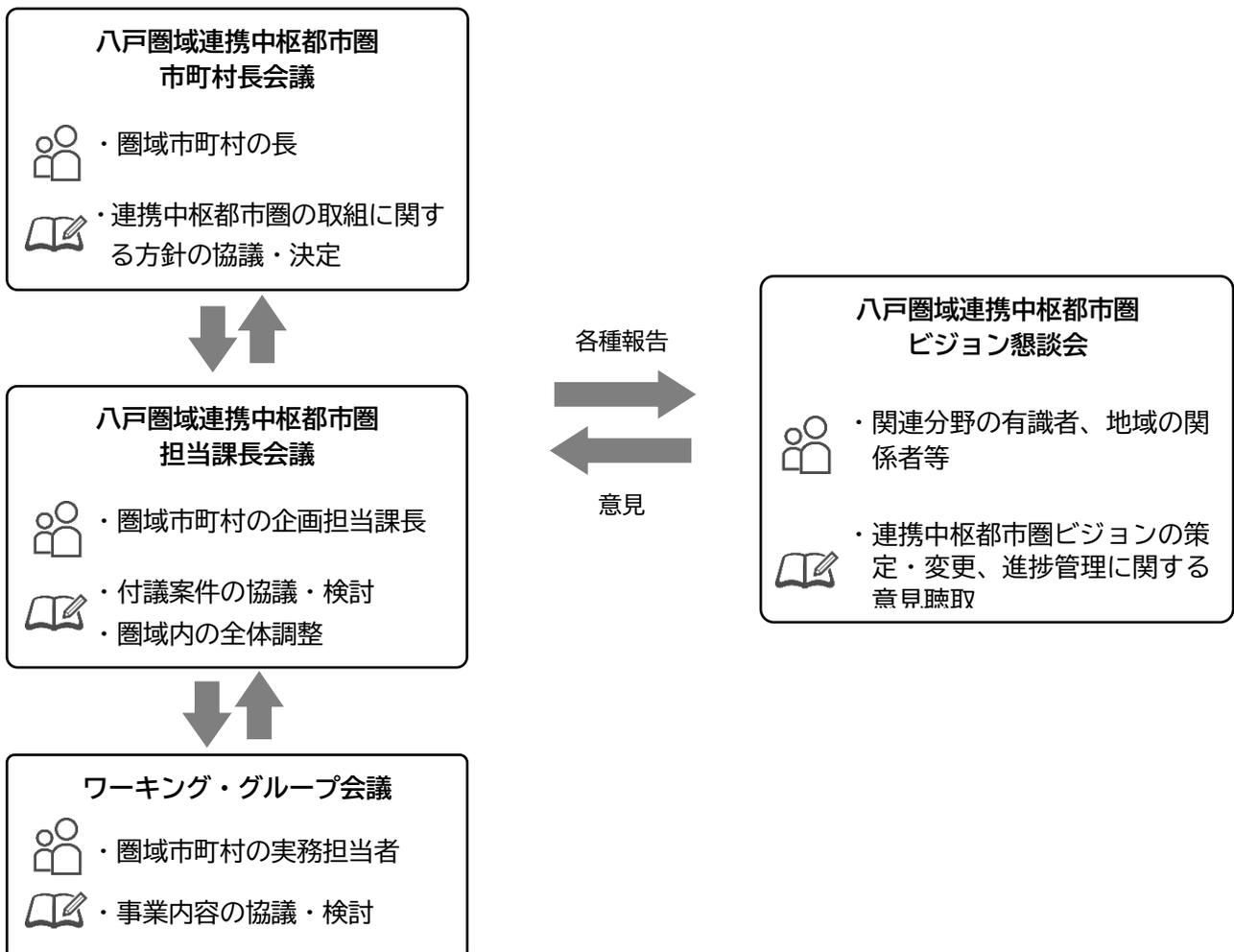
#### ワーキング・グループ会議

圏域市町村の実務担当者で構成し、具体的な事業内容の協議・検討を行う。

#### 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会

圏域内の関連分野の有識者や地域の関係者で構成し、連携中枢都市圏ビジョンの策定・変更や進捗管理に関して意見聴取を行う。

#### ■推進体制図



# 付 属 資 料

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 構成員名簿

(敬称略・順不同)

分野		氏名		所属等
産業	商工業	1	山内 隆	八戸商工会議所 専務理事
	観光	2	阿部 寿一	一般財団法人 VISITはちのへ 専務理事
	農業	3	水越 善一	八戸農業協同組合 代表理事専務
大学・研究機関		4	武山 泰	八戸工業大学 システム情報工学科 教授
		5	田中 哲	八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授
		6	佐藤 勝俊	独立行政法人国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校 名誉教授
金融機関		7	工藤 貴博	八戸金融団 会長
医療		8	奥寺 良之	一般社団法人 八戸市医師会 副会長
福祉		9	間山 路代	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会 事務局長
教育		10	油川 育子	八戸市教育委員会 委員
地域公共交通		11	高橋 学	岩手県北自動車株式会社 南部支社 支社長
雇用		12	中村 一明	連合青森三八地域協議会 議長
男女共同参画		13	白鳥 祐子	元八戸市男女共同参画審議会 会長
構成町村	三戸町	14	井上 浩	有限会社井上測企 代表取締役 (三戸町商工会 前会長)
	五戸町	15	倉橋 隆穂	元五戸町役場 総務課長
	田子町	16	山本 俊次	元田子町役場 参事
	南部町	17	沼畑 俊吉	NPO法人青森なんぶの達人村 代表理事
	階上町	18	長根 工	階上町商工会 事務局長
	新郷村	19	佐藤 泰司	元新郷村役場 参事兼企画商工観光課長
	おいらせ町	20	木村 雅行	おいらせ町観光物産協会 会長・おいらせ町商工会 会長

オブザーバー	鈴木 章弘	青森県 総務部 市町村課 総括主幹
	工藤 裕佳	青森県 総務部 市町村課 主事
	杉田 三生	青森県 三八地域県民局 地域連携部 副参事 (地域支援チームリーダー)

※令和4年2月時点

## 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、人口減少・少子高齢社会にあっても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とした連携中枢都市圏を八戸圏域において形成するに当たり、圏域の将来像や連携協約に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの策定及び変更に関する事項について、地域の関係者等から意見聴取を行うため、八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を開催することとし、その運営等について必要な事項を定めるものとする。

### (構成員)

第2条 懇談会は、次に掲げる者をもって構成する。

(1)連携中枢都市圏構想推進要綱(平成 28 年4月1日総行市第 31 号一部改正)第5の(2)④に規定する連携する取組に応じた関係者等

(2)圏域町村から推薦された者

(3)その他市長が必要と認める者

2 前項の場合において、市長は原則として、同一の者に継続して懇談会への出席を求めるものとする。

### (会議の招集)

第3条 懇談会の会議は、市長が招集する。

### (会議の運営)

第4条 懇談会の議事進行は、八戸市総合政策部政策推進課長(以下「課長」という。)が行うものとする。

2 課長は、意見聴取に係る円滑な進行を図るため、懇談会の出席者の中から適任と思われる者を座長に指名することができるものとする。

3 懇談会の会議は、原則公開とする。

### (庶務)

第5条 懇談会の庶務は、八戸市総合政策部政策推進課において処理する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定めるものとする。

### 附 則

この要綱は、平成 28 年5月9日から実施する。

## 八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について

1 愛称 八戸都市圏スクラム<sup>エイト</sup>

2 ロゴ



1  $S = 8 + S$

○「8」と「S」が重なり合い、スクラムを組んでいるイメージを表す。

○また、水色は8市町村を流れる「川」を、紺色は「海」を表し、圏域が川と海を介してつながり、「人」や「もの」が循環している状態をイメージ。

2 8

○8市町村(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)を表す。

3 S

○SCRUM(スクラム)の頭文字。スクラムを組むように一丸となって連携し、同じ目的に向かって一つの方向を向いている状態を表す。

4 

○八角の星は、8市町村が協力し合うことでひとつの星(一番星)となり、未来(希望)に向かって進んでいくことを表す。

○赤色は圏域の活力や積極性をイメージ。

## 八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等の使用に関する要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、八戸圏域連携中枢都市圏（以下「八戸都市圏スクラム8」という。）の効果的なPRを図るため、八戸都市圏スクラム8ロゴマーク（以下「ロゴマーク」という。）を使用する場合の手續等について必要な事項を定めるものとする。

### (ロゴマークに関する権限)

第2条 ロゴマークに関する一切の権限は、八戸市に属する。

### (使用期間)

第3条 ロゴマークの使用期間は、最長で1年間とする。

### (使用の承諾)

第4条 ロゴマークを使用しようとする者は、あらかじめ八戸市長の承諾を受けなければならない。ただし、次に掲げる場合については、この限りでない。

- (1) 国、地方公共団体、公共団体又は公共的団体が使用する場合
- (2) 報道機関が報道の目的に使用する場合
- (3) その他市長が承諾を要しないと認めた場合

### (使用の申込み)

第5条 前条の規定による承諾（以下「使用承諾」という。）を受けようとする者は、八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等使用承諾申込書（別記第1号様式。以下「申込書」という。）に次に掲げる書類を添えて、あらかじめ八戸市長へ提出しなければならない。その申込みの内容に変更が生じたときも、同様とする。

- (1) 企画立案書等ロゴマークの使用内容が分かるもの
- (2) 使用の見本又は広告の原稿等
- (3) その他市長が必要と認める書類

### (承諾の要件)

第6条 八戸市長は、ロゴマークを使用する事業が八戸都市圏スクラム8の活性化に寄与し、その趣旨に沿うものであると認めるときは、使用承諾をするものとする。

2 八戸市長は、ロゴマークの使用目的が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用承諾をしないものとする。

- (1) 個人若しくは団体のマーク又は商標として独占的に使用する場合
- (2) 特定の政治、宗教、思想等の活動に利用しようとする場合
- (3) 法令及び公序良俗に反し、又はそのおそれのある場合
- (4) 八戸市都市圏スクラム8のイメージを損なうおそれのある場合

### (承諾等の通知)

第7条 八戸市長は、申込書が提出されたときは、その内容を審査し、八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等使用承諾通知書（別記第2号様式）又は八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等使用不承諾通知書（別記第3号様式）により、申込者に通知するものとする。この場合において、八戸市長は、必要な条件を付することができる。

(使用方法)

第8条 前条の規定により使用承諾を受けた者（以下「使用者」という。）は、別に指定するガイドラインに従ってロゴマークを使用しなければならない。

(使用料)

第9条 ロゴマークの使用に対する料金は、無料とする。ただし、掲載及び印刷等に要する費用については、使用者の負担とする。

(使用承諾の取消し等)

第10条 八戸市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用承諾を取り消し、使用者に対し、ロゴマークの使用中止、使用物件の回収等の措置を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの要綱に定める事項に違反した場合
- (2) 使用者が使用承諾に付した条件に違反した場合
- (3) 申込書の内容に虚偽のあることが判明した場合
- (4) その他八戸市長が適当でないと認めた場合

2 八戸市長は、使用者にロゴマークの使用状況等について報告をさせ、又は調査をすることができる。

(使用承諾を受けないで使用した場合の措置)

第11条 八戸市長は、ロゴマークの使用承諾を受けないで使用している者又は使用しようとしている者に対し、その使用の停止を求めるものとする。

(責任の制限)

第12条 前2条の規定により、ロゴマークの使用承諾を取り消し、又は使用の停止を求めた場合に、ロゴマークを使用した者に損害が生じても、八戸市はその責めを負わない。

2 ロゴマークを使用した者が、ロゴマークの使用により第三者に対して損害又は損失を与えた場合でも、八戸市は、損害賠償、損失補償その他の法律上の責任を一切負わない。

(協賛、後援等)

第13条 八戸都市圏スクラム8の活性化に向け実施する事業においてロゴマークの使用承諾を受けようとする者は、併せて八戸都市圏スクラム8の協賛、後援等を受けることができる。この場合における手続については、第3条から前条までの規定の例による。

2 前項の場合において、八戸都市圏スクラム8を構成する市町村の協賛、後援等を受けようとする場合は、各市町村に対し個別にその手続を行うものとする。

(庶務)

第14条 ロゴマーク等の使用承諾に関する事務は、八戸市総合政策部政策推進課において処理する。

(その他)

第15条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、八戸市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年3月30日から実施する。

附 則

この要綱は、令和3年2月15日から実施する。

## 第2期 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

令和4年●月●日 策定

八戸市 総合政策部 政策推進課

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-9248 FAX 0178-47-1485

ホームページアドレス

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

これまでの経過と今後の予定について

時 期	内 容
5月31日(月)	第1回 八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議
7月1日(木)	第1回 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
8月31日(火)	第2回 八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議(書面開催)
10月4日(月)	第2回 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
11月24日(水)	第3回 八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議
12月20日(月)	第3回 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
12月22日(水) ~1月21日(金)	パブリックコメントの実施
2月15日(火)	第4回 八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議
2月18日(金)	第4回 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
2月下旬 ~3月中旬	8市町村の3月議会において、第2期ビジョン(最終案)を説明
3月下旬	7町村からの書面同意を得て、第2期ビジョンを決定 ⇒国、県、7町村長、市町村議員に第2期ビジョンを送付するとともに、市ホームページにて公開

## 八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業一覧（令和 4 年度）案

### 1. 圏域全体の経済成長のけん引

連携施策	事業名	備考	
産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備	1 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業		
	2 地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業		
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	3 IT 関連企業立地促進補助金交付事業		
	4 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業		
	5 イノベティブ産業集積促進事業		
	6 産学官共同研究開発支援事業		
	7 革新的ものづくり企業連携促進事業		
	8 地域企業支援体制強化事業		
	9 はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業		
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	販路拡大	10 地場産品販路拡大支援事業	
		11 八戸都市圏交流プラザ運営事業	
		12 ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ事業	
		13 海外販路拡大事業	
		14 知的財産権対策支援事業	
	雇用	15 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	
		16 地域事業所人材獲得支援事業	
		17 企業誘致セミナー事業	
	農業	18 農業生産技術向上支援事業	
		19 新規就農促進事業	
		20 農作業マッチング促進事業	
		21 南郷そば振興センター運営事業	
		22 畜産業及び畜産関連産業振興事業	
	林業	23 漆産業振興事業	
漁業	24 漁業就業支援事業		
戦略的な観光施策の展開	25 八戸広域観光推進事業		
	26 グリーン・ツーリズム推進事業		

### 2. 高次の都市機能の集積・強化

連携施策	事業名	備考
高度な医療サービスの提供	27 八戸市総合保健センター運営事業	
高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	28 八戸圏域地域公共交通計画推進事業	
	29 美術館運営事業	
	30 八戸ポータルミュージアム運営事業	
	31 ブックセンター運営事業	
	32 屋内スケート場運営事業	
	33 多賀多目的運動場運営事業	
高等教育機関等と連携した地域の人材育成	34 学生まちづくり参画促進事業	

### 3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

分野	連携施策	事業名	備考
生活機能の強化に係る政策分野	医療体制の充実	35 医師派遣事業	
		36 ドクターカー運行事業	
		37 妊婦健康管理支援事業	
		38 不妊専門相談事業	
		39 AED 普及促進事業	
	子育て支援の充実	40 一時預かり保育事業	
		41 ファミリーサポートセンター事業	
		42 子育てつどいの広場事業	
		43 子育てサロン運営事業	
		44 地域子育て支援拠点事業	
		45 児童虐待防止対策事業	
	高齢者福祉の充実	46 高齢者福祉に関する理解促進事業	
		47 あんしんカード事業	
		48 救急医療情報キット配付事業	
		49 成年後見制度利用促進事業	
		50 医療・介護連携マップ管理運営事業	
	障がい者福祉の充実	51 介護予防センター利用促進事業	新規追加
		52 障がい者福祉に関する理解促進事業	
		53 障害支援区分判定審査の共同実施事業	
	中小企業従事者の福祉	54 勤労者福祉促進事業	
	消費者支援の充実	55 消費生活支援事業	
	社会教育の充実	56 生涯学習推進事業	
		57 図書館相互利用事業	
		58 八戸圏域文化財魅力発信事業	新規追加
	学校教育の充実	59 広域的体験学習支援事業	
		60 こども支援センター連携推進事業	新規追加
	高等学校の地域活動促進	61 高校生地域づくり実践プロジェクト	
		62 氷都八戸パワーアッププロジェクト	
	スポーツ活動の機会の充実	63 スキー場活用促進事業	
		64 スポーツ大使派遣事業	
65 子どものスポーツ機会促進事業		新規追加	
66 不法投棄防止事業			
安全・安心なまちづくりの推進	67 安全・安心情報発信事業		
	68 福祉避難所相互利用事業		
	69 空き家対策推進事業		
	70 国土強靱化地域計画推進事業		
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	71 移住・交流促進事業		
	(11) 八戸都市圏交流プラザ運営事業【再掲】		
	72 縁結び支援事業		
	73 八戸圏域活性化支援事業		
	74 住民活動保険事業		
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	75 公共交通による交流促進事業		
	76 圏域市町村職員育成事業		
	77 女性活躍促進事業		
	78 八戸圏域住民活動促進事業		

事業数:23 施策 78 事業（再掲 1 事業除く）

全国における連携中枢都市圏の形成状況について（令和 4 年 2 月末現在）

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約（締結日）	都市圏ビジョン（公表日）	連携市町村	圏域の概要等
1	福山市	H27. 2. 24	H27. 3. 25	H27. 3. 25	広島県 三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町 岡山県 笠岡市、井原市 (計5市2町)	備後圏域 圏域人口：857,212人 (うち福山市：464,811人)
2	倉敷市	H27. 2. 17	H27. 3. 27	H27. 3. 27	岡山県 新見市、高梁市、総社市、井原市、浅口市、笠岡市、早島町、 里庄町、矢掛町 (計6市3町)	高梁川流域連携中枢都市圏 圏域人口：770,183人 (うち倉敷市：477,118人)
3	姫路市	H27. 2. 13	H27. 4. 5	H27. 4. 5	兵庫県 相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、宍粟市、加西市、 たつの市、稲美町、播磨町、福崎町、市川町、神河町、太子町、 上郡町、佐用町 (計7市8町)	播磨圏域連携中枢都市圏 圏域人口：1,307,003人 (うち姫路市：535,664人)
4	宮崎市	H26.12. 1	H27. 3. 25	H27. 5. 12	宮崎県 国富町、綾町 (計2町)	みやぎき共創都市圏 圏域人口：428,089人 (うち宮崎市：401,138人)
5	久留米市	H27.11. 2	H28. 2. 23	H28. 2. 23	福岡県 大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町 (計3市2町)	久留米広域連携中枢都市圏 圏域人口：456,196人 (うち久留米市：304,552人)
6	盛岡市	H27.10.30	H28. 1. 15	H28. 3. 25	岩手県 八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町 (計2市5町)	みちのく盛岡広域連携都市圏 圏域人口：476,758人 (うち盛岡市：297,631人)
7	金沢市	H27.12. 4	H28. 3. 28	H28. 3. 28	石川県 白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町 (計3市2町)	石川中央都市圏 圏域人口：728,259人 (うち金沢市：465,699人)
8	大分市	H27.12.22	H28. 3. 29	H28. 3. 29	大分県 別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、 日出町 (計6市1町)	大分都市広域圏 圏域人口：778,237人 (うち大分市：478,146人)
9	長野市	H28. 2. 17	H28. 3. 29	H28. 3. 29	長野県 須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、 飯綱町 (計2市4町2村)	長野地域連携中枢都市圏 圏域人口：543,424人 (うち長野市：377,598人)
10	下関市	H27. 9. 30	H27.12.18 (形成方針)	H28. 3. 29	合併 1 市圏域	下関市連携中枢都市圏 圏域人口：268,517人

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
11	高松市	H27. 9. 4	H28. 2. 16	H28. 3. 30	香川県 さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町 (計2市5町)	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏 圏域人口：585,348人 (うち高松市：420,748人)
12	熊本市	H27. 6. 18	H28. 3. 30	H28. 3. 31	熊本県 菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町 (計5市10町2村)	熊本連携中枢都市圏 圏域人口：1,171,591人 (うち熊本市：740,822人)
13	広島市	H28. 2. 15	H28. 3. 30	H28. 3. 31	広島県 呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町 山口県 岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町 (計10市13町)	広島広域都市圏 圏域人口：2,324,756人 (うち広島市：1,194,034人)
14	北九州市	H27. 12. 24	H28. 4. 18	H28. 4. 18	福岡県 直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町、吉富町 (計5市12町)	北九州都市圏域 圏域人口：1,394,457人 (うち北九州市：961,286人)
15	静岡市	H28. 3. 1	H28. 3. 31	H28. 4. 28	静岡県 島田市、焼津市、牧之原市、藤枝市、吉田町、川根本町 (計4市2町)	しずおか中部連携中枢都市圏 圏域人口：1,168,000人 (うち静岡市：704,989人)
16	松山市	H28. 7. 8	H28. 7. 8	H28. 7. 8	愛媛県 伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町 (計2市3町)	松山圏域 圏域人口：646,055人 (うち松山市：514,865人)
17	高岡市 射水市 ※1	H28. 8. 26	H28. 10. 3	H28. 10. 3	富山県 氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市 (計4市)	とやま呉西圏域 圏域人口：443,151人 (うち高岡市：172,125人 うち射水市：92,308人)
18	八戸市	H29. 1. 4	H29. 3. 22	H29. 3. 22	青森県 三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町 (計6町1村)	八戸圏域連携中枢都市圏 圏域人口：310,282人 (うち八戸市：223,415人) 愛称：八戸都市圏スクラム <sup>エイト</sup> 8
19	新潟市	H28. 12. 16	H29. 3. 28	H29. 3. 28	新潟県 三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町 (計7市3町1村)	新潟広域都市圏 圏域人口：1,286,730人 (うち新潟市：810,157人)

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
20	岡山市	H28. 8. 9	H28.10.11	H29. 3. 28	岡山県 津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町 (計7市5町)	岡山連携中枢都市圏 圏域人口：1,170,158人 (うち岡山市：719,474人)
21	山口市 宇部市 ※1	H28.11.28	H29. 3. 30	H29. 3. 30	山口県 萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市 島根県 津和野町 (計4市1町)	山口県央連携都市圏域 圏域人口：628,836人 (うち山口市：197,422人 うち宇部市：169,429人)
22	長崎市	H28. 6. 10	H28.12.27	H29. 3. 30	長崎県 長与町、時津町 (計2町)	長崎広域連携中枢都市圏 圏域人口：501,860人 (うち長崎市：429,508人)
23	鹿児島市	H28.10.31	H29. 1. 19	H29. 3. 31	鹿児島県 日置市、いちき串木野市、姶良市 (計3市)	かごしま連携中枢都市圏 圏域人口：753,518人 (うち鹿児島市：599,814人)
24	富山市	H29. 9. 5	H30. 1. 10	H30. 1. 10	富山県 滑川市、舟橋村、上市町、立山町 (計1市2町1村)	富山広域連携中枢都市圏 圏域人口：501,670人 (うち富山市：418,686人)
25	呉市 ※2	H29. 9. 4	H29.10.16	H30. 3. 8	広島県 竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町 (計3市4町)	広島中央地域連携中枢都市圏 圏域人口：545,385人 (うち呉市：228,552人)
26	高知市 ※3	H29. 9. 7	H30. 3. 28	H30. 3. 28	高知県 安芸市、土佐市、香南市、香美市、南国市、須崎市、安田町、本山町、大豊町、土佐町、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、中土佐町、津野町、馬路村、芸西村、大川村、日高村 (交付税措置の対象外) 室戸市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、東洋町、奈半利町、田野町、梶原町、四万十町、大月町、黒潮町、三原村、北川村 (計10市17町6村)	れんけいこうち広域都市圏 圏域人口：596,998人 (うち高知市：337,190人)
27	岐阜市	H29. 6. 30	H29.11. 2	H30. 3. 29	岐阜県 山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町 (計3市3町)	岐阜連携都市圏 圏域人口：587,739人 (うち岐阜市：406,735人)
28	鳥取市	H29.12. 5	H30. 4. 1	H30. 4. 1	鳥取県 岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 兵庫県 香美町、新温泉町 (計6町)	因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 圏域人口：265,499人 (うち鳥取市：193,717人)

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
29	郡山市	H30. 9. 4	H31. 1. 23	H31. 3. 19	福島県 須賀川市、二本松市、田村市、本宮市、鏡石町、猪苗代町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、大玉村、天栄村、玉川村、平田村 (計4市7町4村)	こおりやま広域連携中枢都市圏 圏域人口：652,178人 (うち郡山市：335,444人)
30	佐世保市	H30. 9. 3	H31. 1. 12	H31. 3. 26	長崎県 平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、佐々町 佐賀県 伊万里市、有田町 (計4市7町)	西九州させぼ広域都市圏 圏域人口：487,905人 (うち佐世保市：255,439人)
31	札幌市	H30.11.28	H31. 3. 29	H31. 3. 29	北海道 小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、南幌町、長沼町、新篠津村 (計7市3町1村)	さっぽろ連携中枢都市圏 圏域人口：2,600,875人 (うち札幌市：1,952,356人)
32	福井市	H30.11.27	H31. 4. 1	H31. 4. 1	福井県 大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町 (計6市4町)	ふくい嶺北連携中枢都市圏 圏域人口：646,813人 (うち福井市：265,904人)
33	山形市	R1. 6. 27	R2. 1. 9	R2. 2. 20	山形県 寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町 (計5市6町)	山形連携中枢都市圏 圏域人口：551,524人 (うち山形市：253,832人)
34	青森市	R1.11.18	R1.12.25	R2. 3. 23	青森県 平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村 (計3町1村)	青森圏域連携中枢都市圏 圏域人口：310,640人 (うち青森市：287,648人)
35	水戸市	R3.11.15	R4. 2. 21	R4. 2. 21	茨城県 笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村 (計4市3町1村)	いばらき県央地域連携中枢都市圏 圏域人口：705,915人 (うち水戸市：270,685人)
36	旭川市	R3.10.21	R4. 1. 12	R4.3 (日程未定)	北海道 鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町 (計8町)	旭川大雪圏域連携中枢都市圏 圏域人口：379,926人 (うち旭川市：329,306人)
37	福島市	R3.11.30	R4.3.30 (予定)	R4.3.30 (予定)	福島県 二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村 (計3市3町2村)	ふくしま田園中枢都市圏 圏域人口：477,577人 (うち福島市：294,247人)

※1 No.17 高岡市・射水市、No21 山口市・宇部市

隣接する2つの市が一定の要件を満たす場合(それぞれ人口10万人程度以上、昼夜間人口比率がそれぞれ1以上など)、当該2つの市を合わせて1つの連携中枢都市とみなすことができる特例を活用した市。

※2 No.25 呉市

呉市を連携中枢都市とする広島中央地域連携中枢都市圏は、広島市を連携中枢都市とする広島広域都市圏の中に含まれており、呉市は広島広域都市圏の連携市でもある。呉市の連携中枢都市圏の交付税措置は、連携中枢都市として措置額のみ適用。

※3 No.26 高知市

れんけいこうち広域都市圏は、高知県内の全市町村で構成。但し、うち13市町村は総務省から高知市と同一の生活圏とみなされず、連携中枢都市圏構想推進要綱の対象外(連携中枢都市圏の交付税措置の対象外)。13市町村については、高知県が創設した国支援と同額の交付金を活用。

(参考) 連携中枢都市圏形成を検討中の都市 ※各市 HP 及び議会会議録より確認

○甲府市

- ・平成31年4月に中核市へ移行。
- ・令和2年7月、住民生活等で関係性の高い近隣自治体の実務者で構成する「県央自治体実務者会議」を設立し、連携中枢都市圏構想を視野に入れた圏域行政の枠組みや各自自治体が有する特色や地域資源についての理解を深めるとともに、福祉、医療、社会インフラ等における機能補完や互いの強みを活かした様々な分野・領域における連携の在り方について協議。
- ・令和3年度、最大で9市1町による連携中枢都市圏の形成に向け、連携中枢都市圏ビジョンの策定を目的とする「連携中枢都市圏の形成に向けた調査分析等業務」を実施。